

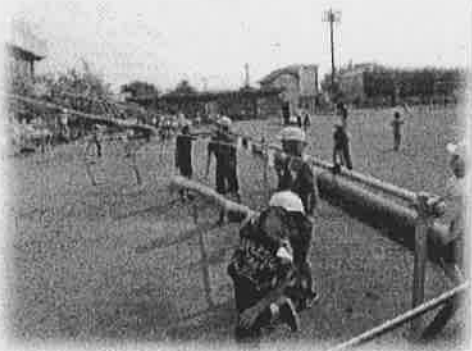
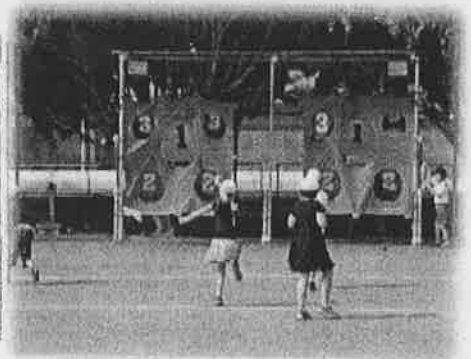


本県児童生徒の体力

平成29年度 調査結果報告

- ・ 平成29年度 児童生徒の体力・運動能力調査(栃木県教育委員会)
- ・ 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)

PHYSICAL FITNESS OF JUVENILES IN TOCHIGI PREFECTURE 2017



※ 平成29年度体力づくり奨励賞受賞校報告書より

平成30年3月
栃木県教育委員会

まえがき

子どもの体力についての全国的な傾向は、これまで文部科学省が実施してきた「体力・運動能力調査」によると、平成 13 年から概ね低下傾向に歯止めがかかってきているものの、体力水準が高かった昭和 60 年頃と比較すると、基礎的運動能力は依然として低い状況にあります。

また、本県の現状に目を向けると、全国の小学校 5 年生及び中学校 2 年生を対象とした平成 29 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）」の結果から、体力合計点では、全国と同様に男子は横ばい、女子は上昇傾向であり、種目別では、反復横跳び、握力、20mシャトルランなど複数の種目で全国平均を上回っている学年もあります。しかし、基礎的運動能力である走・跳・投に係る 50m走、立ち幅とび、ボール投げに加え長座体前屈が全国に比べ劣ることなどの課題も確認されております。

県教育委員会では、このような現状を踏まえながら「栃木県教育振興基本計画 2020－教育ビジョンとちぎ－」のもと「健やかな体を育む教育の充実」を基本施策のひとつとし、運動やスポーツの楽しさを十分に体得させ、様々な基本的な動きを身に付けさせるとともに、「運動好き」な児童生徒を増やし、生涯にわたって運動に親しむことができるようにしていくために、体力向上事業等を進めております。

さて、本資料は、平成 29 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）」について本県と全国との相対的評価と本県における公立の小・中学校、義務教育学校及び高等学校（全日制・定時制）の全ての児童生徒を対象とした、平成 29 年度「児童生徒の体力・運動能力調査（栃木県）」について時系列評価をまとめたものです。併せて本年度より「体力づくり奨励賞」及び「新体力テスト優秀校」の表彰を新設し、各表彰の受賞校及び取組事例を掲載しております。

各学校におかれましては、本資料の内容をそれぞれの目的に応じて検討を加えることなどにより、児童生徒の体力向上に向けて有効に活用されるよう期待するものであります。また、関係諸機関におかれましては、児童生徒の健康づくりや体力向上に向けた資料として御利用いただければ幸いです。

結びに、本調査に御協力いただきました多くの皆様に対して深く感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月

栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課長

田代 哲郎

目次

1	平成 29 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）」結果について	
(1)	調査の目的、対象、事項	1
(2)	結果のポイント	2
(3)	栃木県と全国の比較	4
2	平成 29 年度「児童生徒の体力・運動能力調査（栃木県）」結果について	
(1)	調査概要、結果概要	7
(2)	年齢別・学校区別分 体格・体力集計表	10
(3)	総合評価集計表	12
(4)	アンケート項目集計表	13
(5)	新体力テスト実技各種目及び体力合計点の年次推移	15
(6)	新体力テスト総合評価の年次推移	23
3	平成 29 年度体力づくり奨励賞・新体力テスト優秀校について	
(1)	要項及び表彰校一覧	27
(2)	体力づくり奨励賞受賞校の取組事例	30
4	新体力テスト「S 認定証」について	
(1)	交付要領及び配布一覧	52
5	資料	
(1)	新体力テスト 記録用紙（6～11 歳）	54
(2)	新体力テスト 記録用紙（12～19 歳）	55
(3)	体力向上啓発リーフレット	56
(4)	とちぎ元気キッズ チャレンジプログラム～投・走・跳の運動～	58

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）」
栃木県調査結果資料

平成 29 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）」について

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 県教育委員会が子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査対象

- (1) 小学校第 5 学年、特別支援学校小学部第 5 学年、義務教育学校前期課程第 5 学年
- (2) 中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年、義務教育学校後期課程第 2 学年
ただし、特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障害の状況等を考慮して、参加の是非を判断。

平成 29 年度調査の参加学校数、児童生徒数（栃木県）

調査学校数 534 校（小学校：370 校 中学校：164 校）

調査児童生徒数 33,071 人

小学生：17,104 人（男子：8,761 人、女子：8,343 人）

中学生：16,617 人（男子：8,472 人、女子：8,145 人）

3. 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

○実技に関する調査

【小学校 8 種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

【中学校 8 種目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子 1500m、女子 1000m）、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※中学校は持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択して実施

○質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

(2) 学校に対する調査

○質問紙調査（子供の体力の向上に係る学校の取組等）

(3) 教育委員会に対する調査

○質問紙調査（子供の体力の向上に係る施策等）

※調査結果の概要における栃木県と全国の値は、公立学校を対象とした値である。

平成 29 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)」栃木県結果のポイント

1. 調査結果の概要

(1) 実技に関する調査【体力・運動能力の状況】

○体力合計点

小5・中2女子は全国平均を上回った。小5・中2男子は全国平均を下回った。

○小学校

・男子

反復横とびで全国平均値を上回った。

・女子

握力、上体起こし、反復横とび、20m シャトルラン、ボール投げで全国平均値を上回った。

○中学校

・男子

握力、反復横とびは全国平均値を上回り、20m シャトルランは全国平均と同等であった。

・女子

握力、反復横とび、20m シャトルランは全国平均値を上回り、上体起こしは全国平均と同等であった。

図1【体力合計点】

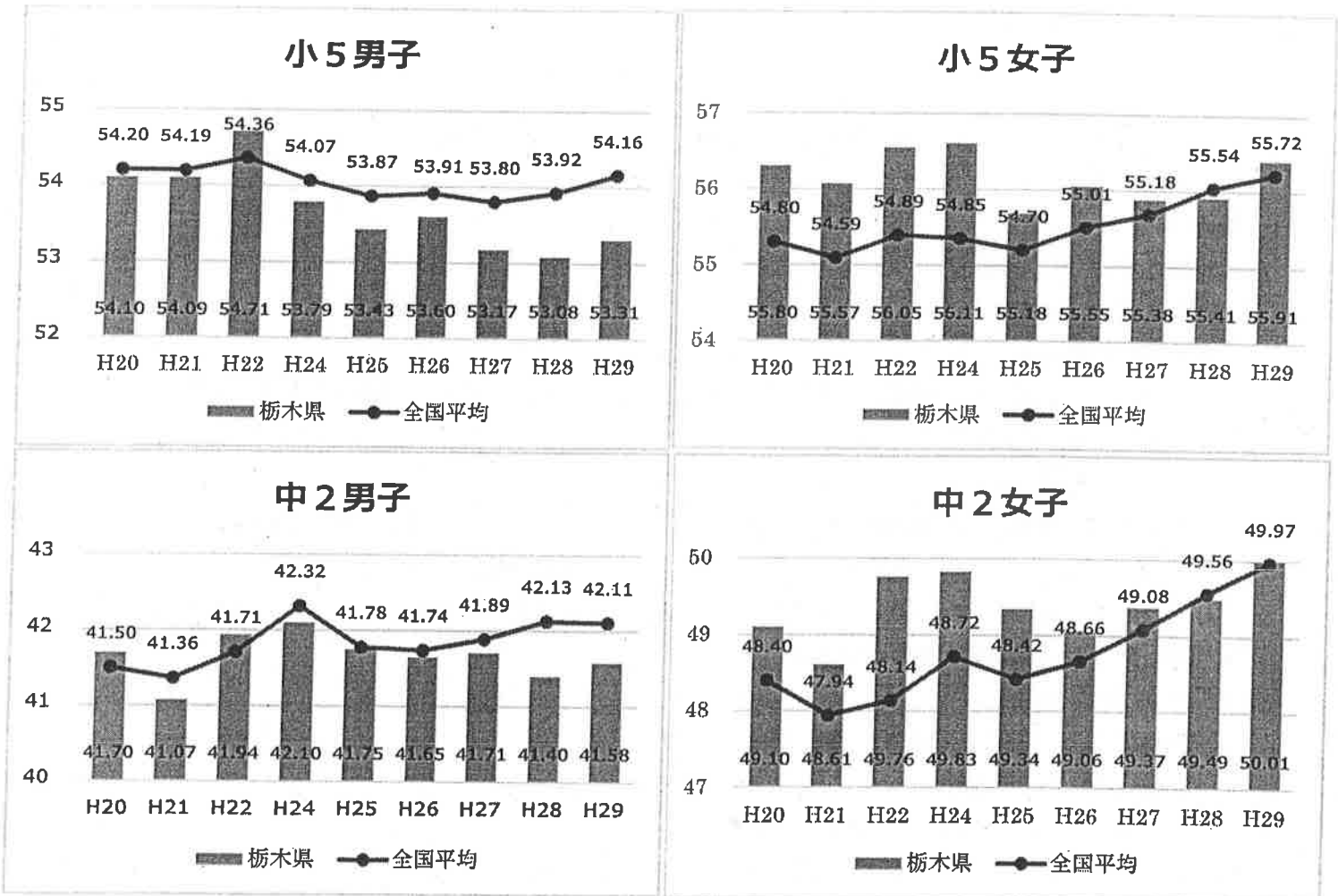


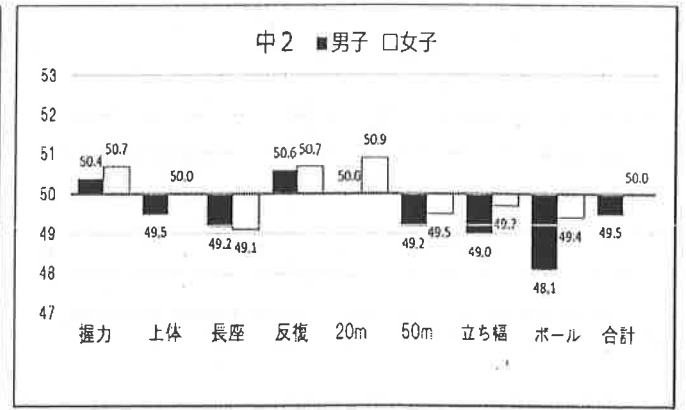
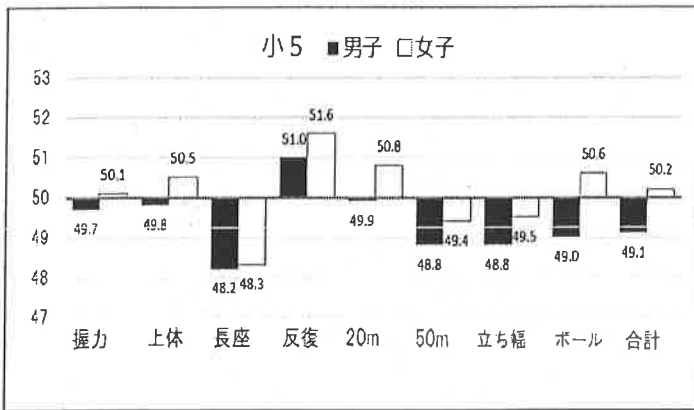
表1 【各種目別の状況】

【各種目別の状況】

種 目	小5				中2			
	男子		女子		男子		女子	
	全国	栃木	全国	栃木	全国	栃木	全国	栃木
握 力 (kg)	16.51	16.41	16.12	16.15	28.89	29.17	23.82	24.15
上体起こし (回)	19.92	19.80	18.81	19.05	27.45	27.16	23.73	23.73
長座体前屈 (cm)	33.15	31.67	37.43	36.04	43.20	42.35	45.86	44.96
反復横とび (点)	41.95	42.72	40.06	41.20	51.89	52.37	46.76	47.21
20mシャトルラン (回)	52.24	51.99	41.62	42.94	85.99	86.04	59.14	60.87
50m走 (秒)	9.37	9.48	9.60	9.66	7.99	8.06	8.80	8.84
立ち幅とび (cm)	151.71	149.00	145.47	144.51	194.54	191.64	168.57	167.75
ボール投げ (m)	22.53	21.75	13.94	14.22	20.56	19.50	12.96	12.69
合計点	54.16	53.31	55.72	55.91	42.11	41.58	49.97	50.01

※ 栃木県平均値が全国平均値以上のものは網掛けしている。
 ※ 50m走は、値が小さいほど記録が優れている。
 ※ ボール投げは、小学生がソフトボール、中学生がハンドボールを用いる。

図2 【各種目のTスコア】



(2) 質問紙調査

○質問項目

小学校：33項目、中学校：32項目

○質問紙調査 (抜粋)

多くの項目で肯定的回答が全国平均を上回っている。特に「授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つ」、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」、「自分には、よいところがあると思う」と回答した割合が、小5・中2男女すべてにおいて全国平均と比べ高い。また「体育授業で動きを撮影して活用する活動」「保健体育授業で振り返る活動を行っている」については、全国平均と比べて低い傾向にある。

表2 【質問紙調査 (抜粋)】 (網掛けは全国平均より高い)

質 問	小5				中2			
	男子		女子		男子		女子	
	全国	栃木	全国	栃木	全国	栃木	全国	栃木
1 体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つ	49.2%	56.4%	38.1%	47.3%	39.7%	42.6%	27.7%	31.2%
2 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	73.5%	76.5%	75.4%	78.8%	74.6%	75.9%	76.5%	77.4%
3 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	45.5%	48.7%	37.5%	41.8%	38.8%	44.1%	28.2%	32.1%
4 自分には、よいところがあると思う	43.7%	47.3%	36.1%	42.8%	35.1%	39.8%	21.8%	25.1%
5 体育授業で動きを撮影して活用する活動	5.4%	5.1%	3.7%	3.8%	6.4%	5.4%	5.1%	4.3%
6 保健体育授業で振り返る活動を行っている	30.7%	26.9%	28.5%	24.6%	40.4%	40.8%	41.7%	40.1%

平成29年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査(スポーツ庁) 栃木県と全国の比較 (実技・体格)

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャト ルラン	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計点
小5男子	16.41	19.80	31.67	42.72	51.99	9.48	149.00	21.75	53.31
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
小5女子	16.15	19.05	36.04	41.20	42.94	9.66	144.51	14.22	55.91
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
中2男子	29.17	27.16	42.35	52.37	86.04	8.06	191.64	19.50	41.58
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
中2女子	24.15	23.73	44.96	47.21	60.87	8.84	167.75	12.69	50.01
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

	総合評価(%)					(A+B)- (D+E)
	A	B	C	D	E	
小5男子	10.1%	24.4%	33.8%	21.4%	10.2%	2.9
全国	12.5%	25.5%	33.2%	20.1%	8.8%	9.1
小5女子	16.2%	28.7%	32.9%	17.1%	5.1%	22.7
全国	16.0%	27.4%	33.6%	17.6%	5.5%	20.3
中2男子	7.0%	24.8%	38.5%	22.7%	7.1%	2.0
全国	7.9%	26.2%	37.6%	21.7%	6.6%	5.8
中2女子	29.7%	34.0%	25.4%	9.4%	1.5%	52.8
全国	30.5%	32.4%	25.2%	10.0%	1.9%	51.0

	身長 (cm)	体重 (kg)	肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
			高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	正常	やせ	高度やせ
小5男子	138.96	34.86	1.4%	5.8%	6.1%	84.7%	2.0%	0.1%
全国	138.88	34.05	0.9%	4.0%	5.1%	87.3%	2.6%	0.1%
小5女子	140.14	34.62	0.8%	3.5%	5.7%	88.2%	1.7%	0.0%
全国	140.08	33.95	0.6%	2.8%	4.3%	89.7%	2.6%	0.1%
中2男子	159.63	49.06	1.4%	3.9%	4.5%	88.4%	1.8%	0.0%
全国	159.98	48.58	1.0%	2.9%	3.7%	89.8%	2.4%	0.1%
中2女子	154.65	47.55	0.7%	2.9%	5.0%	88.8%	2.6%	0.1%
全国	154.87	46.71	0.5%	2.2%	3.8%	89.6%	3.8%	0.1%

質問項目		小5				中2				
		男子		女子		男子		女子		
		全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	
Q.運動が好き(%)	1.好き	73.2%	73.0%	56.4%	57.3%	63.4%	62.4%	47.1%	46.6%	
	2.やや好き	20.1%	20.5%	30.9%	30.4%	25.6%	26.5%	31.5%	32.4%	
	3.やや嫌い	4.5%	4.6%	9.1%	8.7%	7.2%	7.1%	14.2%	14.3%	
	4.嫌い	2.2%	1.8%	3.6%	3.5%	3.9%	4.0%	7.2%	6.8%	
Q.小学校入学前は運動遊びが好き(%)	1.好きだった	67.2%	66.0%	60.4%	62.2%					
	2.やや好きだった	23.3%	23.2%	27.5%	26.5%					
	3.やや嫌いだった	6.4%	6.1%	8.6%	7.9%					
	4.嫌いだった	3.2%	2.7%	3.5%	3.3%					
Q.体力に自信がある(%)	1.自信がある	29.3%	29.3%	15.5%	18.0%	14.3%	16.5%	6.5%	8.4%	
	2.やや自信がある	35.8%	35.7%	35.1%	36.4%	37.8%	38.2%	29.2%	31.5%	
	3.やや自信がない	24.3%	24.3%	35.1%	32.3%	33.3%	30.9%	40.0%	38.7%	
	4.自信がない	10.7%	10.7%	14.2%	13.3%	14.5%	14.4%	24.3%	21.4%	
Q.運動は大切(%)	1.大切	69.7%	71.8%	57.7%	60.9%	63.8%	64.6%	49.8%	50.8%	
	2.やや大切	22.7%	21.8%	31.5%	29.5%	26.8%	26.8%	34.7%	35.4%	
	3.あまり大切でない	5.8%	5.0%	8.9%	8.2%	7.0%	6.1%	12.2%	11.1%	
	4.大切ではない	1.7%	1.3%	1.9%	1.4%	2.5%	2.5%	3.3%	2.7%	
Q.中学校で授業以外でも(中学校卒業後)自主的に運動したい(%)	1.思う	77.6%	79.8%	70.7%	73.1%	71.1%	71.7%	58.3%	60.4%	
	2.思わない	5.7%	5.1%	6.8%	6.2%	9.0%	9.2%	12.3%	11.3%	
	3.分らない	16.7%	16.2%	22.5%	20.8%	19.9%	19.2%	29.4%	28.3%	
学校の授業以外での運動やスポーツの時間	月	61.9	52.9	42.2	37.7	97.4	105.4	73.4	83.5	
	火	65.2	60.7	42.9	40	117	124.4	86.2	97.1	
	水	71	69.9	48.3	47.2	112.9	92.6	81.3	69.9	
	木	65.8	58.8	44	39.6	115.5	124.6	85.6	96.1	
	金	65.9	63.1	45.6	43.5	119.5	125.4	89.6	98.9	
	土	150	149.5	82.5	85.2	224.7	246.4	161.6	184	
	日	143.4	142.6	71.5	73.7	184.4	209.5	120.2	150.1	
	1週間の総運動時間(月～日)	615.8	594	374.7	365.8	970.9	1027.9	699.3	779	
	月					97.6	104.0	99.9	108.2	
	火					121.6	123.9	122.3	127.8	
Q.曜日ごとの運動実施 ※即活動(分)	水					114.4	78.4	114.9	79.1	
	木					119.7	124.6	120.5	127.6	
	金					125.1	125.3	126.4	129.1	
	土					218.4	235.6	228.9	244.0	
	日					164.8	191.9	161.7	197.9	
	1週間の総運動時間(月～日)					961.3	983.3	974.3	1033.3	
	Q.朝食を食べる(%)	1.毎日食べる	84.1%	85.7%	84.4%	86.9%	82.4%	84.3%	79.5%	83.9%
		2.食べない日もある	12.9%	11.7%	13.1%	11.3%	12.7%	11.4%	16.1%	12.9%
		3.食べない日が多い	2.3%	1.9%	2.0%	1.6%	3.3%	2.8%	3.2%	2.3%
		4.食べない	0.7%	0.7%	0.4%	0.3%	1.5%	1.5%	1.1%	0.8%
Q.夕食を食べる(%)	1.毎日決まった時間に食べる	33.8%	41.2%	27.5%	35.2%	39.1%	46.5%	31.0%	38.6%	
	2.時間は決まっていないが毎日食べる	62.1%	55.1%	69.2%	62.3%	58.1%	50.5%	63.6%	56.5%	
	3.食べない日もある	3.6%	3.3%	3.0%	2.4%	2.5%	2.7%	5.0%	4.4%	
	4.食べない日が多い	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	
	5.食べない	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	
Q.1日の睡眠時間	1.10時間以上	10.9%	9.2%	9.8%	8.7%	2.4%	2.1%	1.2%	0.9%	
	2.9時間以上8時間未満	27.8%	26.5%	31.4%	31.0%	6.1%	5.2%	4.4%	3.7%	
	3.8時間以上9時間未満	32.0%	35.1%	34.9%	36.8%	20.3%	18.1%	17.0%	15.6%	
	4.7時間以上8時間未満	17.9%	18.2%	16.2%	16.1%	36.1%	37.2%	35.4%	36.1%	
	5.6時間以上7時間未満	8.1%	7.9%	6.1%	5.7%	26.3%	28.1%	31.9%	33.6%	
	6.6時間未満	3.4%	3.1%	1.7%	1.5%	8.8%	9.4%	10.1%	10.0%	
Q.平日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間(%)	1.5時間以上	11.8%	11.4%	7.2%	7.2%	9.9%	8.8%	9.1%	7.5%	
	2.4時間以上5時間未満	8.2%	8.5%	6.9%	6.7%	7.6%	6.6%	8.0%	6.7%	
	3.3時間以上4時間未満	12.9%	13.9%	11.1%	12.2%	14.9%	14.6%	15.3%	14.5%	
	4.2時間以上3時間未満	18.7%	19.3%	16.6%	18.4%	25.3%	25.5%	24.1%	25.3%	
	5.1時間以上2時間未満	25.8%	27.5%	26.1%	27.1%	29.6%	32.0%	28.3%	30.1%	
	6.1時間未満	18.9%	16.8%	26.8%	24.1%	11.4%	11.3%	13.9%	14.8%	
	7.全く見ない	3.6%	2.6%	5.4%	4.4%	1.3%	1.2%	1.2%	1.3%	
Q.休日のテレビやビデオ・DVDの視聴時間(%)	1.5時間以上	21.9%	21.7%	14.6%	14.4%	25.9%	23.6%	24.3%	20.8%	
	2.4時間以上5時間未満	10.9%	11.0%	10.0%	10.2%	13.3%	12.7%	13.6%	12.9%	
	3.3時間以上4時間未満	14.5%	14.7%	14.3%	15.5%	18.9%	19.9%	19.6%	20.8%	
	4.2時間以上3時間未満	17.5%	19.1%	18.6%	19.1%	21.4%	23.4%	21.9%	24.1%	
	5.1時間以上2時間未満	18.8%	19.0%	22.2%	21.9%	14.5%	15.0%	14.8%	15.2%	
	6.1時間未満	12.6%	11.5%	16.5%	15.3%	4.9%	4.4%	5.1%	6.4%	
	7.全く見ない	3.8%	3.0%	3.8%	3.4%	1.2%	1.0%	0.7%	0.8%	
Q.運動部やスポーツクラブの所属(複数回答可)(%)	1.運動部	29.4%	31.1%	19.9%	22.1%	78.4%	82.7%	58.6%	64.4%	
	2.地域のスポーツクラブ	49.7%	45.2%	31.8%	29.9%	8.3%	7.7%	32.0%	29.6%	
	3.入っていない	30.7%	31.6%	52.9%	52.3%	17.8%	16.6%	10.3%	9.8%	
	4.所属していない					5.9%	3.9%	7.2%	4.6%	
部活動等所属	1.自分からすすんで	50.1%	49.6%	48.8%	47.0%	67.9%	69.9%	64.1%	67.5%	
	2.先生に勧められたから	0.8%	1.0%	0.9%	1.6%	0.9%	0.9%	0.7%	0.8%	
	3.親の人に勧められたから	21.5%	22.3%	19.6%	19.1%	8.6%	8.4%	8.1%	8.2%	
	4.友達にすすめられたから	13.1%	12.5%	14.2%	16.1%	10.4%	8.8%	12.1%	9.5%	
	5.親の人や友達が入っていたから	8.1%	8.8%	10.7%	11.0%	6.1%	6.0%	8.5%	7.7%	
	6.その他	6.4%	5.7%	5.8%	5.2%	6.1%	6.0%	6.5%	6.3%	
Q.「文化部」に所属していないと答えた人の運動部活動への参加条件(%)	1.好きな種目ができる					43.5%	37.5%	59.6%	62.0%	
	2.自分のペースでできる					45.2%	45.2%	54.5%	54.5%	
	3.生徒同士で取り組める					7.7%	8.9%	9.4%	9.9%	
	4.友達と楽しめる					43.7%	42.4%	61.2%	61.0%	
	5.様々な種目を行える					7.6%	8.0%	9.4%	8.9%	
	6.よい指導者が教えてくれる					20.8%	24.2%	25.1%	25.8%	
	7.練習日数、時間がちょうどよい					35.7%	35.6%	43.2%	43.9%	
	8.スポーツは行いたくない					20.1%	20.5%	10.8%	10.4%	
登校	1.徒歩	93.6%	90.4%	94.5%	92.0%	70.8%	31.9%	72.6%	33.6%	
	2.自転車	2.6%	1.6%	1.8%	0.9%	27.1%	66.5%	25.4%	64.8%	
	3.スクールバス	2.4%	5.1%	2.3%	4.4%	2.1%	2.6%	2.0%	2.9%	
	4.路線バス・電車	7.2%	8.1%	7.5%	8.3%	9.3%	7.7%	13.3%	13.1%	
Q.家の人からの積極的な運動のすすめ(%)	1.よくある	30.2%	33.8%	18.6%	22.8%	21.4%	24.0%	15.6%	18.3%	
	2.ときどきある	32.9%	34.3%	34.1%	35.8%	28.8%	31.6%	28.8%	32.1%	
	3.あまりない	23.1%	20.5%	32.3%	28.4%	31.8%	30.0%	37.3%	34.5%	
	4.全くない	13.8%	11.4%	15.1%	13.0%	18.0%	14.4%	18.3%	15.2%	

質問項目			小5				中2			
			男子		女子		男子		女子	
			全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県
あなたが健康にしているために次の3つは、どのくらい大切だと考えているか	Q.健康に運動は大切(%)	1.大切	77.8%	80.4%	73.0%	76.2%	75.5%	76.7%	68.1%	69.4%
		2.やや大切	18.0%	16.0%	23.0%	20.7%	20.2%	19.7%	27.4%	26.4%
		3.あまり大切ではない	3.1%	2.8%	3.3%	2.6%	3.0%	2.6%	3.6%	3.5%
		4.大切ではない	1.0%	0.7%	0.7%	0.5%	1.3%	1.1%	0.9%	0.7%
	Q.健康に食事は大切(%)	1.大切	91.4%	93.1%	92.4%	94.9%	90.8%	92.2%	88.3%	90.8%
		2.やや大切	7.4%	6.1%	6.8%	4.7%	8.0%	6.8%	10.5%	8.3%
		3.あまり大切ではない	0.9%	0.7%	0.6%	0.3%	0.8%	0.7%	1.0%	0.8%
		4.大切ではない	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.2%	0.1%
	Q.健康に睡眠は大切(%)	1.大切	83.8%	88.0%	89.1%	92.1%	84.2%	86.2%	86.9%	88.8%
		2.やや大切	13.0%	9.7%	9.5%	6.9%	13.0%	11.1%	11.5%	9.8%
		3.あまり大切ではない	2.3%	1.7%	1.1%	0.8%	2.1%	2.0%	1.3%	1.2%
		4.大切ではない	0.8%	0.6%	0.2%	0.1%	0.7%	0.7%	0.3%	0.2%
Q.保健体育の授業は楽しい(%)	1.楽しい	73.0%	75.7%	59.8%	62.8%	50.3%	48.8%	39.5%	39.7%	
	2.やや楽しい	21.4%	19.8%	31.1%	29.3%	37.9%	37.7%	43.6%	43.1%	
	3.あまり楽しくない	3.9%	3.2%	6.9%	6.0%	8.4%	9.7%	13.0%	13.3%	
	4.楽しくない	1.7%	1.2%	2.2%	1.9%	3.4%	3.9%	3.9%	3.9%	
Q.保健体育授業の目標が示されている(%)	1.示されている	50.0%	54.7%	48.0%	53.3%	58.2%	58.7%	56.3%	56.2%	
	2.ときどき示されている	33.1%	29.2%	35.2%	30.4%	28.8%	27.6%	29.9%	29.8%	
	3.あまり示されていない	11.2%	10.5%	12.2%	11.5%	9.1%	9.4%	10.4%	10.8%	
	4.示されていない	5.7%	5.6%	4.5%	4.8%	3.9%	4.2%	3.3%	3.2%	
Q.保健体育授業で振り返る活動を行っている(%)	1.行っている	30.7%	26.9%	28.5%	24.6%	40.4%	40.8%	41.7%	40.1%	
	2.ときどき行っている	33.9%	33.4%	36.9%	35.1%	31.4%	31.4%	32.5%	35.4%	
	3.あまり行っていない	21.3%	22.9%	23.1%	26.5%	18.8%	18.6%	18.7%	18.4%	
	4.行っていない	14.1%	16.6%	11.5%	13.7%	9.4%	9.2%	7.1%	6.4%	
Q.保健体育授業で助け合う活動を行っている(%)	1.行っている	49.4%	52.0%	52.6%	57.9%	47.9%	49.9%	54.1%	56.1%	
	2.ときどき行っている	36.9%	35.8%	36.8%	32.9%	36.7%	36.2%	34.7%	33.5%	
	3.あまり行っていない	10.5%	8.5%	8.8%	7.6%	11.6%	10.5%	9.1%	8.3%	
	4.行っていない	3.2%	2.8%	1.8%	1.6%	3.8%	3.4%	2.1%	2.1%	
Q.保健体育授業で話し合う活動を行っている(%)	1.行っている	50.2%	52.6%	45.7%	49.8%	45.0%	46.5%	43.0%	45.3%	
	2.ときどき行っている	34.9%	33.8%	39.5%	37.1%	36.5%	35.6%	39.5%	39.0%	
	3.あまり行っていない	11.3%	10.1%	12.2%	10.8%	14.0%	13.4%	14.3%	13.1%	
	4.行っていない	3.6%	3.4%	2.7%	2.3%	4.6%	4.5%	3.2%	2.6%	
Q.できないことができるようになったきっかけ(複数回答可)(%)	1.授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	44.9%	45.9%	43.2%	42.5%	42.8%	43.7%	46.6%	49.0%	
	2.授業中に自分で工夫して練習した	33.9%	29.9%	31.6%	28.0%	40.2%	40.1%	34.0%	33.7%	
	3.自分に合った場やルールが用意された	8.9%	8.6%	8.0%	7.0%	4.2%	4.3%	4.4%	5.0%	
	4.先生や友達のをまねしてみた	42.3%	40.5%	51.9%	49.3%	40.1%	38.3%	49.0%	49.2%	
	5.友達に教えてもらった	46.6%	46.0%	63.1%	61.9%	46.9%	46.3%	66.1%	65.6%	
	6.授業中に自分の動きを撮影した	4.1%	3.4%	4.0%	3.4%	3.4%	2.8%	4.4%	3.5%	
	7.授業外の時間に先生に教えてもらった	6.9%	7.1%	7.1%	6.8%	3.2%	3.3%	3.4%	3.4%	
	8.授業外の時間に自分で練習した	25.9%	24.7%	35.5%	34.6%	11.5%	10.3%	15.1%	13.6%	
	9.授業外の時間に自分で本を借りたりビデオを見たりした	13.2%	12.8%	12.4%	12.2%	6.1%	5.5%	5.7%	5.3%	
	10.できるようになったことがない	4.5%	4.4%	2.3%	2.3%	7.3%	6.7%	4.7%	4.2%	
Q.体育授業で動きを撮影して活用する活動(%)	1.そう思う	5.4%	5.1%	3.7%	3.8%	6.4%	5.4%	5.1%	4.3%	
	2.ややそう思う	10.3%	10.0%	10.0%	8.5%	12.4%	10.2%	13.9%	11.3%	
	3.あまりそう思わない	16.5%	14.5%	18.1%	15.8%	18.0%	16.8%	19.6%	19.2%	
	4.そう思わない	67.8%	70.4%	68.2%	71.8%	63.2%	67.7%	61.4%	65.3%	
Q.体育授業で自分で練習や場を選んで活動(%)	1.そう思う	36.6%	36.7%	34.3%	35.5%	27.8%	30.2%	24.7%	28.2%	
	2.ややそう思う	32.1%	32.9%	34.2%	33.9%	34.2%	32.4%	35.4%	35.1%	
	3.あまりそう思わない	19.0%	18.5%	21.5%	21.0%	23.0%	23.2%	26.9%	24.7%	
	4.そう思わない	12.3%	12.4%	10.1%	9.7%	14.9%	14.1%	12.9%	12.1%	
Q.保健体育授業で学んだことを授業以外の時にも行ってみようと思う(%)	1.そう思う	43.1%	45.1%	42.5%	45.2%	28.1%	28.7%	21.5%	22.8%	
	2.ややそう思う	33.9%	33.7%	37.2%	35.6%	37.2%	37.1%	40.7%	40.9%	
	3.あまりそう思わない	15.7%	15.0%	15.3%	14.0%	23.0%	22.9%	27.0%	26.7%	
	4.そう思わない	7.3%	6.2%	5.0%	4.7%	11.7%	11.3%	10.8%	9.6%	
Q.保健体育授業で学んだ内容は将来役に立つ(%)	1.そう思う	49.2%	56.4%	38.1%	47.3%	39.7%	42.6%	27.7%	31.2%	
	2.ややそう思う	30.4%	27.8%	35.4%	32.6%	38.5%	37.3%	42.7%	42.9%	
	3.あまりそう思わない	13.0%	10.8%	19.3%	15.3%	15.5%	15.2%	22.4%	20.2%	
	4.そう思わない	6.6%	4.9%	7.1%	4.8%	6.3%	5.0%	7.2%	5.7%	
運動部やスポーツクラブ以外で運動すること(%)	1.よくある	47.8%	43.4%	33.3%	29.3%	32.3%	33.0%	15.2%	15.4%	
	2.ときどきある	34.1%	31.7%	43.8%	44.1%	35.7%	34.6%	35.6%	36.2%	
	3.あまりない	12.1%	13.6%	16.4%	16.2%	20.1%	20.9%	30.3%	30.3%	
	4.全くない	6.0%	7.9%	6.5%	8.3%	11.9%	11.6%	18.9%	18.1%	
Q.主な相手(複数回答可)(%)	1.友達	73.0%	60.7%	70.5%	58.1%	73.9%	69.4%	67.0%	60.9%	
	2.家の人	39.7%	47.2%	48.8%	56.3%	20.4%	23.7%	42.4%	49.3%	
	3.先生	2.5%	2.6%	2.7%	2.9%	1.3%	1.4%	2.6%	2.8%	
	4.地域の人	4.9%	5.0%	3.2%	3.5%	2.8%	2.9%	3.0%	3.7%	
	5.一人で	33.8%	33.3%	28.0%	29.9%	40.6%	41.0%	35.1%	37.1%	
	6.その他	7.2%	6.3%	8.2%	7.7%	4.3%	4.4%	7.5%	7.9%	
Q.体力向上の目標(%)	1.目標を立てている	74.0%	74.0%	72.7%	73.4%	69.7%	71.4%	66.6%	69.2%	
	2.目標は立てていない	26.0%	26.0%	27.3%	26.6%	30.3%	28.6%	33.4%	30.8%	
Q.オリンピック・パラリンピックへの気持ち(複数回答可)(%)	1.運動がスポーツに関心が高まってきた	36.4%	38.0%	29.6%	32.2%	33.9%	36.0%	26.4%	30.0%	
	2.オリンピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみよう	31.3%	30.8%	24.1%	23.9%	15.7%	16.2%	11.0%	11.2%	
	3.オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたい	26.1%	27.3%	28.1%	28.9%	10.9%	12.5%	11.4%	14.8%	
	4.自分も選手として出場してみたい	33.0%	31.9%	19.0%	20.1%	16.1%	16.4%	6.6%	7.1%	
	5.試合を見に行ってみよう	56.4%	56.2%	56.2%	57.0%	54.8%	56.5%	58.4%	60.7%	
	6.大会開催の手伝いやボランティアをしてみたい	17.9%	18.7%	24.8%	26.6%	10.7%	11.7%	18.3%	21.5%	
	7.分からない	15.2%	15.5%	17.4%	17.1%	18.9%	17.3%	21.4%	18.5%	
	8.その他	10.0%	7.9%	9.1%	7.6%	8.8%	8.2%	8.1%	6.9%	
Q.最後までやり遂げられなかったことがある(%)	1.当てはまる	73.5%	76.5%	75.4%	78.8%	74.6%	75.9%	76.5%	77.4%	
	2.どちらかといえば当てはまる	20.6%	18.4%	20.3%	17.3%	19.8%	18.8%	19.2%	19.0%	
	3.どちらかといえば当てはまらない	3.9%	3.4%	3.2%	2.9%	3.6%	3.5%	3.1%	2.9%	
	4.当てはまらない	1.9%	1.6%	1.1%	0.9%	2.0%	1.8%	1.1%	0.7%	
Q.失敗を恐れないで挑戦する(%)	1.当てはまる	45.5%	48.7%	37.5%	41.8%	38.8%	44.1%	28.2%	32.1%	
	2.どちらかといえば当てはまる	38.4%	36.8%	43.7%	40.4%	40.4%	37.4%	46.6%	45.6%	
	3.どちらかといえば当てはまらない	12.5%	11.5%	15.6%	15.0%	16.5%	14.8%	21.5%	19.2%	
	4.当てはまらない	3.6%	3.0%	3.2%	2.9%	4.2%	3.7%	3.8%	3.1%	
Q.自分には、よいところがある(%)	1.当てはまる	43.7%	47.3%	36.1%	42.8%	35.1%	39.8%	21.8%	25.1%	
	2.どちらかといえば当てはまる	34.0%	31.8%	40.7%	37.2%	37.6%	36.7%	42.6%	44.8%	
	3.どちらかといえば当てはまらない	13.5%	12.7%	16.0%	14.0%	17.8%	15.5%	24.8%	21.2%	
	4.当てはまらない	8.8%	8.2%	7.1%	6.1%	9.5%	8.0%	10.8%	8.9%	

※ 表については県と全国の2群を比較し、県の方が高い項目を網掛けしている

「児童生徒の体力・運動能力調査（栃木県）」
結果資料

平成 29 年度児童生徒の体力・運動能力調査（栃木県）結果について

スポーツ振興課

1 調査概要

(1) 目的

県内小・中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒を対象に、新体力テスト及び身体計測を実施し、児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料を得る。

(2) 対象

県内の公立小・中学校、義務教育学校及び県立高等学校（全日制・定時制）を悉皆調査した。標本数は小学校 94,206 名（男子 48,262 名・女子 45,944 名）中学校 48,074 名（男子 24,566 名・女子 23,508 名）高等学校 35,032 名（男子 17,202 名・女子 17,830 名）であった。

(3) 実施期間

平成 29 年 5 月～7 月

(4) 内容

文部科学省「新体力テスト実施要項」により新体力テストを実施した。なお中学・高等学校で選択種目となる持久走と 20m シャトルランは、後者のみを対象とした。

出典「新体力テスト 有意義な活用のために」文部省 平成 12 年（測定概要を独自追記）

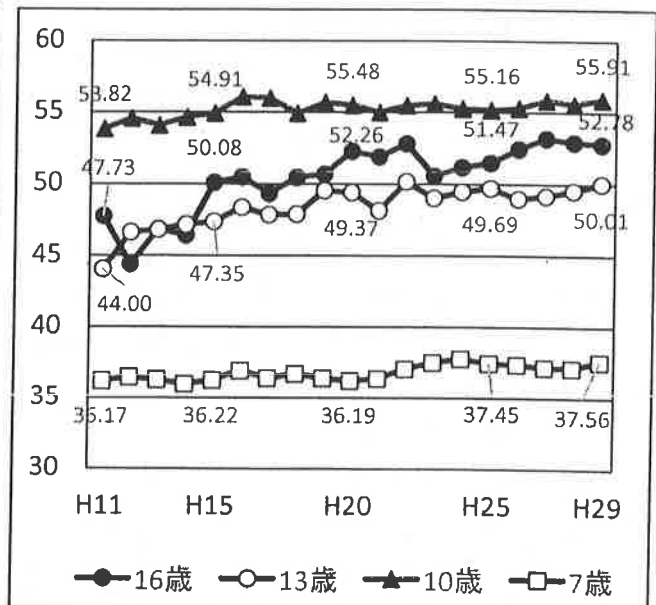
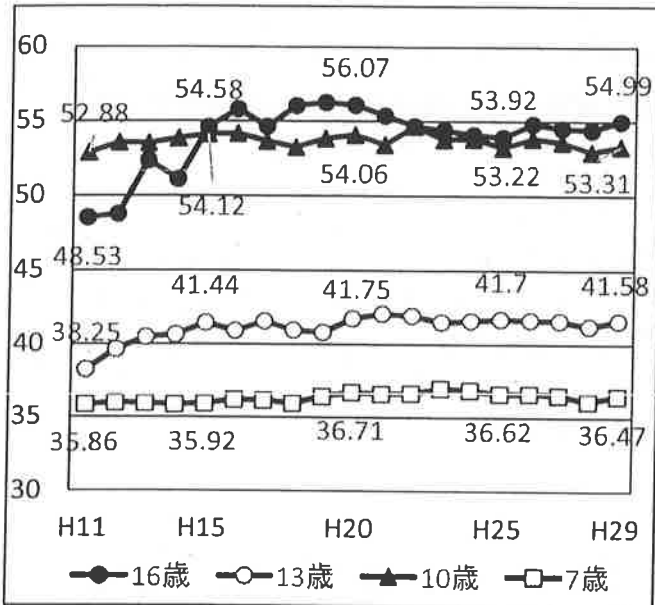
種目	体力評価	基礎運動能力評価	測定概要
握力	筋力	—	計器による握力測定を行い、左右平均値を kg 単位で算出する。
上体起こし	筋力 筋持久力	—	仰臥姿勢（あおむけ）から上体を起こす動作が 30 秒間に何回できるかを測定する。
長座位前屈	柔軟性	—	長座位姿勢から上体を前屈した時の柔軟性を cm 単位で測定する。
反復横とび	敏しょう性	—	1 m 間隔の 3 本のラインをサイドステップで左右に反復し、20 秒間内でラインを通過した回数を数える。
20m シャトルラン	全身持久力	—	速度が段階的に増加する信号音に合わせて、20m 間往復の持続走を行い、反復可能な回数を数える。
50m 走	スピード	走る	50m を走る時間を 10 分の 1 秒単位で測定する。小学生はスタンディングスタート、中学・高校生はクラウチングスタートにより行う。
立ち幅とび	筋パワー	跳ぶ	立位姿勢から両足踏み切りで前方へ跳躍した距離を cm 単位で測る。
ボール投げ	巧ち性 筋パワー	投げる	原則としてオーバーハンドスローにより、小学生はソフトボール、中学生はハンドボールを用いて遠投距離を m 単位で測る。

※ これらの 8 種目を、それぞれ定められた基準により 10 点満点で評価した得点の合計を「体力合計点」とする。（80 点満点であり、性別・学校種別で基準が異なる。）

2 結果概要

- (1) 調査実施後の19年間(平成11年～29年度)における体力合計点の推移
 - ア 女子においては、おおむね緩やかに向上する傾向が見られる。
 - イ 男子においては、近年において停滞する傾向が見られる。

図1 調査における新体力テスト体力合計点の推移



《男子体力合計点》

《女子体力合計点》

- (2) 調査施行後の19年間(平成11～29年度)における平成29年度平均値の傾向

- ア 男子は、上体起こし(筋持久力)、反復横とび(敏しょう性)、20mシャトルラン全身持久力)、50m走(走能力)については、上位となった学年がある。
- イ 女子は、握力(筋力)、ボール投げ(投能力)以外で上位となった。
- ウ 男女ともに握力(筋力)、ボール投げ(投能力)については、多くの段階で下位となった。

表1 調査施行後の19年間(平成11～29年度)における平成29年度の傾向

		小学校					中学校				高等学校(全日制)			高等学校(定時制)			
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	15歳	16歳	17歳	18歳
男子	握力	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲
	上体起こし		○		○	○											○
	長座体前屈										▲			▲	▲		
	反復横とび								○	○			○	○			
	20mシャトルラン		○						○				○				
	50m走								○	○	○	○		○			○
	立ち幅とび	▲	▲	▲	▲	▲	▲						▲	▲	▲	▲	
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲	▲	▲	▲	
	合計点			▲			▲									▲	
女子	握力	▲		▲	▲	▲	▲	▲			▲				▲		
	上体起こし		○	○	○	○	○		○	○			○			○	○
	長座体前屈								○			○					
	反復横とび		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	20mシャトルラン	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	▲	○		
	50m走				○			○	○		○	○				○	
	立ち幅とび			▲					○	○		○					
	ボール投げ						▲	▲			▲	▲	▲		▲		
	合計点		○		○	○			○	○			○	○		○	

○ …過去19年間で今年の平均値が上位3位以内に入った種目
 ▲ …過去19年間で今年の平均値が下位3位以内に入った種目

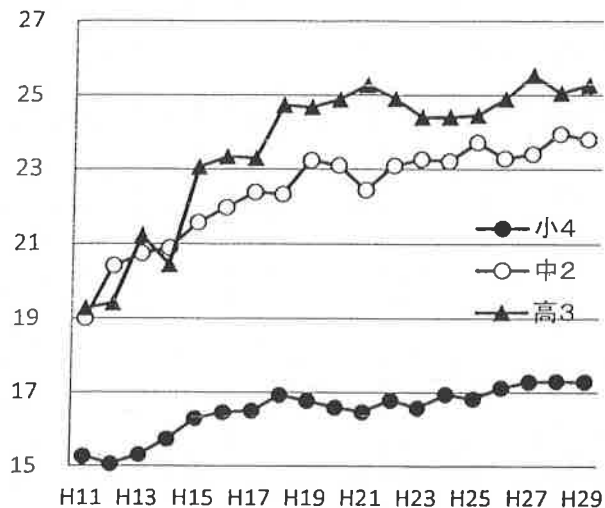
(3) 調査における各発達段階、種目の平均値の推移

ア. 上体起こし(筋持久力)、反復横とび(敏しょう性)、20mシャトルラン(全身持久力)、50m走(走能力)は、男女ともに緩やかに向上する傾向がみられる。

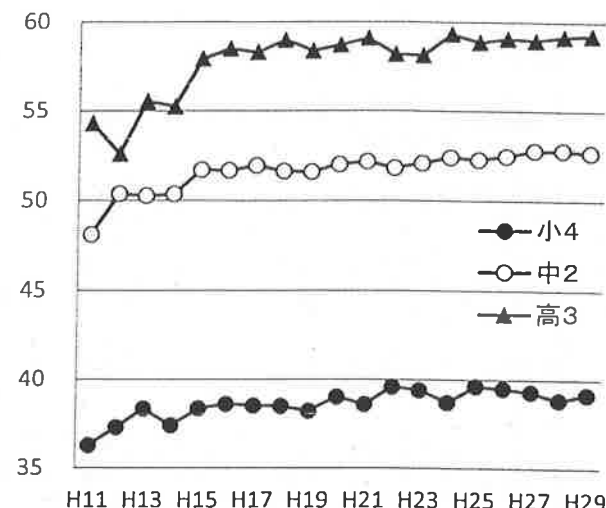
イ. 握力(筋力)、ボール投げ(投能力)については、男女ともに低下する傾向がみられる。

《ゆるやかに向上している種目の例》

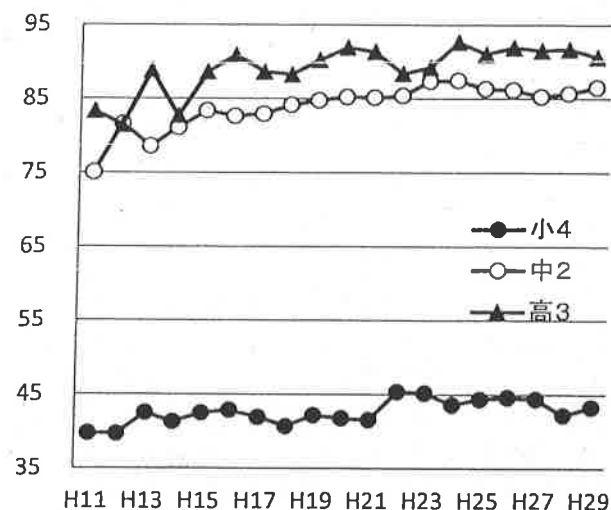
○ 上体起こし(回) 女子



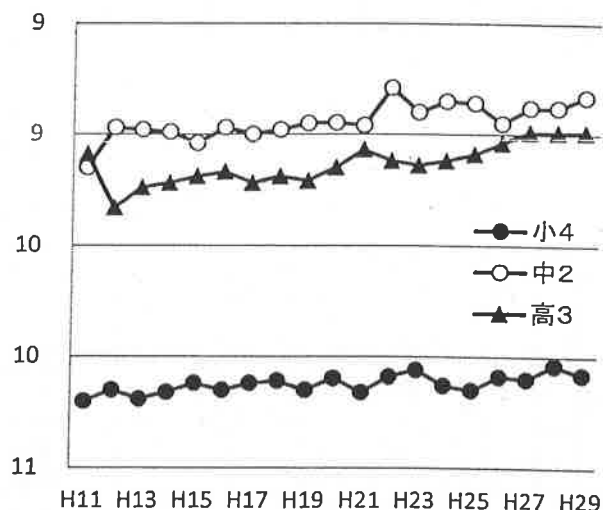
○ 反復横とび(回)女子



○ 20mシャトルラン(回)男子

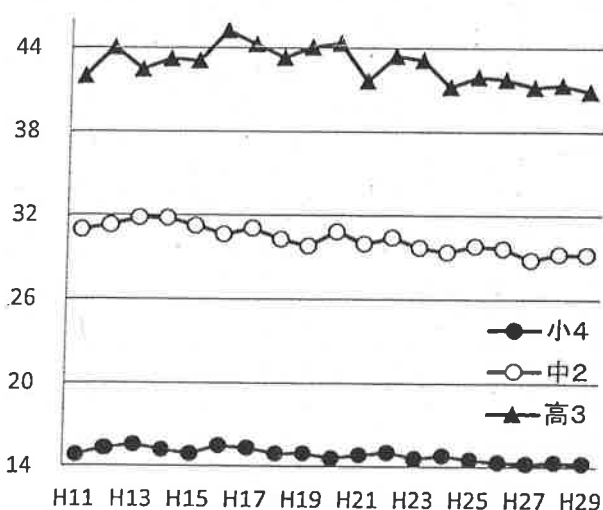


○ 50m走(秒)女子

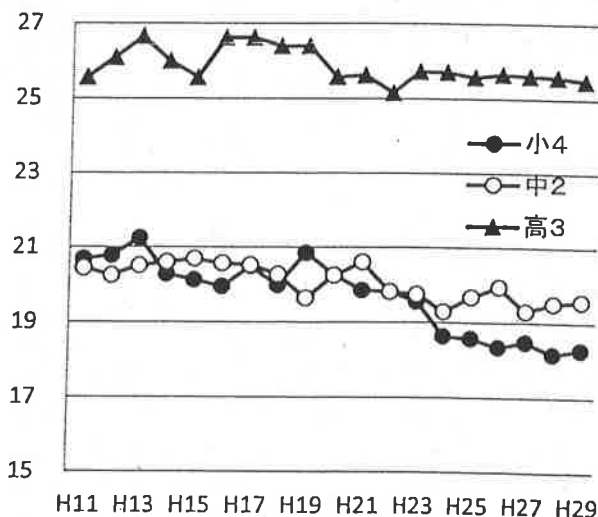


《低下傾向にある種目の例》

● 握力(Kg) 男子



● ボール投げ(m) 男子



年齢別・学校区分別 体格・体力集計表【男子】

※10歳、13歳のデータは
「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)による」

10

区分	年齢	年度	人数	項目	握力	上体	長座	反復	20m	50m走	立ち	ボール	合計点	身長	体重
					(kg)	起こし (回)	体前屈 (cm)	横とび (回)	シャトル (回)	(秒)	幅とび (cm)	投げ (m)		(cm)	(kg)
小学校	6歳	H29	7,626	平均	8.91	11.58	25.25	27.34	18.51	11.68	110.24	7.94	29.47	116.31	21.57
				標準偏差	2.29	5.26	6.42	4.83	9.84	1.18	17.86	3.12	6.56	5.03	3.59
	6歳	H28	2,889	平均	9.01	11.67	24.79	27.68	18.87	11.58	111.56	7.97	29.78	116.87	21.80
				標準偏差	2.32	5.29	5.91	5.10	10.21	1.24	17.65	3.25	6.94	5.41	3.94
	7歳	H29	7,957	平均	10.65	14.15	26.37	31.49	27.76	10.85	122.15	11.16	36.47	122.39	24.33
				標準偏差	2.54	5.28	6.54	5.89	13.32	1.15	17.75	4.47	7.40	5.07	4.41
	7歳	H28	2,670	平均	10.51	13.73	26.10	31.65	27.50	10.84	122.17	10.88	36.11	122.26	24.28
				標準偏差	2.56	5.24	6.28	5.77	13.62	1.08	18.05	4.34	7.25	5.26	4.34
	8歳	H29	8,102	平均	12.39	15.95	28.04	35.13	34.55	10.37	130.53	14.46	41.87	128.02	27.63
				標準偏差	2.92	5.69	6.79	7.03	16.73	1.09	18.77	5.72	8.23	5.55	5.47
	8歳	H28	2,756	平均	12.35	15.95	28.87	35.37	34.89	10.25	132.89	14.72	42.54	128.02	27.58
				標準偏差	2.65	5.66	7.33	7.04	16.79	0.97	18.11	5.82	7.96	5.38	5.51
	9歳	H29	8,249	平均	14.26	17.94	29.83	39.15	43.27	9.87	141.01	18.27	47.85	133.38	31.08
				標準偏差	3.26	5.85	7.28	7.33	19.78	1.07	19.57	6.90	8.92	5.79	6.88
	9歳	H28	2,644	平均	14.34	17.96	30.15	38.85	42.18	9.85	140.04	18.16	47.66	133.58	31.36
				標準偏差	3.20	5.72	7.71	7.25	19.24	0.94	19.26	6.91	8.66	5.70	6.92
10歳	H29	8,522	平均	16.41	19.80	31.67	42.72	51.99	9.48	149.00	21.75	53.31	138.96	34.86	
			標準偏差	3.65	5.74	7.62	7.36	21.38	1.02	21.02	8.08	9.12	6.21	7.89	
10歳	H28	2,720	平均	16.29	19.51	31.48	42.63	50.60	9.45	148.87	21.54	52.95	138.92	34.72	
			標準偏差	3.62	5.63	7.02	6.87	21.31	0.95	19.66	7.87	8.95	6.20	8.15	
11歳	H29	8,128	平均	19.30	21.67	34.04	45.84	60.50	9.05	159.56	25.11	58.98	144.86	38.92	
			標準偏差	4.66	5.67	8.01	6.99	22.98	0.99	21.63	9.24	9.53	7.45	9.34	
11歳	H28	2,788	平均	19.37	21.62	33.78	45.92	60.57	8.98	159.76	25.27	59.16	145.13	39.28	
			標準偏差	4.64	5.70	7.75	6.85	22.75	0.94	21.91	9.04	9.44	7.28	9.20	
中学校	12歳	H29	8,201	平均	23.52	23.80	37.97	48.94	68.97	8.70	174.71	16.67	32.57	152.51	44.47
				標準偏差	6.15	5.58	9.04	6.77	23.33	0.96	24.85	4.78	8.82	8.15	10.01
	12歳	H28	2,479	平均	23.63	24.00	37.98	49.23	69.43	8.69	173.46	16.58	32.65	152.32	44.01
				標準偏差	5.80	5.44	9.04	6.63	22.78	0.90	23.78	4.53	8.61	8.00	9.50
	13歳	H29	7,917	平均	29.17	27.16	42.35	52.37	86.04	8.06	191.64	19.50	41.58	159.63	49.06
				標準偏差	7.07	6.01	10.19	7.74	24.42	0.89	28.17	5.47	10.08	7.68	9.98
13歳	H28	2,446	平均	29.20	27.39	41.38	52.79	85.71	8.09	191.71	19.50	41.22	159.62	48.97	
			標準偏差	6.84	5.75	9.77	6.72	23.93	0.83	26.63	5.09	9.92	7.46	9.57	
14歳	H29	8,211	平均	34.20	29.42	46.91	55.66	93.96	7.65	207.55	22.03	48.55	165.10	54.06	
			標準偏差	7.28	5.97	10.70	7.09	24.21	0.67	25.73	5.71	10.62	6.67	9.93	
14歳	H28	2,391	平均	34.35	29.75	46.04	55.60	94.15	7.65	206.78	22.10	48.51	165.07	54.49	
			標準偏差	7.01	5.82	10.56	6.78	24.01	0.73	25.55	5.72	10.40	6.62	9.61	
高校(全日制)	15歳	H29	5,712	平均	37.13	29.58	49.18	56.95	87.13	7.56	217.56	23.39	50.85	167.83	59.18
				標準偏差	6.89	5.75	10.91	6.32	23.23	0.63	23.97	5.56	10.08	5.87	10.75
	15歳	H28	5,417	平均	37.36	29.68	49.36	57.23	87.51	7.57	218.31	23.20	51.03	167.77	59.30
				標準偏差	6.81	5.58	10.61	6.08	22.84	0.65	24.10	5.40	9.83	6.01	10.53
	16歳	H29	5,426	平均	39.31	31.12	51.57	58.60	93.13	7.36	224.61	24.86	54.99	169.36	61.05
				標準偏差	6.84	5.77	10.84	6.43	25.31	0.71	23.72	5.75	10.38	5.88	10.47
16歳	H28	5,394	平均	39.71	31.05	50.95	58.55	91.21	7.42	223.53	24.64	54.41	169.41	61.14	
			標準偏差	6.92	5.92	10.89	6.38	24.88	0.75	24.26	5.74	10.64	5.83	10.33	
17歳	H29	5,644	平均	40.88	31.81	52.89	59.25	90.66	7.35	227.34	25.49	56.27	170.17	63.10	
			標準偏差	6.99	6.11	11.13	6.68	25.68	0.74	24.18	5.95	10.81	5.85	10.67	
17歳	H28	5,321	平均	41.34	31.83	52.44	59.18	91.69	7.33	228.05	25.58	56.50	170.08	62.68	
			標準偏差	7.07	5.74	10.80	6.44	25.75	0.69	23.35	5.90	10.49	5.76	10.41	
高校(定時制)	15歳	H29	141	平均	36.87	24.43	40.45	48.38	55.43	7.92	198.99	20.58	39.40	167.45	61.47
				標準偏差	7.51	7.09	10.24	7.36	23.21	0.90	28.38	5.95	10.02	6.64	14.54
	15歳	H28	117	平均	35.63	23.83	43.08	46.67	54.11	8.15	197.38	19.96	38.38	167.22	61.72
				標準偏差	7.40	7.40	9.97	9.43	25.59	1.31	32.70	5.45	10.66	6.22	15.85
	16歳	H29	108	平均	37.91	24.28	41.82	48.09	58.02	8.04	203.11	20.47	39.90	168.51	63.95
				標準偏差	6.75	6.97	11.14	9.02	24.41	1.17	29.67	5.74	10.37	5.99	14.10
	16歳	H28	101	平均	38.66	23.67	40.81	45.99	57.07	8.03	201.47	20.77	38.61	167.98	61.57
				標準偏差	7.75	7.20	10.84	8.06	23.58	1.05	29.30	5.59	9.23	7.06	14.83
	17歳	H29	93	平均	40.49	23.62	44.12	46.71	57.20	7.95	201.02	21.28	40.61	169.20	62.37
				標準偏差	7.86	7.22	11.83	9.17	24.34	1.04	34.19	5.66	10.20	5.70	12.74
	17歳	H28	108	平均	40.55	25.07	43.91	48.69	57.88	7.90	209.74	21.99	42.57	168.77	63.70
				標準偏差	7.06	6.86	9.67	8.85	25.42	1.05	29.87	5.59	9.35	6.28	15.66
18歳	H29	78	平均	41.68	26.49	45.27	48.10	59.76	7.89	207.85	21.79	43.04	168.77	64.70	
			標準偏差	6.32	6.84	9.41	8.69	25.98	0.99	31.35	5.88	8.82	6.04	15.44	
18歳	H28	46	平均	41.74	25.48	48.93	46.65	51.00	8.03	207.78	23.59	42.70	169.41	64.95	
			標準偏差	6.64	6.55	9.91	9.67	23.53	1.13	33.03	5.95	9.78	6.37	16.17	

年齢別・学校区分別 体格・体力集計表【女子】

※10歳、13歳のデータは

「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)による」

区分	年齢	年度	人数	項目	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反覆 横とび (回)	20m シャトル (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ボール 投げ (m)	合計点	身長 (cm)	体重 (kg)
小学校	6歳	H29	7,325	平均	8.41	11.22	27.64	26.51	15.95	11.99	103.69	5.60	29.80	115.53	21.17
				標準偏差	2.13	4.97	6.45	4.28	7.66	1.09	16.40	1.93	6.64	6.64	4.89
	6歳	H28	2,684	平均	8.47	11.50	27.27	27.09	16.42	11.85	105.61	5.65	30.50	115.87	21.35
				標準偏差	2.23	5.21	6.15	4.71	7.88	1.22	16.56	2.05	7.08	7.08	5.57
	7歳	H29	7,487	平均	10.11	13.94	29.22	30.65	22.64	11.11	116.01	7.51	37.56	121.47	23.81
				標準偏差	2.35	4.99	6.69	5.27	10.18	1.02	16.87	2.57	7.34	7.34	5.38
	7歳	H28	2,562	平均	9.92	13.45	29.11	30.77	22.36	11.09	114.78	7.37	37.10	121.26	23.76
				標準偏差	2.34	4.82	6.59	5.26	9.95	0.97	17.18	2.41	7.12	7.12	5.13
	8歳	H29	7,614	平均	11.73	15.55	31.17	33.98	27.34	10.60	125.16	9.66	43.26	127.34	27.01
				標準偏差	2.71	5.27	6.90	6.37	12.52	0.96	17.75	3.40	7.96	7.96	5.55
	8歳	H28	2,644	平均	11.65	15.43	32.25	34.25	26.67	10.53	125.61	9.43	43.46	127.40	27.07
				標準偏差	2.67	5.16	7.43	6.60	11.96	0.96	17.44	3.25	7.83	7.83	5.59
	9歳	H29	7,803	平均	13.61	17.29	33.56	37.81	34.91	10.08	135.12	11.92	49.60	133.41	30.31
				標準偏差	3.18	5.27	7.33	6.67	14.96	0.98	18.29	4.28	8.55	8.55	6.37
	9歳	H28	2,624	平均	13.68	17.30	33.85	37.83	33.98	10.04	135.16	11.70	49.51	133.43	30.60
				標準偏差	3.07	5.35	7.41	6.80	14.84	0.89	18.51	4.18	8.62	8.62	6.12
	10歳	H29	8,107	平均	16.15	19.05	36.04	41.20	42.94	9.66	144.51	14.22	55.91	140.14	34.62
				標準偏差	3.67	5.10	7.89	6.42	16.56	0.88	20.09	5.00	8.63	8.63	6.84
10歳	H28	2,662	平均	16.33	18.87	35.83	40.85	42.28	9.63	144.73	14.18	55.56	140.07	34.64	
			標準偏差	3.76	5.23	7.53	6.57	16.95	0.89	19.62	5.08	8.87	8.87	7.01	7.45
11歳	H29	7,848	平均	19.18	20.28	38.82	43.52	48.98	9.27	152.89	16.16	60.85	146.45	39.34	
			標準偏差	4.32	5.02	8.40	6.20	17.74	0.77	20.39	6.00	8.73	8.73	6.83	8.15
11歳	H28	2,639	平均	19.21	19.93	38.90	43.29	47.59	9.22	152.25	15.81	60.60	146.73	39.68	
			標準偏差	4.21	4.85	8.23	6.24	17.58	0.79	20.17	5.91	8.38	8.38	6.62	8.42
中学校	12歳	H29	7,765	平均	21.58	21.11	42.12	45.47	52.28	9.17	161.39	11.21	43.65	151.67	44.22
				標準偏差	4.46	4.96	8.97	5.72	18.15	0.76	21.48	3.62	10.09	10.09	5.79
	12歳	H28	2,365	平均	21.85	21.42	42.18	45.51	52.29	9.18	160.24	11.16	43.73	151.75	44.42
				標準偏差	4.38	4.94	8.41	5.35	18.28	0.75	21.93	3.53	9.67	9.67	5.91
	13歳	H29	7,623	平均	24.15	23.73	44.96	47.21	60.87	8.84	167.75	12.69	50.01	154.65	47.55
				標準偏差	4.56	5.53	9.24	6.11	19.58	0.79	23.60	4.03	10.58	10.58	5.35
13歳	H28	2,478	平均	24.17	23.94	44.88	47.36	60.13	8.88	167.00	12.49	49.52	154.59	47.64	
			標準偏差	4.63	5.11	8.99	5.83	19.60	0.73	23.10	3.97	10.84	10.84	5.33	7.60
14歳	H29	7,895	平均	25.62	24.83	47.35	48.49	60.59	8.76	171.71	13.52	52.64	156.05	50.34	
			標準偏差	4.73	5.54	9.68	6.23	19.87	0.83	23.59	4.26	11.32	11.32	5.18	7.72
14歳	H28	2,376	平均	25.53	24.71	46.51	48.14	59.88	8.76	169.92	13.33	51.98	156.20	50.28	
			標準偏差	4.57	5.19	9.34	5.83	19.03	0.76	23.34	4.19	10.91	10.91	5.30	7.40
高校(全日制)	15歳	H29	6,069	平均	25.62	23.92	47.80	48.71	52.91	8.96	172.11	13.31	51.30	156.57	51.87
				標準偏差	4.36	5.39	9.74	5.35	16.67	0.73	21.25	4.01	10.24	10.24	5.21
	15歳	H28	5,840	平均	25.78	23.78	48.12	48.62	52.69	8.98	171.95	13.30	51.16	156.59	51.98
				標準偏差	4.55	5.38	9.51	5.41	16.61	0.77	21.54	4.01	10.34	10.34	5.07
	16歳	H29	5,810	平均	26.44	24.83	49.56	49.07	53.68	8.98	173.60	13.75	52.78	157.11	53.10
				標準偏差	4.59	5.56	9.79	5.56	18.80	0.80	22.47	4.25	11.09	11.09	5.13
16歳	H28	5,563	平均	26.56	24.79	49.65	49.17	54.13	8.95	173.10	13.81	52.91	157.06	52.91	
			標準偏差	4.55	5.70	9.84	5.48	18.17	0.78	22.28	4.17	10.91	10.91	5.34	7.69
17歳	H29	5,659	平均	26.82	25.27	50.92	49.42	52.93	8.99	173.82	14.02	53.56	157.36	53.32	
			標準偏差	4.64	5.79	9.89	5.83	19.16	0.87	22.66	4.20	11.34	11.34	5.31	7.90
17歳	H28	5,618	平均	27.04	25.05	51.08	49.53	52.93	8.99	174.96	14.12	53.69	157.48	53.36	
			標準偏差	4.67	5.89	9.79	5.76	19.04	0.86	22.28	4.28	11.33	11.33	5.19	7.83
高校(定時制)	15歳	H29	106	平均	25.76	18.49	45.28	41.27	34.78	9.68	151.67	12.18	40.51	155.68	54.31
				標準偏差	5.53	5.76	8.98	6.16	15.55	1.49	22.91	3.59	11.04	11.04	5.45
	15歳	H28	80	平均	24.83	17.95	41.23	40.74	27.55	9.52	152.93	11.29	37.60	155.12	53.97
				標準偏差	4.99	6.24	9.72	6.95	11.39	0.88	23.15	3.71	9.29	9.29	5.66
	16歳	H29	80	平均	25.16	18.11	44.29	42.03	30.53	9.65	150.63	11.74	39.53	155.82	53.07
				標準偏差	6.53	7.28	9.54	6.58	13.13	1.20	24.92	3.56	11.43	11.43	6.23
	16歳	H28	60	平均	26.15	18.98	43.90	41.63	32.62	9.69	153.80	12.07	40.17	155.27	52.65
				標準偏差	4.90	5.63	10.49	6.36	15.25	1.16	22.45	4.15	11.83	11.83	6.36
	17歳	H29	62	平均	27.06	19.61	44.13	43.15	36.85	9.43	156.56	12.63	42.81	155.35	53.67
				標準偏差	5.56	5.90	8.76	6.30	15.71	1.06	23.33	4.10	11.01	11.01	11.08
17歳	H28	67	平均	26.87	17.79	42.25	41.87	28.09	9.86	152.49	12.07	39.09	156.10	56.73	
			標準偏差	5.48	5.36	8.25	6.51	13.64	1.11	24.44	3.62	10.70	10.70	5.21	13.76
18歳	H29	44	平均	26.98	18.48	44.18	39.84	27.39	10.37	146.43	11.93	37.48	155.34	55.89	
			標準偏差	5.31	6.77	8.49	7.20	12.44	1.52	22.24	3.70	10.64	10.64	5.31	13.77
18歳	H28	25	平均	26.28	16.92	44.20	40.04	22.16	10.45	145.20	11.48	35.24	156.44	58.88	
			標準偏差	5.05	6.12	7.44	6.41	13.71	1.34	19.00	3.99	10.55	10.55	5.82	12.00

総合評価集計表

※10歳、13歳のデータは「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)による」

			男子 (%)						女子 (%)					
			A	B	C	D	E	(A+B)-(D+E)	A	B	C	D	E	(A+B)-(D+E)
小学校	6歳	H29	8.2	24.0	35.2	20.9	11.6	-0.25	9.1	24.6	34.3	21.2	10.8	1.85
		H28	8.0	23.6	35.0	21.3	12.1	-1.7	9.3	25.4	35.3	19.7	10.3	4.77
	7歳	H29	8.4	21.7	36.7	24.1	9.1	-3.1	10.2	24.7	37.0	21.5	6.6	6.82
		H28	7.3	20.9	37.4	24.2	10.1	-6.1	9.8	23.3	37.8	21.9	7.3	3.86
	8歳	H29	9.3	25.2	32.9	22.0	10.7	1.8	12.2	26.8	34.3	19.5	7.3	12.25
		H28	10.1	26.0	34.5	20.1	9.3	6.8	11.5	29.1	33.3	18.6	7.5	14.48
	9歳	H29	11.4	24.9	30.5	21.1	12.1	3.1	14.3	27.8	31.8	17.6	8.5	16.03
		H28	10.1	24.3	31.4	22.0	12.1	0.3	15.6	25.8	32.7	18.0	7.9	15.55
	10歳	H29	10.1	24.4	33.8	21.4	10.2	2.9	16.2	28.7	32.9	17.1	5.1	22.7
		H28	8.9	24.3	33.2	22.8	10.9	-0.4	16.9	26.6	32.7	17.8	6.0	19.72
11歳	H29	10.6	28.6	31.8	20.7	8.3	10.2	13.5	31.7	33.1	17.1	4.6	23.43	
	H28	10.7	29.5	31.6	19.9	8.4	11.9	12.7	31.2	33.8	17.3	5.0	21.6	
中学校	12歳	H29	2.3	16.8	35.7	34.1	11.1	-26.1	25.6	35.8	27.2	10.1	1.4	49.87
		H28	1.7	16.7	36.6	34.5	10.5	-26.6	25.5	36.2	28.1	9.3	1.0	51.29
	13歳	H29	7.0	24.8	38.5	22.7	7.1	2.0	29.7	34.0	25.4	9.4	1.5	52.8
		H28	5.9	25.0	39.0	22.7	7.5	0.7	27.7	34.3	26.0	10.2	1.9	49.95
	14歳	H29	16.1	29.3	32.8	16.3	5.4	23.7	30.7	28.0	26.1	12.1	3.0	43.7
		H28	15.6	29.1	35.0	15.4	5.0	24.3	28.0	27.8	28.8	12.4	3.0	40.44
高校・全	15歳	H29	18.3	31.3	34.9	12.8	2.6	34.1	20.1	29.5	35.4	12.7	2.3	34.59
		H28	17.9	33.0	34.3	12.5	2.4	36.0	19.8	29.0	35.3	13.7	2.2	32.89
	16歳	H29	26.5	35.3	27.3	9.6	1.4	50.8	21.5	29.1	33.3	14.0	2.2	34.4
		H28	25.5	34.2	28.3	10.1	2.0	47.6	21.1	30.3	33.1	13.5	2.0	35.87
	17歳	H29	26.6	36.4	26.2	9.1	1.7	52.1	19.4	31.5	32.0	15.1	2.2	33.59
		H28	25.8	36.8	27.2	9.1	1.0	52.4	20.2	30.9	32.1	15.0	1.8	34.28
高校・定	15歳	H29	1.4	7.8	33.3	39.7	17.7	-48.2	1.9	15.1	34.0	26.4	22.6	-32.1
		H28	0.9	7.7	35.9	30.8	24.8	-47.0	2.5	6.3	22.5	48.8	20.0	-60
	16歳	H29	0.9	11.1	29.6	40.7	17.6	-46.3	3.8	8.8	33.8	33.8	20.0	-41.3
		H28	1.0	7.9	24.8	49.5	16.8	-57.4	5.0	5.0	33.3	36.7	20.0	-46.7
	17歳	H29	3.2	6.5	32.3	41.9	16.1	-48.4	3.2	11.3	32.3	41.9	11.3	-38.7
		H28	0.9	12.0	38.0	39.8	9.3	-36.1	1.5	10.5	23.9	38.8	25.4	-52.2
	18歳	H29	1.3	9.0	41.0	39.7	9.0	-38.5	2.3	6.8	22.7	34.1	34.1	-59.1
		H28	2.2	13.0	34.8	41.3	8.7	-34.8	0.0	8.0	8.0	48.0	36.0	-76

アンケート項目集計表【男子】 (%)

		年度	小学校						中学校			高等学校(全)			高等学校(定)				
			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	
運動部・地域スポーツクラブへの所属状況	所属有り	H29	42.5	52.2	59.9	68.1	69.1	67.5	79.4	84.9	84.0	67.8	62.3	56.8	43.3	42.6	36.6	35.9	
		H28	42.9	50.4	61.7	66.6	68.0	69.3	81.4	86.4	86.0	67.1	61.9	56.3	33.3	39.6	34.3	43.5	
	所属無し	H29	57.5	47.8	40.2	31.9	30.9	32.5	20.6	15.1	16.0	32.2	37.7	43.2	56.7	57.4	63.4	64.1	
		H28	57.1	49.6	38.3	33.4	32.0	30.7	18.6	13.6	14.1	32.9	38.2	43.7	66.7	60.4	65.7	56.5	
運動・スポーツの実施状況	ほぼ毎日	H29	14.8	22.3	34.3	46.6	52.2	53.3	74.4	79.8	79.3	66.8	61.8	55.5	28.4	23.2	22.6	26.9	
		H28	14.9	21.3	35.9	46.7	53.1	55.3	82.1	85.0	84.9	66.9	61.5	56.6	27.4	15.8	13.9	15.2	
	ときどき	H29	52.0	52.7	42.7	35.3	32.4	31.8	13.3	10.5	10.6	10.9	10.7	11.3	30.5	38.9	26.9	28.2	
		H28	54.4	52.6	41.1	36.2	32.6	30.9	9.3	6.9	5.9	11.0	10.6	10.3	30.8	38.6	23.2	34.8	
	ときたま	H29	13.6	10.4	9.8	8.8	8.1	7.8	6.6	5.3	5.0	9.1	9.2	9.8	14.9	10.2	21.5	20.5	
		H28	12.5	11.6	10.0	7.5	8.2	8.2	4.4	4.1	4.4	8.7	9.4	9.9	18.0	17.8	30.6	17.4	
	しない	H29	19.6	14.6	13.2	9.4	7.3	7.0	5.8	4.4	5.1	13.3	18.2	23.4	26.2	27.8	29.0	24.4	
		H28	18.3	14.5	13.0	9.6	6.1	5.7	4.2	4.0	4.9	13.5	18.5	23.3	23.9	27.7	32.4	32.6	
1日の運動・スポーツの実施時間	30分未満	H29	24.4	20.4	22.7	19.6	16.4	15.5	10.9	9.1	10.6	22.7	28.0	34.3	36.2	51.9	46.2	38.5	
		H28	24.3	22.7	21.1	19.3	15.9	15.4	8.6	8.1	8.7	22.6	29.5	34.4	52.1	49.5	62.0	54.4	
	30分～1時間未満	H29	37.0	34.1	24.3	21.0	20.1	19.3	11.1	9.2	9.0	10.0	9.7	10.1	19.9	21.3	25.8	33.3	
		H28	37.8	33.4	22.5	21.2	22.5	20.7	8.4	7.6	6.4	11.5	10.6	11.8	20.5	33.7	23.2	21.7	
	1時間～2時間	H29	32.9	33.9	29.9	26.9	26.0	25.4	21.5	23.2	23.6	19.5	17.9	16.1	30.5	17.6	23.7	15.4	
		H28	32.1	32.1	29.3	26.8	24.2	24.1	21.1	19.6	24.7	18.5	17.7	14.8	19.7	11.9	13.0	21.7	
	2時間以上	H29	5.8	11.6	23.0	32.5	37.5	39.9	56.5	58.6	56.8	47.9	44.4	39.6	13.5	9.3	4.3	12.8	
		H28	5.9	11.8	27.1	32.7	37.5	39.8	62.0	64.8	60.2	47.3	42.2	39.1	7.7	5.0	1.9	2.2	
	小学校入学前以外で運動をしていた頻度	週6以上	H29	18.4	19.3	27.0	31.6	28.9	26.2										
		週4～5	H29	26.4	25.4	21.5	20.1	22.3	23.1										
週2～3		H29	20.4	21.0	16.4	15.2	15.0	16.1											
週1日未満		H29	5.0	5.5	6.1	5.6	5.8	5.8											
朝食の有無	毎日	H29	93.6	92.9	87.7	87.5	87.6	87.6	82.9	81.8	80.3	83.0	80.4	78.7	36.9	13.9	10.8	3.9	
	食べる	H28	92.2	91.9	86.7	86.6	88.4	87.2	86.6	85.8	84.0	83.3	79.5	79.3	45.3	31.7	38.9	26.1	
	時々	H29	5.8	6.6	11.2	11.3	11.3	10.8	13.5	13.6	15.0	12.9	13.9	14.9	47.5	56.5	55.9	62.8	
	欠かす	H28	6.5	7.0	11.9	11.8	10.6	10.9	11.4	11.9	12.9	12.9	14.7	14.3	41.9	47.5	37.0	41.3	
	まったく食べない	H29	0.6	0.5	1.1	1.1	1.1	1.6	3.6	4.6	4.8	4.1	5.7	6.4	15.6	19.4	20.4	20.5	
	H28	1.3	1.2	1.5	1.6	1.0	1.9	2.1	2.3	3.1	3.8	5.8	6.4	12.8	20.8	24.1	32.6		
1日の睡眠時間	6時間未満	H29	1.5	2.5	9.0	9.5	7.8	6.6	13.0	15.7	17.8	25.1	30.6	32.1	22.7	15.7	17.2	9.0	
		H28	1.2	2.4	9.0	9.3	7.2	6.8	9.8	14.3	15.7	25.1	28.8	31.3	21.4	27.7	35.2	30.4	
	6時間～8時間未満	H29	18.5	22.3	27.4	32.6	36.9	43.4	58.2	65.6	70.1	69.9	65.6	64.7	68.8	8.3	6.5	7.7	
		H28	19.3	23.2	28.3	34.5	38.4	44.6	59.7	68.2	72.8	69.5	66.5	63.9	65.0	62.4	58.3	56.5	
8時間以上	H29	80.1	75.2	63.6	58.0	55.3	50.0	28.8	18.7	12.1	5.1	3.8	3.2	8.5	0.0	0.0	0.0		
	H28	79.4	74.3	62.8	56.2	54.5	48.7	30.6	17.5	11.5	5.4	4.7	4.8	13.7	9.9	6.5	13.0		
ぐっすり眠れる頻度	週6以上	H29	63.2	61.0	51.7	48.0	43.0	41.9	39.6	37.3	34.7	46.9	43.8	46.0	39.7	14.8	22.6	28.2	
	週4～5	H29	5.7	7.0	10.0	13.4	16.9	17.5	19.6	21.7	22.5	28.6	29.8	28.9	48.2	21.3	24.7	12.8	
	週2～3	H29	1.0	2.0	5.4	7.5	8.9	9.3	11.6	12.1	14.0	19.2	20.1	19.7	7.1	23.2	15.1	19.2	
	週1日未満	H29	0.4	1.1	3.9	3.6	3.2	2.4	3.1	3.5	3.2	5.2	6.3	5.4	5.0	40.7	37.6	39.7	
1日のテレビ(テレビゲームも含む)の視聴時間	1時間未満	H29	14.5	14.6	21.5	22.3	18.2	15.1	24.5	20.2	21.8	30.9	29.2	35.0	20.6	25.0	28.0	30.8	
		H28	13.9	14.9	23.7	23.5	18.5	14.5	20.6	17.7	20.3	29.4	27.8	34.4	22.2	16.8	33.3	34.8	
	1時間～2時間未満	H29	44.6	43.0	36.9	33.5	33.9	34.5	37.3	38.4	39.8	38.4	36.9	34.0	22.7	18.5	10.8	2.6	
		H28	43.4	42.6	34.8	32.6	35.0	34.8	37.6	37.7	41.0	39.0	37.0	35.1	23.1	21.8	35.2	32.6	
	2時間～3時間未満	H29	30.5	31.0	24.2	22.8	23.7	24.8	21.3	24.2	21.9	18.8	18.6	17.5	17.0	0.9	6.5	3.9	
		H28	32.0	30.8	23.1	20.5	21.7	25.4	22.4	24.8	22.2	18.2	19.5	16.7	38.5	27.7	14.8	17.4	
	3時間以上	H29	10.3	11.4	17.4	21.4	24.2	25.6	16.9	17.3	16.5	12.0	15.4	13.5	39.7	0.0	0.0	0.0	
		H28	10.7	11.7	18.3	23.3	24.9	25.3	19.5	19.8	16.6	13.3	15.7	13.8	16.2	33.7	16.7	15.2	
なんでも最後までやり遂げたいと思うか	そう思う	H29							38.1	33.8	34.3	47.4	40.5	43.2	38.3	26.3	25.8	34.1	
	まあそう思う	H29							30.6	33.9	33.9	42.7	47.0	45.5	53.2	73.8	74.2	65.9	
	あまりそう思わない	H29							4.5	5.6	4.8	8.3	10.3	9.1	5.7	12.5	16.1	20.5	
	全くそう思わない	H29							0.8	1.3	1.3	1.7	2.3	2.2	2.8	27.5	17.7	25.0	

・網掛けの3項目は、平成29年度からの新規質問項目のため平成28年度の比較データはありません。なお、その3項目については、無回答があるため合計しても100%になりません。

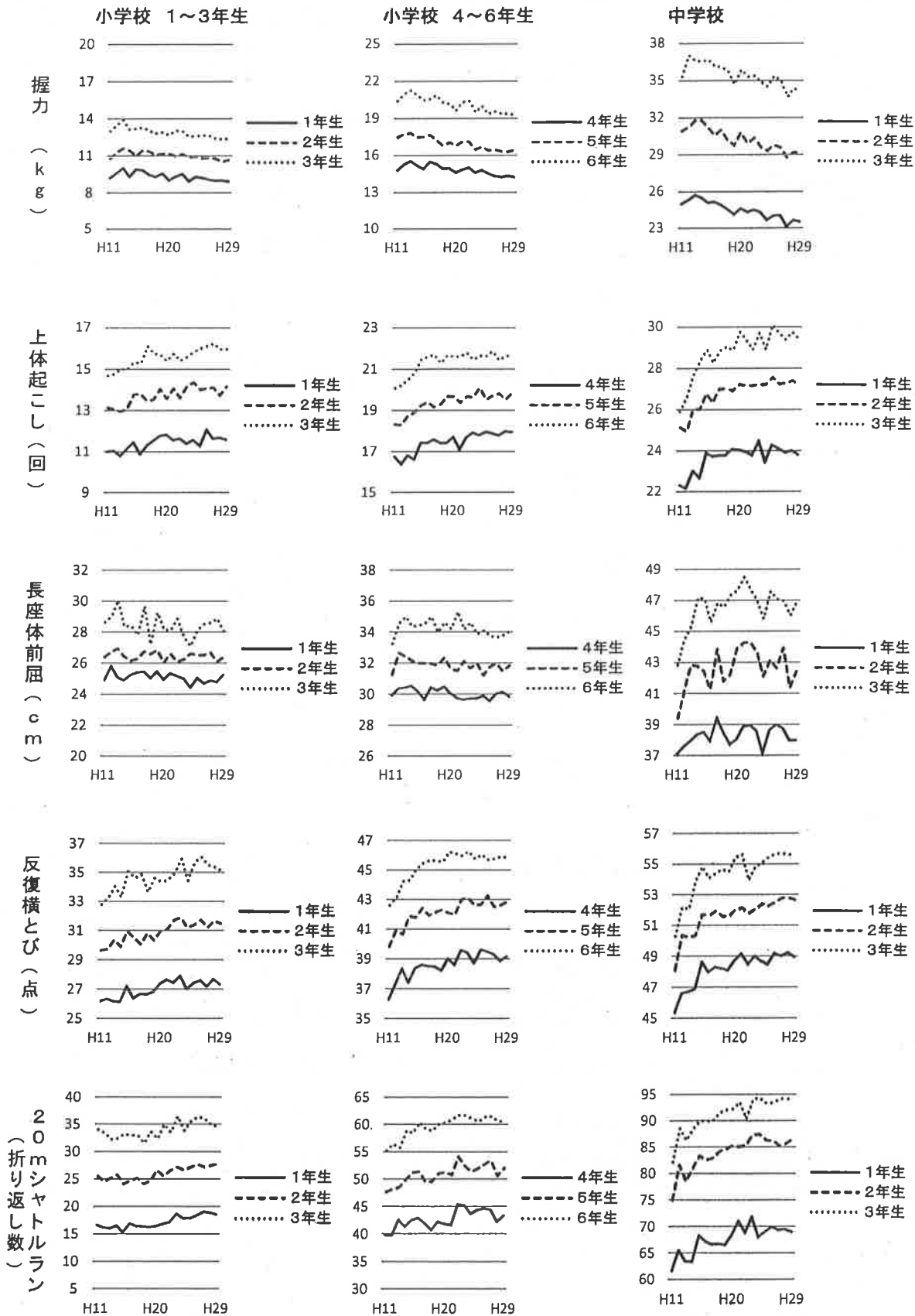
アンケート項目集計表【女子】 (%)

	年度	小学校							中学校			高等学校(全)			高等学校(定)			
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	
運動部・地域スポーツクラブへの所属状況	所属有り	H29	29.8	39.1	45.7	50.4	49.1	46.8	62.4	65.8	63.9	38.0	34.8	32.3	25.5	41.3	38.7	40.9
		H28	30.4	35.2	45.2	51.3	51.1	45.9	61.6	63.8	61.7	38.4	36.3	33.0	26.3	28.3	19.4	32.0
	所属無し	H29	70.3	60.9	54.3	49.6	50.9	53.2	37.6	34.2	36.1	62.0	65.2	67.7	74.5	50.0	54.8	59.1
		H28	69.6	64.8	54.8	48.7	48.9	54.2	38.4	36.2	38.3	61.6	63.7	67.0	73.8	71.7	80.6	68.0
運動・スポーツの実施状況	ほぼ毎日	H29	9.2	13.5	22.3	31.5	34.4	32.8	59.9	61.7	60.4	37.1	33.9	31.5	17.9	31.3	22.6	27.3
		H28	10.7	15.1	23.8	33.7	39.0	32.7	64.1	64.8	61.7	37.5	35.0	31.7	18.8	16.7	13.4	8.0
	ときどき	H29	47.8	52.1	47.2	43.7	44.1	43.1	17.5	15.6	13.6	13.5	11.2	10.1	21.7	12.5	17.7	13.6
		H28	48.0	49.9	46.9	42.6	41.9	43.0	16.6	11.6	10.7	13.2	12.3	9.8	28.8	23.3	19.4	12.0
	ときたま	H29	16.2	14.9	12.6	12.7	12.5	14.6	12.4	11.5	10.6	17.3	15.7	14.1	18.9	6.3	4.8	0.0
		H28	14.8	14.5	11.3	11.5	12.0	16.6	10.5	10.3	12.2	17.6	14.9	13.0	21.3	20.0	28.4	28.0
	しない しない	H29	26.7	19.6	18.0	12.1	9.0	9.5	10.2	11.2	15.4	32.1	39.2	44.4	41.5	33.8	45.2	27.3
		H28	26.5	20.4	18.0	12.2	7.2	7.7	8.8	13.3	15.5	31.7	37.9	45.6	31.3	40.0	38.8	52.0
1日の運動・スポーツの実施時間	30分未満	H29	33.2	28.6	32.0	29.5	25.3	26.0	22.7	24.1	27.3	49.8	54.6	57.6	51.9	37.5	33.9	43.2
		H28	33.6	31.0	30.9	28.6	23.9	26.5	20.3	24.8	29.1	49.7	54.0	58.4	60.0	63.3	61.2	64.0
	30分～ 1時間未満	H29	39.7	37.1	30.6	27.5	26.7	27.2	14.0	12.2	10.8	12.2	10.8	10.9	26.4	28.8	21.0	29.6
		H28	38.5	36.7	32.0	27.6	28.8	29.0	13.5	9.2	9.0	14.0	12.1	11.8	25.0	23.3	29.9	28.0
	1時間～ 2時間	H29	24.0	28.4	25.4	25.1	25.7	23.4	18.6	18.4	18.5	14.5	12.8	11.2	16.0	33.8	35.5	20.5
		H28	24.9	26.7	24.1	25.9	26.0	23.9	21.5	17.2	16.1	13.7	12.8	10.9	8.8	8.3	7.5	4.0
	2時間以上	H29	3.1	5.9	12.0	17.8	22.2	23.4	44.7	45.3	43.5	23.6	21.9	20.4	5.7	52.5	51.6	72.7
		H28	3.0	5.7	13.0	18.0	21.3	20.7	44.8	48.8	45.8	22.7	21.1	19.0	6.3	5.0	1.5	4.0
小学校入学前以外で運動をしていた頻度	週6以上	H29	16.9	18.7	24.6	28.3	25.8	25.6										
	週4～5	H29	28.0	25.7	23.2	23.5	25.0	26.8										
	週2～3	H29	19.9	20.6	17.9	15.7	16.2	17.2										
	週1日未満	H29	5.6	6.0	5.6	4.0	3.6	3.3										
朝食の有無	毎日食べる	H29	93.1	93.1	90.0	90.3	89.9	89.4	84.0	82.5	81.5	86.3	84.4	83.4	35.9	13.8	12.9	6.8
		H28	92.0	90.9	88.5	89.8	88.5	88.7	88.1	88.1	85.8	85.2	82.9	83.0	45.0	50.0	38.8	36.0
	時々欠かす	H29	6.2	6.3	9.1	9.0	9.0	9.4	12.7	13.7	14.4	11.8	13.2	13.9	50.0	12.5	6.5	15.9
		H28	6.7	8.0	10.1	9.1	10.0	9.9	10.7	10.3	12.5	12.1	13.9	14.2	36.3	30.0	47.8	44.0
	まったく食べない	H29	0.6	0.6	1.0	0.7	1.1	1.2	3.3	3.8	4.1	1.9	2.4	2.7	14.2	42.5	74.2	65.9
		H28	1.3	1.1	1.4	1.1	1.5	1.5	1.2	1.7	1.8	2.6	3.1	2.8	18.8	20.0	13.4	20.0
1日の睡眠時間	6時間未満	H29	1.5	2.1	7.5	6.1	4.8	4.7	12.0	16.8	19.6	32.2	34.8	36.8	36.8	36.3	14.5	13.6
		H28	1.0	2.1	6.2	5.7	4.1	4.5	9.0	13.2	17.7	31.9	33.3	37.2	16.3	30.0	31.3	32.0
	6時間～ 8時間未満	H29	18.3	22.2	27.0	32.0	35.2	43.7	61.8	69.6	71.9	64.3	61.8	60.8	55.7	8.8	4.8	4.6
		H28	19.6	24.1	28.4	32.1	36.2	46.0	65.8	71.3	73.2	63.3	62.7	58.7	70.0	58.3	61.2	52.0
	8時間以上	H29	80.3	75.7	65.5	61.9	60.0	51.6	26.2	13.7	8.6	3.5	3.4	2.5	7.6	0.0	0.0	0.0
		H28	79.3	73.9	65.4	62.2	59.7	49.6	25.2	15.5	9.1	4.8	4.0	4.1	13.8	11.7	7.5	16.0
ぐっすり眠れる頻度	週6以上	H29	62.7	61.3	54.2	49.8	44.7	44.4	38.6	35.8	34.3	46.7	45.4	48.2	3.8	31.3	22.6	22.7
	週4～5	H29	5.9	7.3	10.0	13.8	17.1	18.1	19.5	21.8	22.4	29.0	30.8	29.0	10.4	20.0	17.7	15.9
	週2～3	H29	1.2	1.8	4.7	6.0	7.2	8.7	12.7	14.7	15.7	19.7	19.3	18.6	57.6	12.5	24.2	13.6
	週1日未満	H29	0.6	0.8	2.3	2.1	1.6	1.7	2.4	3.0	2.8	4.6	4.5	4.2	28.3	36.3	35.5	47.7
1日のテレビ(テレビゲームも含む)の視聴時間	1時間未満	H29	18.7	19.8	30.8	31.5	24.2	19.2	24.8	22.1	22.3	31.5	26.8	30.0	13.2	82.5	87.1	79.6
		H28	18.7	21.6	33.8	30.5	24.2	17.8	23.2	20.1	23.0	27.6	25.3	29.1	20.0	15.0	19.4	16.0
	1時間～ 2時間未満	H29	46.6	46.0	37.2	35.2	36.0	36.1	38.4	39.0	41.0	38.9	38.9	38.0	22.6	11.3	4.8	13.6
		H28	46.5	43.5	35.1	37.1	35.0	36.3	37.7	38.1	39.1	39.3	39.5	39.2	20.0	25.0	16.4	20.0
	2時間～ 3時間未満	H29	26.4	25.3	21.2	19.6	21.9	24.2	21.5	24.0	22.8	19.6	20.8	19.3	17.9	0.0	3.2	2.3
		H28	26.0	26.9	20.2	18.9	22.5	24.9	23.0	24.5	23.9	20.9	21.6	18.8	27.5	28.3	20.9	36.0
	3時間以上	H29	8.3	9.0	10.8	13.7	18.0	20.6	15.3	14.9	13.9	10.0	13.5	12.7	46.2	0.0	0.0	0.0
		H28	8.7	8.0	10.9	13.5	18.3	21.1	16.1	17.4	14.0	12.2	13.7	12.9	32.5	31.7	43.3	28.0
なんでも最後までやり続けたいと思うか	そう思う	H29							39.5	35.8	36.1	49.9	42.5	43.1	4.7	6.3	4.8	4.6
	まあそう思う	H29							29.9	34.2	34.3	42.4	47.6	48.0	44.3	82.5	87.1	79.6
	あまりそう思わない	H29							3.4	4.8	4.3	6.6	0.5	7.6	42.5	11.3	4.8	13.6
	全くそう思わない	H29							0.4	0.7	0.6	1.2	1.3	1.4	8.5	0.0	3.2	2.3

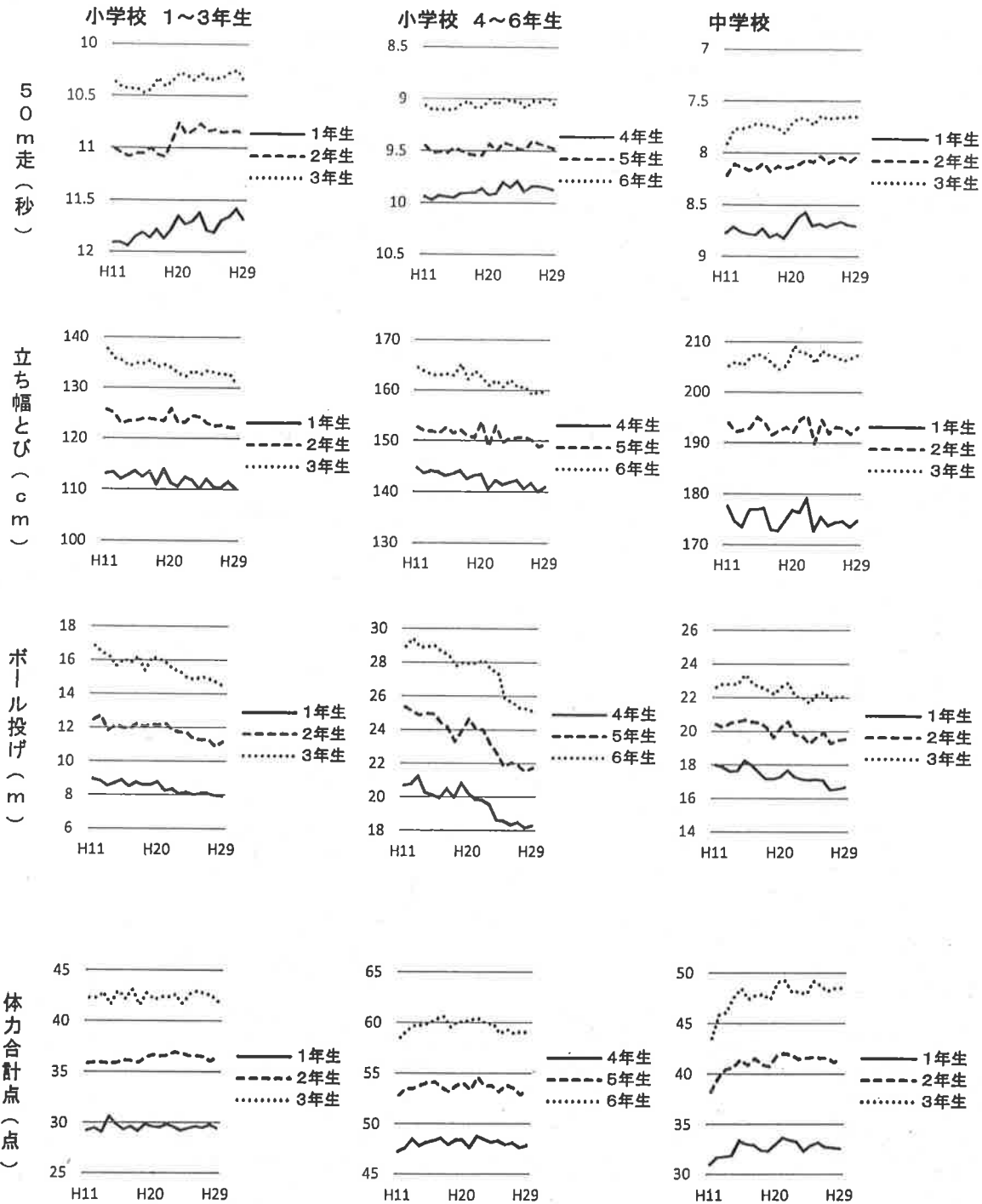
・網掛けの3項目は、平成29年度からの新規質問項目のため平成28年度の比較データはありません。なお、その3項目については、無回答があるため合計しても100%になりません。

栃木県児童生徒における新体力テスト実技各種目及び体力合計点の年次推移(1)

男子 その1



男子 その2



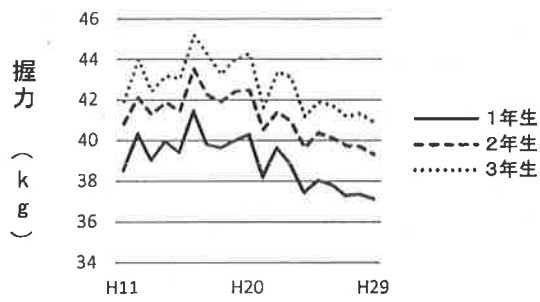
○ ボール投げは、小学生ではソフトボール、中学生ではハンドボールを用いる。

○ 体力合計点は、実技8種目を各10点満点で得点化し、その合計を求めたもので、80点満点となる。算出基準は、学校種別・男女別で異なる。

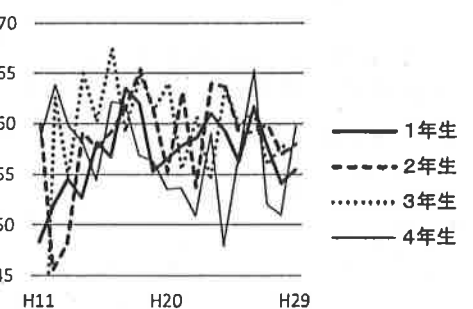
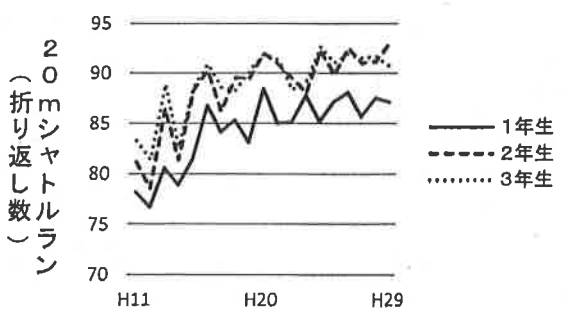
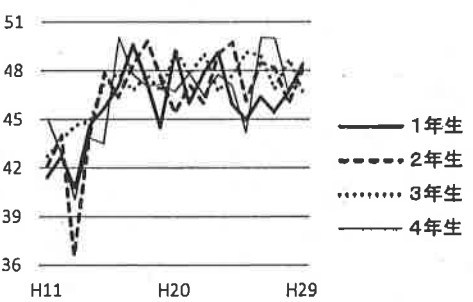
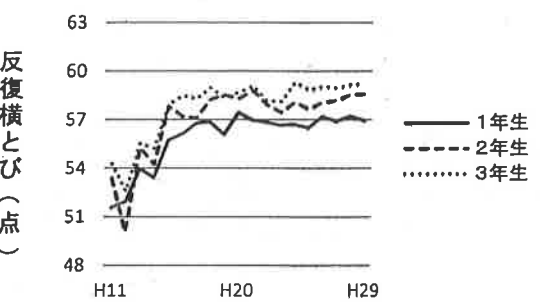
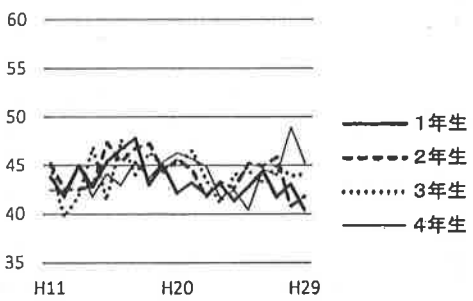
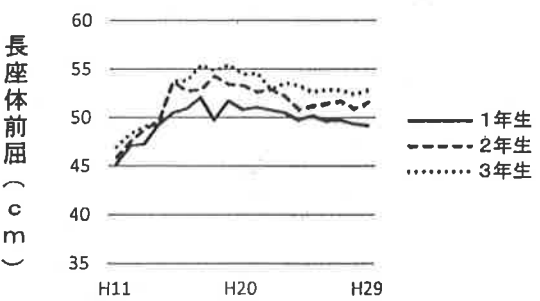
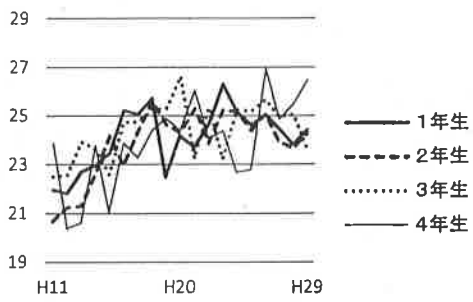
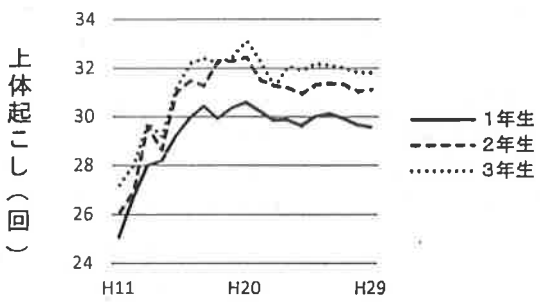
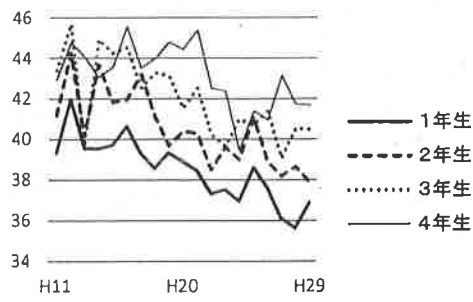
栃木県児童生徒における新体力テスト実技各種目及び体力合計点の年次推移(3)

男子 その3

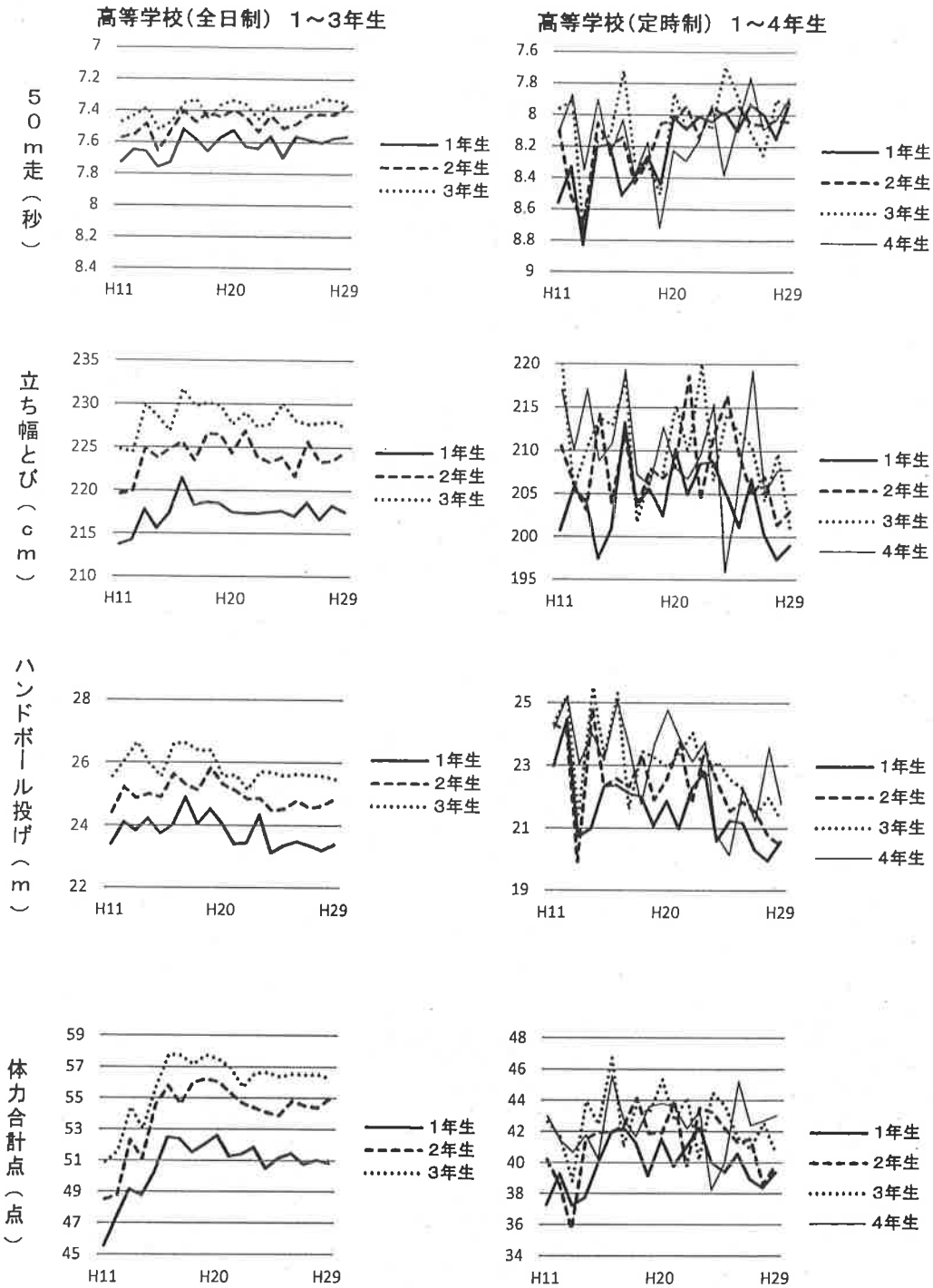
高等学校(全日制) 1~3年生



高等学校(定時制) 1~4年生



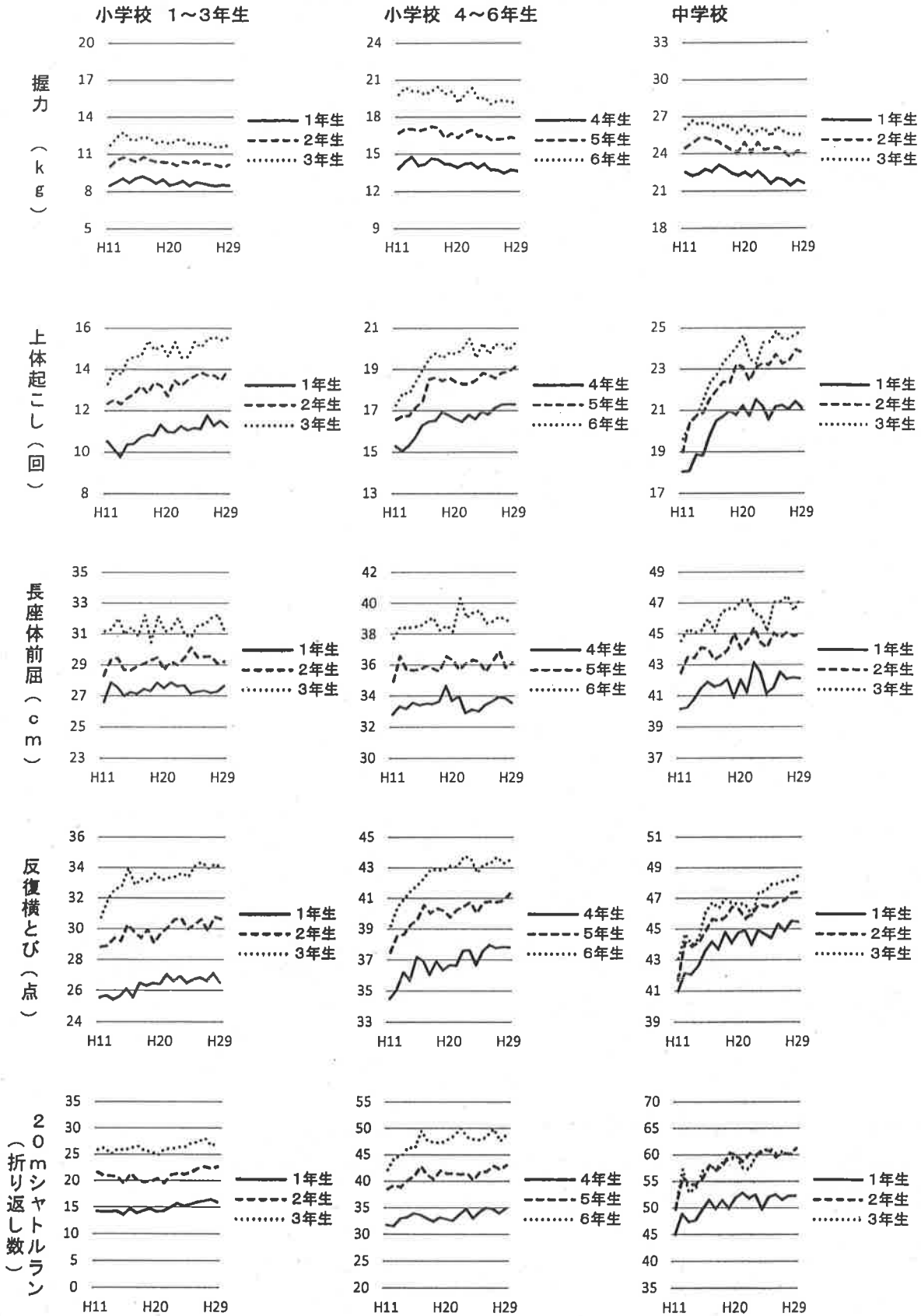
男子 その4



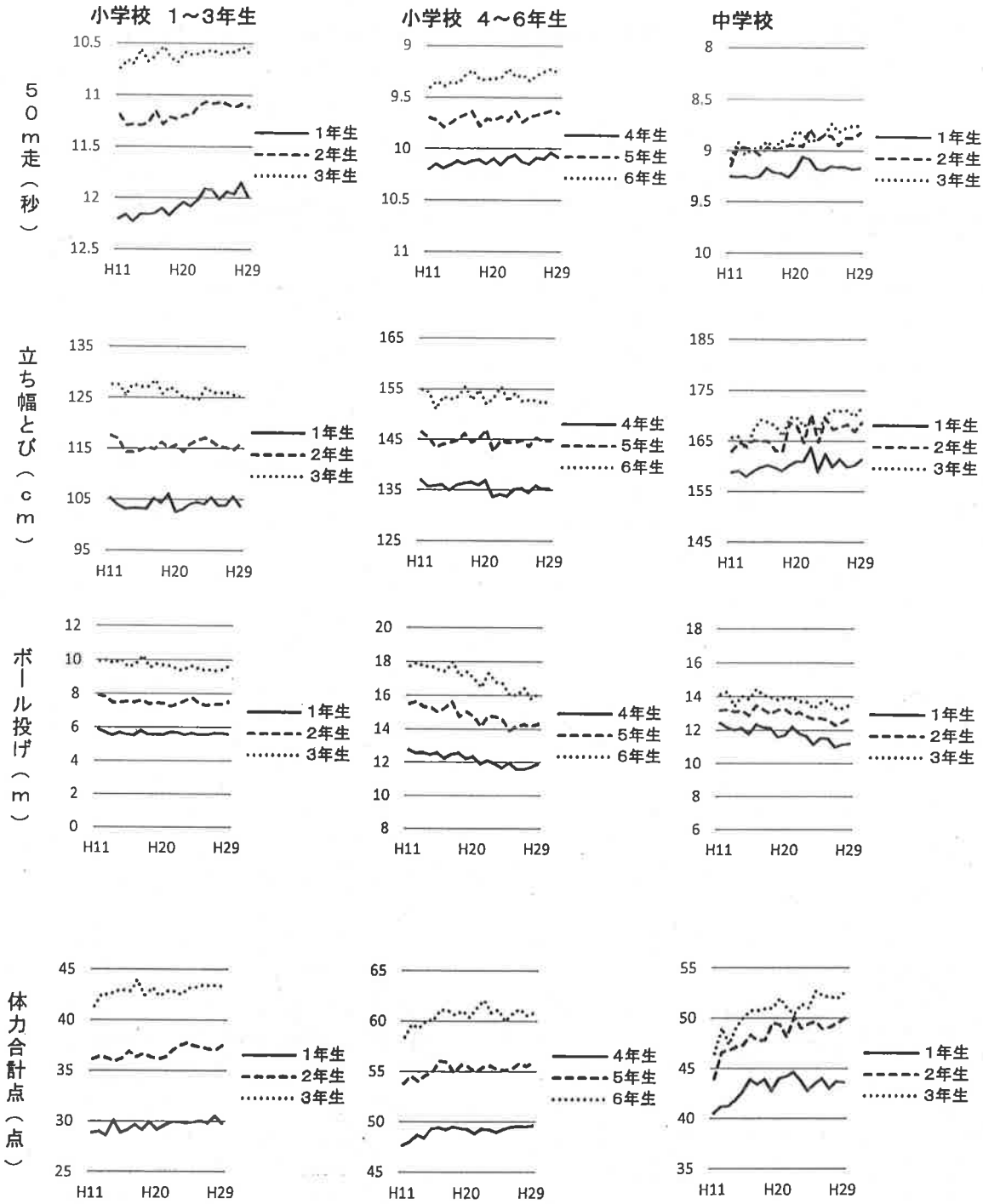
- 体力合計点は、実技8種目を各10点満点で得点化し、その合計を求めたもので、80点満点となる。算出基準は、学校種別・男女別で異なる。
- 高等学校定時制は、標本数が少ないため年度ごとのばらつきが大きい。

栃木県児童生徒における新体カテスト実技各種目及び体力合計点の年次推移(5)

女子 その1



女子 その2



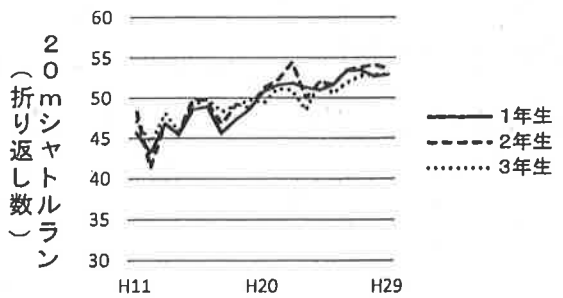
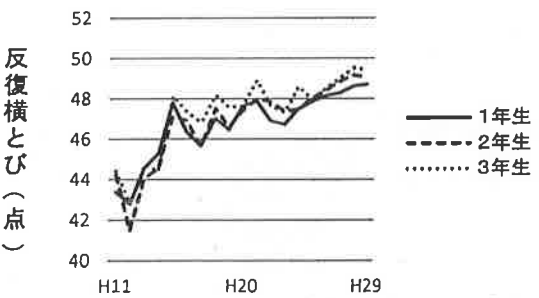
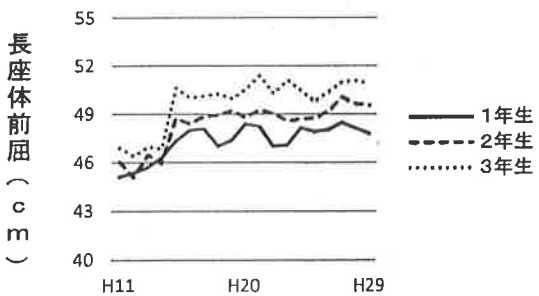
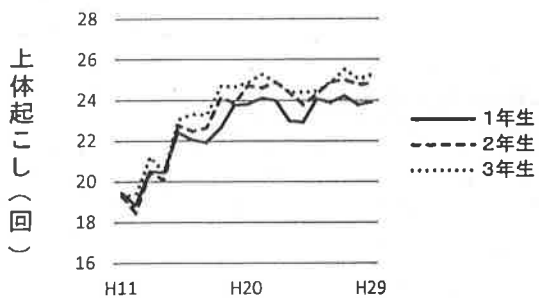
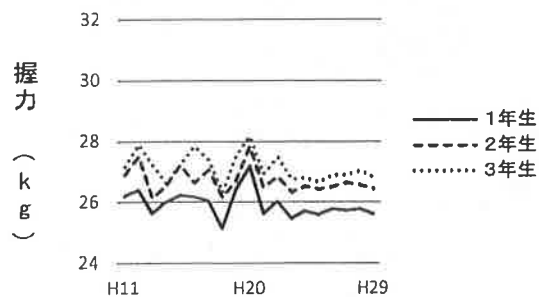
○ ボール投げは、小学生ではソフトボール、中学生ではハンドボールを用いる。

○ 体力合計点は、実技8種目を各10点満点で得点化し、その合計を求めたもので、80点満点となる。算出基準は、学校種別・男女別で異なる。

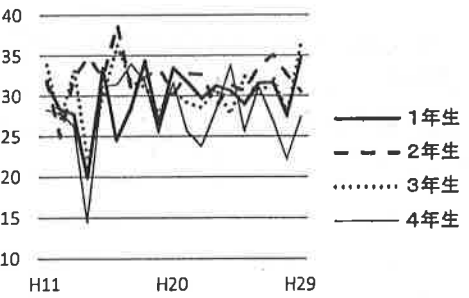
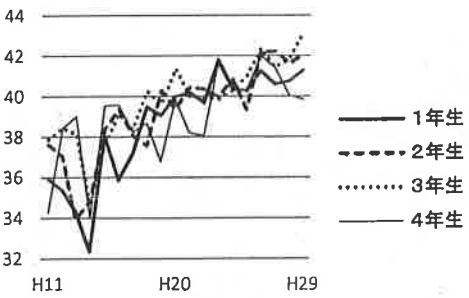
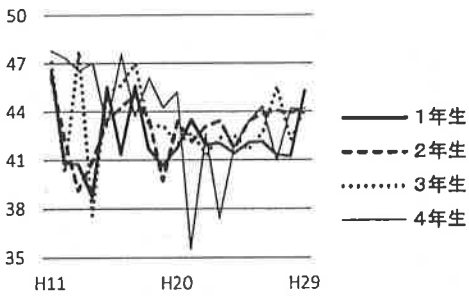
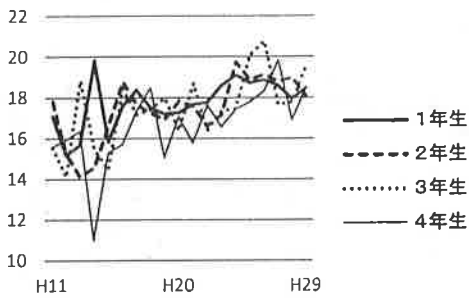
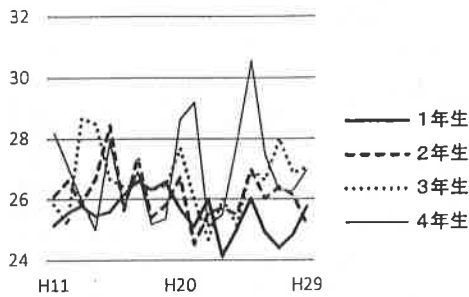
栃木県児童生徒における新体力テスト実技各種目及び体力合計点の年次推移(7)

女子 その3

高等学校(全日制) 1~3年生

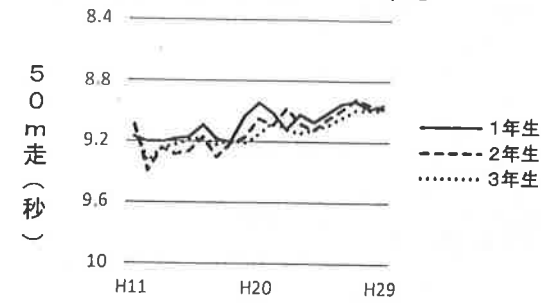


高等学校(定時制) 1~4年生

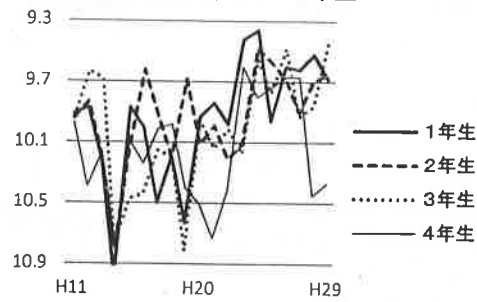


女子 その4

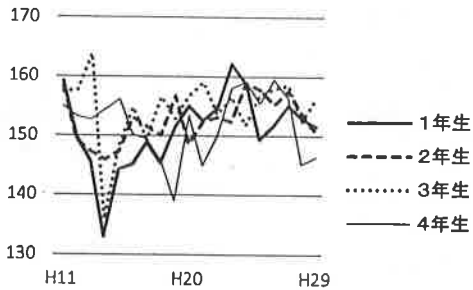
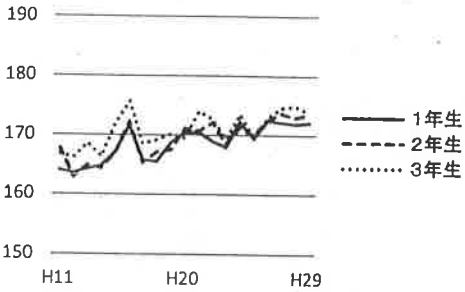
高等学校(全日制) 1~3年生



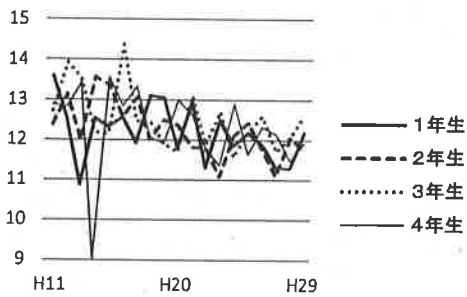
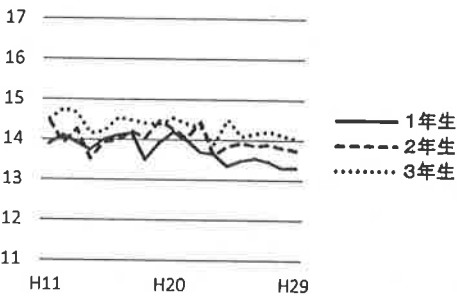
高等学校(定時制) 1~4年生



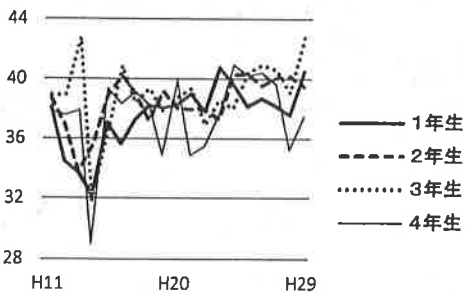
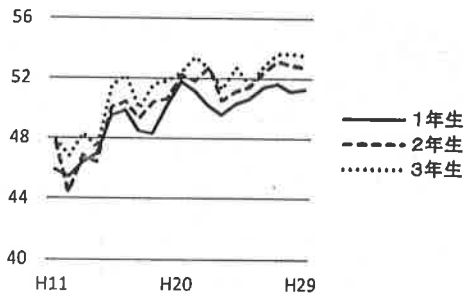
立ち幅とび(cm)



ハンドボール投げ(m)



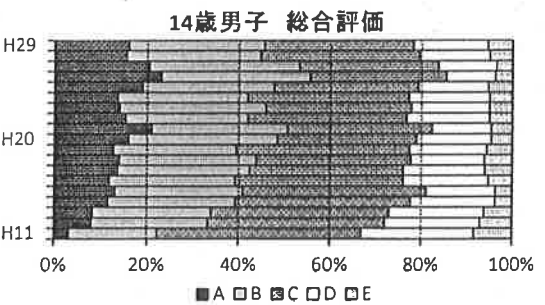
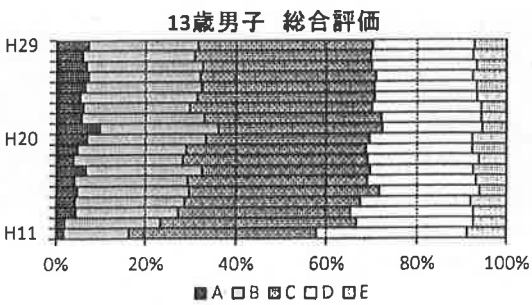
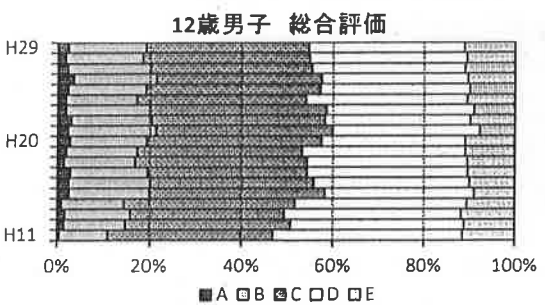
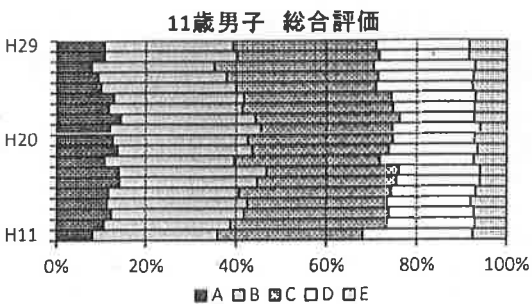
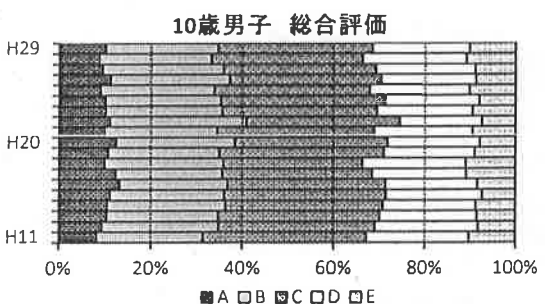
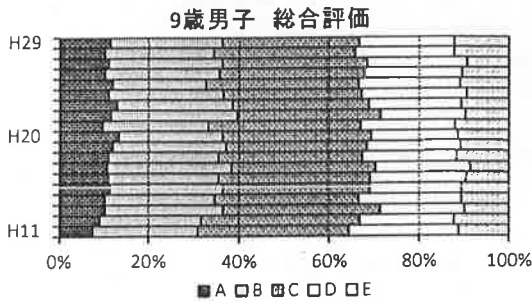
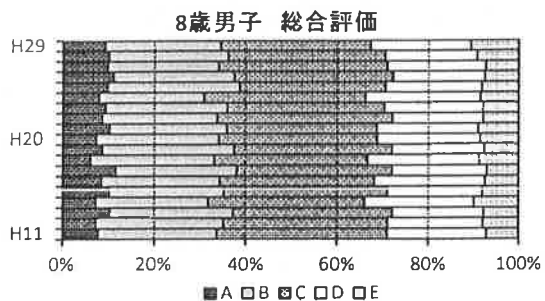
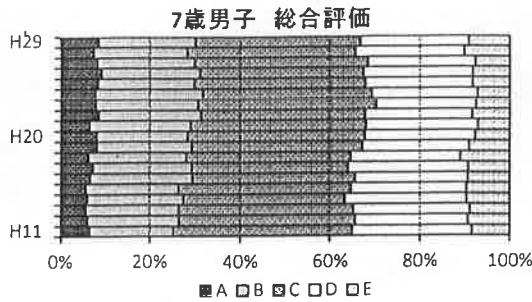
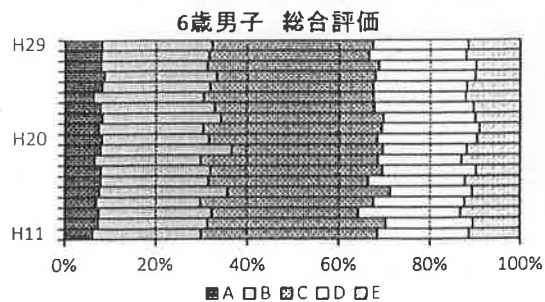
体力合計点(点)



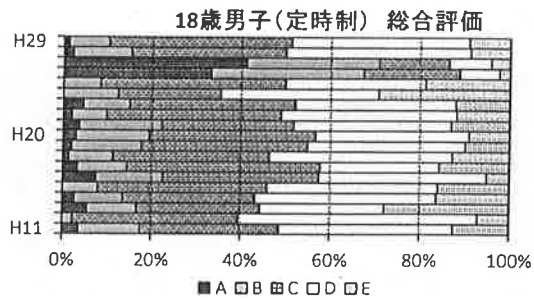
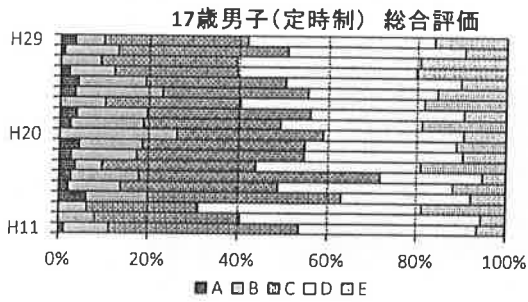
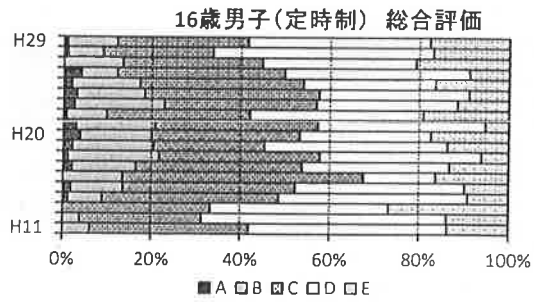
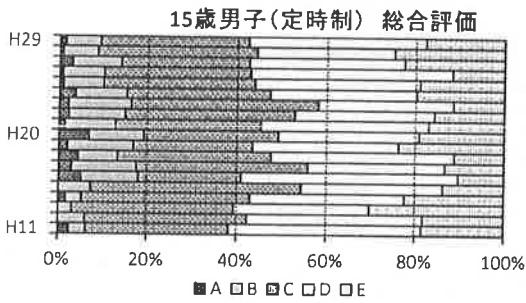
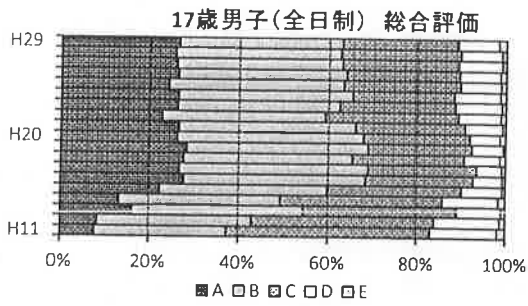
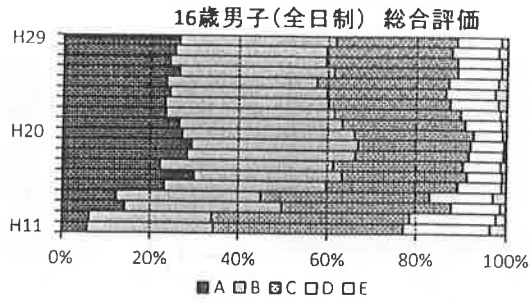
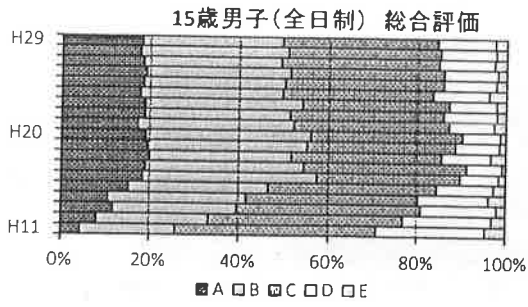
○ 体力合計点は、実技8種目を各10点満点で得点化し、その合計を求めたもので、80点満点となる。算出基準は、学校種別・男女別で異なる。

○ 高等学校定時制は、標本数が少ないため年度ごとのばらつきが大きい。

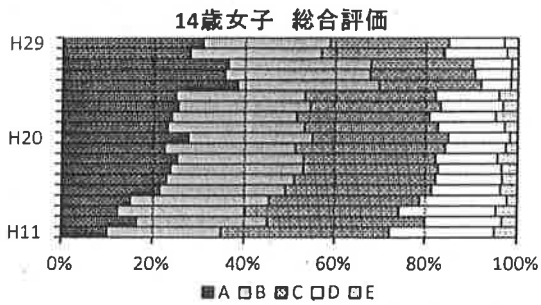
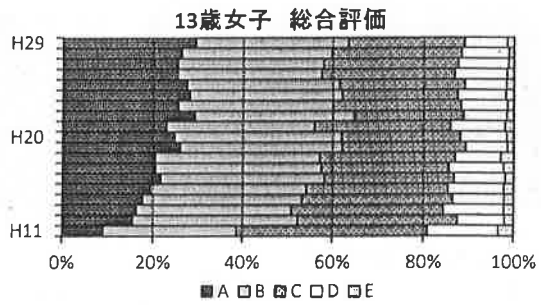
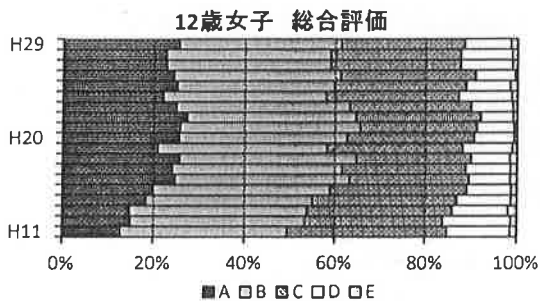
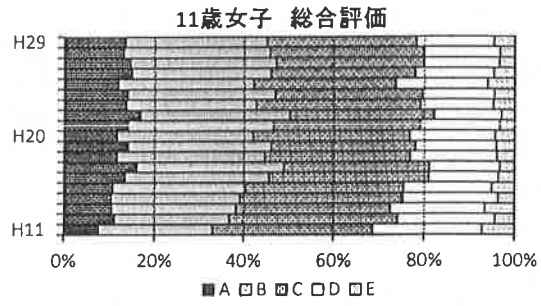
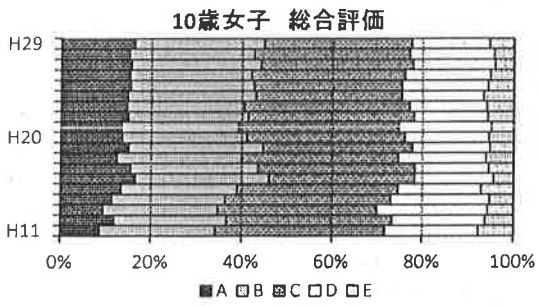
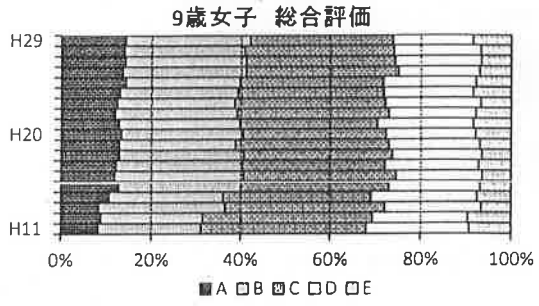
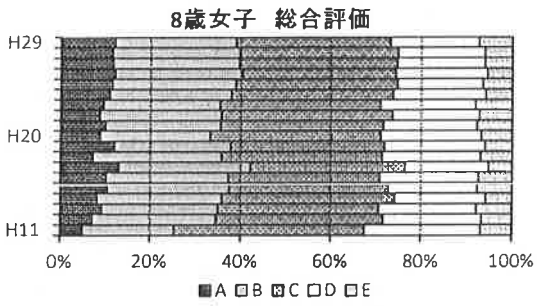
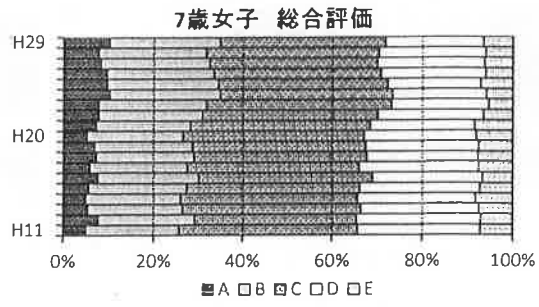
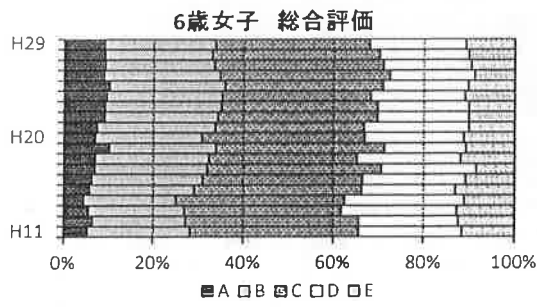
男子 その1



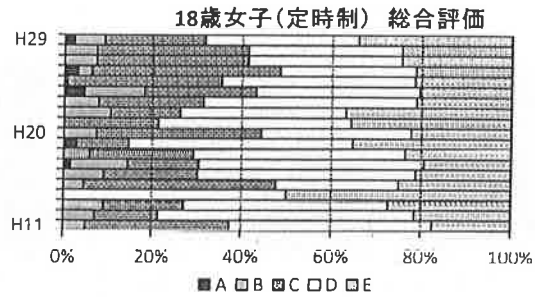
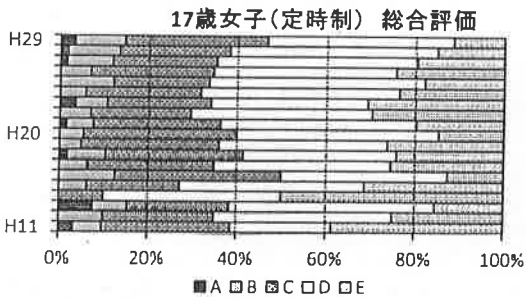
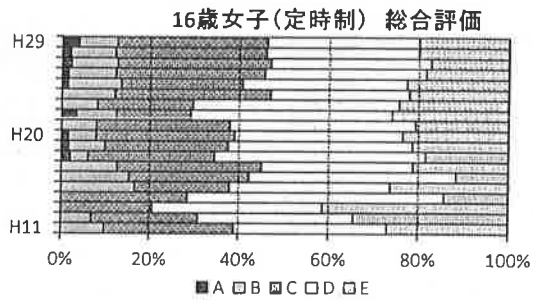
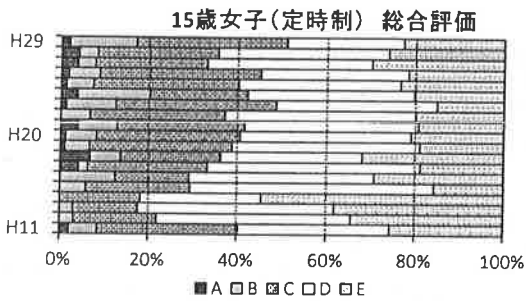
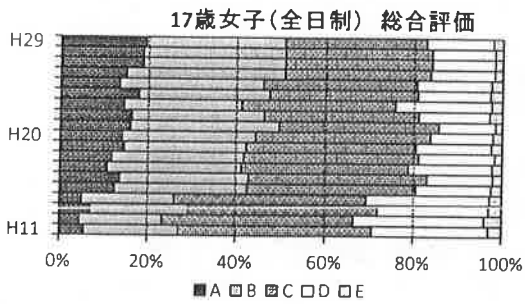
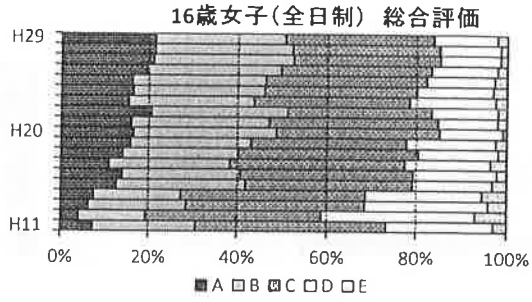
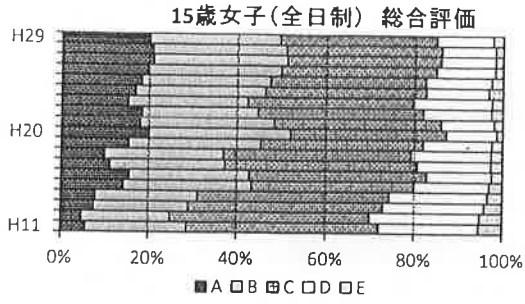
男子 その2



女子 その1



女子 その2



「体力づくり奨励賞」及び「新体力テスト優秀校」
結果資料

体力づくり奨励賞表彰実施要項（一部抜粋）

1 趣 旨

子どもの体力向上に係る取組の推進と一層の充実を図るため、運動習慣の形成並びに体力の向上について、子どもの実態に応じた特徴的な取組を実践し、成果をあげている幼稚園・保育所・認定こども園、公立小学校及び義務教育学校前期課程を表彰する。

2 対 象

県内の幼稚園・保育所・認定こども園、公立小学校及び義務教育学校前期課程

3 選出方法

(1) 幼稚園・保育所・認定こども園

- ・栃木県幼稚園連合会から推薦された幼稚園（1園程度）
- ・栃木県保育協議会・栃木県民間保育園連盟・栃木県日本保育協会から推薦された保育所（各1所程度）

(2) 公立小学校及び義務教育学校前期課程

- ・各市町教育委員会から推薦された学校（各1校程度）

4 推薦条件

(1) 幼稚園・保育所・認定こども園

継続的に実践している園独自の取組であることを前提に、以下に示す推薦条件のうち、1つでも要件を満たす特徴的な取組を実践していること。

- ①遊びを通して、楽しく体を動かすための環境の工夫
- ②多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫
- ③季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成
- ④体づくりに関する家庭との連携
- ⑤教職員の資質向上のための取組

(2) 公立小学校及び義務教育学校前期課程

以下に示す推薦条件のうち、1つでも要件を満たす特徴的な取組を実践していること。

- ①児童の体力向上に向けて体力向上サポートプログラムを使った取組
- ②新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

5 応募方法

推薦を受けた幼稚園・保育所・認定こども園は調査票（別紙様式1）を、小学校及び義務教育学校前期課程は調査票（別紙様式2）を作成し、推薦団体へ提出すること（県ホームページからダウンロード可）。なお、調査票の提出は、原則として電子メール施行による電子データの送付を各推薦団体はスポーツ振興課宛て提出すること。

6 審 査

栃木県教育委員会「子どもの体力向上推進検討委員会」において調査票の内容をもとに審査する。

7 表 彰

栃木県教育委員会が奨励賞を授与する。

表彰は「児童生徒の体力・運動能力調査」学校担当者会議で実施する。

新体力テスト優秀校表彰実施要項

栃木県教育委員会

1 趣 旨

中学校及び義務教育学校後期課程における体力向上に係る取組の推進と一層の充実を図るため、「児童生徒の体力・運動能力調査」において顕著な成果をあげている県内の公立中学校等を表彰する。

2 対 象

当該年度の7月までに実施した「児童生徒の体力・運動能力調査」結果において優れた結果を残した県内の公立中学校及び義務教育学校後期課程

3 選出基準

(1) 調査結果の評価

新体力テストの総合評価から〔(A+B)の割合〕-〔(D+E)の割合〕の値が高い学校(実施率95%以上)を選出する。

(2) 規模別の評価

学校の規模別に選出することで機会の均衡を図る。学校規模は生徒数によって区分し、それぞれの上位5%程度を「新体力テスト優秀校」として表彰する。

(3) 表彰学校数

中学校及び義務教育学校後期課程(分校含む) 159校中8校程度

学校規模	対象校数	表彰校数
生徒数120人以下	32校	2校程度
生徒数121人～240人	26校	1校程度
生徒数241人～480人	65校	3校程度
生徒数481人以上	36校	2校程度

4 審 査

栃木県教育委員会「子どもの体力向上推進検討委員会」において、平成29年4月14日付けスポ振第7号により依頼した「児童生徒の体力・運動能力調査」の結果をもとに審査する。

5 表 彰

栃木県教育委員会が優秀校を表彰する。

表彰は「児童生徒の体力・運動能力調査」学校担当者会議で実施する。

6 この要領は、平成29年4月1日より施行する。

◇ 平成29年度 体力づくり奨励賞 ◇

【幼稚園・保育所・認定こども園】 被表彰園（4園）

1	社会福祉法人 鶴西会 つるた保育園
2	宇都宮大学教育学部附属幼稚園
3	学校法人 ふたば幼稚園
4	那須町立那須高原保育園

【小学校及び義務教育学校前期課程】 被表彰校（14校）

1	芳賀町立芳賀南小学校	8	大田原市立宇田川小学校
2	小山市立大谷南小学校	9	那須塩原市立三島小学校
3	栃木市立大宮北小学校	10	那須町立東陽小学校
4	下野市立古山小学校	11	佐野市立飛駒小学校
5	下野市立国分寺東小学校	12	佐野市立植野小学校
6	矢板市立矢板小学校	13	佐野市立田沼小学校
7	さくら市立押上小学校	14	足利市立山前小学校

◇ 平成29年度 新体力テスト優秀校 ◇

【中学校及び義務教育学校後期課程】 被表彰校（10校）

1	宇都宮市立泉が丘中学校	6	日光市立足尾中学校
2	鹿沼市立西中学校	7	益子町立益子中学校
3	日光市立今市中学校	8	小山市立間々田中学校
4	日光市立中宮祠中学校	9	那須塩原市立日新中学校
5	日光市立東中学校	10	県立宇都宮東高等学校附属中学校

(3) 様々な遊具を使った活動

ア、体育教室

正しく楽しく体を使うことを目的として、月に3回程度カワイイ体育教室の講師の先生にご指導をいただいている。年間を通して、マット運動、鉄棒、跳び箱のほか、夏はプールでの浮き方、運動会の時期は組体操、寒い時期になるとサッカーや縄跳びなどもご指導いただいている

イ、雲梯遊び

園庭に雲梯が常設されているため、いつでも使うことができる。4、5歳児になるとほとんどの子ができるようになり、1つ抜かしや2つ抜かしまでできる子もいる。

ウ、ボルダリング

園庭に常設されている遊具。3歳児以上が保育士がついてやる決まりになっているが、3歳児の子もやりたがり、3歳児以上の子はほとんどの子ができる。

3 主な成果（簡易書きで簡潔にまとめる）

- ・ 幼いころから戸外に出て遊ぶ習慣ができてきているので、遊びながら体を使うことを楽しみながら行えている。
- ・ 園庭に様々な遊具があり、それを大きい年齢の子どもたちが使って遊ぶ姿を、小さな子たちも日常的に見ているので、使える年齢になると自然と興味を示し、自分から挑戦する姿が見られ、次第に体を巧みに使って遊べるようになる。
- ・ 外部の方から、当園の年長児の体のしなやかさは小学校1、2年生ほどに相当するという評価をいただいている。
- ・ 一年を通して体を使って遊んでいるので、大きくなるにつれ、体も丈夫になり、基礎体力も上がり、体を助す子が少なく、感染症等も爆発的に広がることがない。
- ・ 卒園児の保護者の方からも、病気で学校を休むことがほとんどないと言われている。

園児数	内容区分（あてはまるものすべてに○を記入）
177名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 () 季節や気候を考慮した計画的な指導計画の作成 () 体づくりに関する家庭との連携 () 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

- (1) 外遊び等を十分にする中で体を動かす楽しさを味わう
- (2) 身近な環境の中で、体を十分に動かし、明るく伸びやかに行動する
- (3) 様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団的な遊びを通して体を十分に動かすことを楽しむ

2 実施内容

(1) 年間を通しての戸外遊び

ア、幼いころから戸外で積極的に遊ぶ

0歳児クラスでも歩けるようになると、積極的に戸外に出て遊ぶようになっている。押し車やボール遊びなども取り入れていく。1歳児クラスになると大型総合遊具を四つん這いになって登るなど幼いころから体を動かした遊びを取り入れている。

イ、縄跳び、長縄跳び

年中児より個人用の縄跳びを持ちいつでも自由に使えるようにしている。飛び方の指導も時間を設けてみんなで行ったり、自由遊びの中で興味をもって取り組んでいる子に個別に行うなどしている。また長縄跳びは朝の自由遊びの中で、興味を持った子から自然に集まり始め、年長児の飛ぶ姿を見て、年中児も挑戦してみたりと異年齢が一輪になって遊んでいる。

ウ、鬼ごっこ

『鬼から逃げる』という簡単なルールがわかり始める2歳児クラスから、保育士が鬼になり、子どもが逃げるという鬼ごっこを行っている。3歳、4歳、5歳と年齢が上がるごとにルールが少しずつ難しくなり、走る、止まる、向きを変えるなど様々な動きが入ってくる。寒い季節などは保育士が意図的に鬼ごっこに誘い、体を動かして遊ぶことで、体が温まるということを感じできるようにしている。

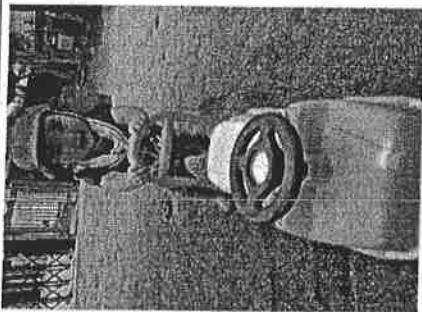
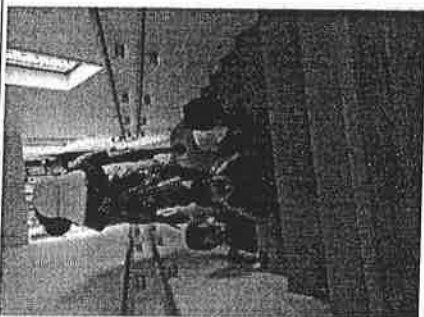
(2) 体をつくる保育

ア、マラソン

毎年11月頃より寒さに負けない体づくりのため、3歳児から5歳児が毎日、園の北側の団地内を走る。3歳児が2周、4歳児が3周、5歳児が5周と年齢によって走る周数を変えながら無理なく参加できるようにしている。

イ、リトミック

子どもの全身発達を促すため、遣う、転がる、くねらす、床をける、走る、止まる、急に向きを変えるなどの様々な動きを音楽に合わせてながら、楽しく体を動かし、足指の先から、指先まで全身の発達を促せるよう年間を通して、各年齢ごとに行っている。



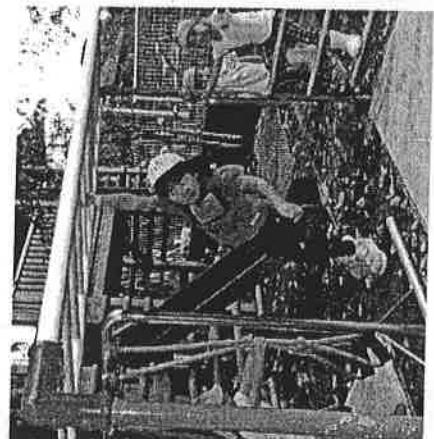
【0歳児】

(左) 階段のぼりも
ハイハイで。

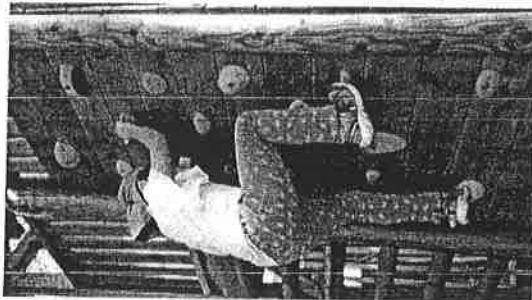
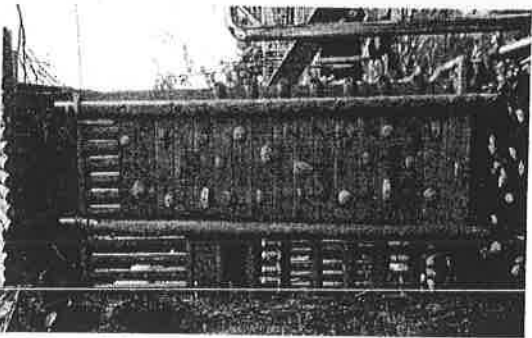
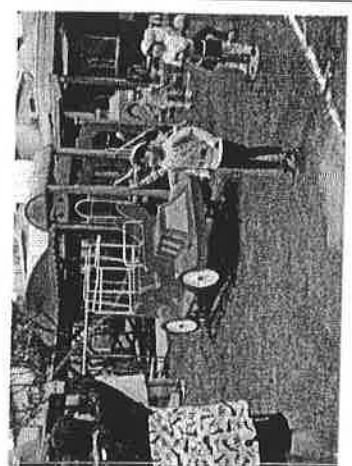
(右) 広いお庭で裸足に
なっって押し車で
遊ぶ。



【1歳児】 丸太の斜面登り

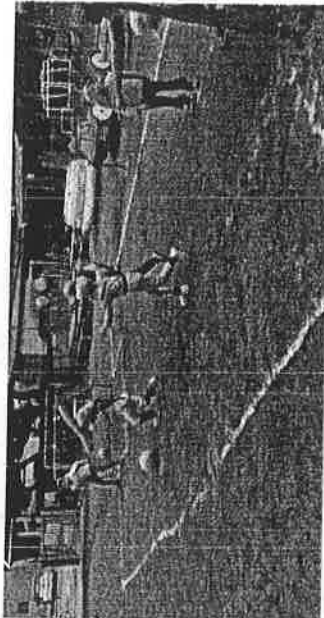


【4歳児】(左) 雲梯 2個抜かし
(右) 大縄飛び



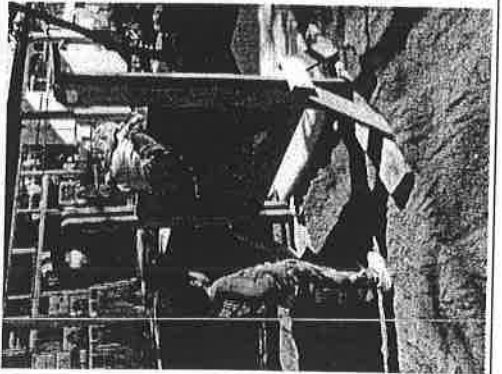
【5歳児】

虹色登り (ポルダリング)



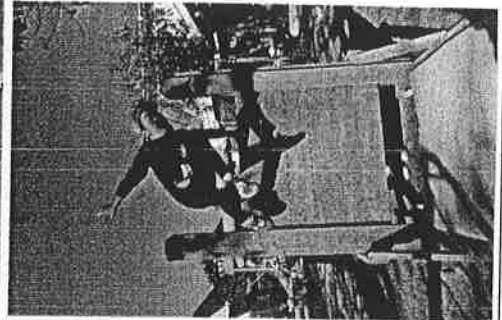
【5歳児】

サッカー遊び



【5歳児】

垂直板登り



宇都宮大学教育学部附属幼稚園

園児数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
157名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 (○) 季節や気候を考慮した計画的な指導計画の作成 (○) 体づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員の資質向上のための取組

1 わらい

- (1) 保育の中で自ら身体を動かしたり、友達や先生と一緒にになって思わず身体を動かしてしまったりできるように日々の保育環境を工夫する。
- (2) 年齢や時期に応じ、また季節や天候等に配慮し多様な身体動きを経験できるように教材研究に励み、指導計画の改善・工夫を行う。
- (3) 様々な研究会・研修会に教職員を派遣するだけでなく、事例をとり、園内研修を行うことで、教員の資質向上に努める。

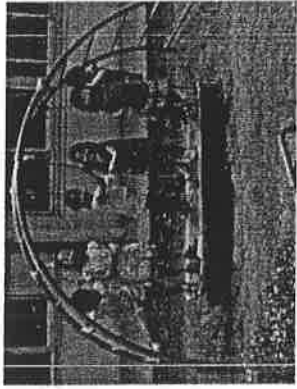
2 実施内容

- (1) 保育環境の工夫
 - ア 園庭以外に学年毎の庭を有し、固定遊具や木登りができる程度の樹木を配している。木の種類が違いため木登りに難易度があり、挑戦意欲をかき立てている。
 - イ 年中長組の庭は穴が掘れる環境となっていて、年齢に応じて大きさの違うスコップも用意されている。年長の庭は水路を作ったり、穴を掘って水を貯めたりもできるようになっていて、また固定遊具を自分たちの場と見立て、竹の幹を渡したりロープをつつたり教師と一緒に自分たちの場作りをしながら身体を動かしている。
 - ウ 子供達の発達段階に応じ固定遊具に様々な身体動きが可能な手作り遊具(例えば木の板を橋のように渡したり、自転車のタイヤやチューブをクモの巣状に組んだり等)を加え幼児が自分から身体を動かしたくなるような環境を構成している。
- (2) 教材研究・指導計画の改善工夫
 - ア 各担任年1回以上研究保育が割り当てられている。個人のテーマによって違いますが、「身体を動かす環境構成の工夫」のテーマが与えられると研究保育に向けて新しい保育環境提案のために教材研究を行い、保育として提案している。
 - イ 新しい保育教材や幼児の様子を鑑み指導計画へ取り入れられるか吟味している。
 - (3) 教員の資質向上
 - 週1回の研究日には幼児の記録を持ち寄り、幼児の見取り、保育環境、援助の方法、などについて話し合い、保育について質の向上を図っている。園内研修では日を改めて身体を動かすための環境や教材について話し合うことも含まれる。

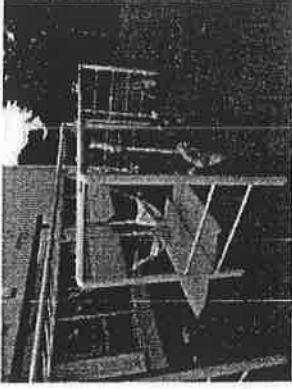
3 主な成果 (箇条書きで簡潔にまとめる)

- (1) 友達に影響を受け、木登りなど身体全体使って遊ぶ幼児が多くなる。それに伴い歓聲など挑戦意欲が増し、自分たち自ら取り組んだり、クラスとしてケイドロなどのルールのある鬼ごっこなどに取り組んだりいろいろな遊びへの取り組みが更に活発に行われるようになった。
- (2) 竹やロープ、ゴムチューブ、など教材研究により作った遊具を使うことで様々な身体動きが養われた。また、保育の幅も広がった。
- (3) 幼児一人一人の発達を見る目がより養われ、「その時期に応じた遊具とは」を教員一人一人が考え、保育に望んだり教材研究を行ったりするようになった。


4 資料 (画像または資料等を添付する。レイアウトは自由とする。)




← 「魔法のじゅうたん」



↑ 「うんていの工夫あれこれ」



← 「自分たちの基地作り」



↑ 「丸太の一本橋に揺られて」

学校法人 ふたば幼稚園

園児数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
201名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 (○) 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 (○) 体づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員の見習い向上のための取組

1 ねらい

子どもの体力低下が問題視されていますが、当園では創立当初から手作り遊具を開発し、子どもが楽しく遊ぶ中で体力増進を計っています。体を動かすことが大好きな子どもにもなって欲しいとの私達の願いは、毎年新しい遊具を作る意欲になり、既に100近くの遊具を考案しました。又、子ども様子を見ながら園庭の遊具を入れ替える事で、子どものやってみてみたい意欲を高めています。

2 実施内容

ア【手作り遊具の開発】子どもの遊ぶ姿からヒントを得、保育者が作ります。製作する上での基本的な考えは、子ども達がやりたい時に自分達でセッティング出来る仕上がりである事。いつの間にか出来上がっているのではなく、作る過程を子ども達に見せる事としました。

一人一人の発達に即し、自分なりのペースで遊べ、こんな遊び方をしたいとの意欲が持てる遊具作りを工夫しました。

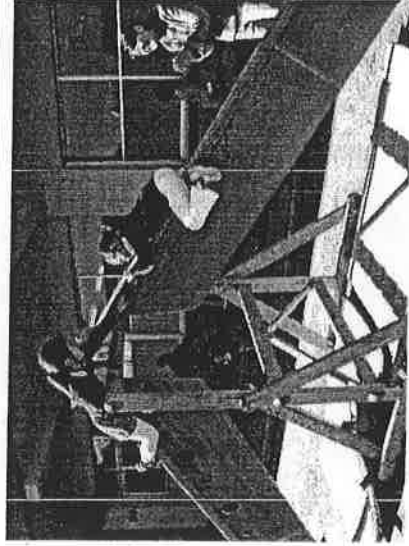
保育者が遊具を作る事によって、その間におけるコミュニケーションは、お互いの連携を深め、新たな取り組みへの開拓意欲に繋がりました。

イ【遊具のローテーション】子ども達の様子を見ながら、園庭の遊具を入れ替えます。遊具は重い物でも移動が出来、場所を遠く置いただけでも目先が変わり、子どもの意欲が湧いてきます。又、発達段階に応じて、特に、この時期だからと入れ替える遊具もあり、子どもの成長に弾みがつきます。

ウ【保育者の援助】子ども達が十分に体を動かして遊べるように、たっぷりとした時間配分に心がけ外遊びの楽しさが溢れ上がるような雰囲気づくりと工夫を保育者自ら率先して行いました。

3 主な成果

- ・平成21年度から3年間、文部科学省の委託を受けて幼児の体力向上研究指定園となった。文部科学省において研究成果を発表。栃木県内3ヶ所において研究発表。
- ・全国体力測定では、全体的に数値が高かったが特に支持力においては、特出したものがみられた。外遊びの時間が極めて長いことも注目された。
- ・読売新聞に手作り遊具への取り組みが掲載された。「1本歯の下駄」に焦点が当てられた記事に県外などからの問い合わせや反応があった。
- ・保育専門誌、下野教育等に教ページに遊んで、手作り遊具で体力を育む子ども達の姿が掲載された。



「手すり滑り」

保育者が小さい頃、階段の手すりを滑って遊んだことがヒントとなり、出来上がった。体の調整力・腕の力が育まれる。滑る時の爽快な感じが好きな子ども達。

教育の場として、登って来た友だちに手を差し伸べる姿。それを見守る保育者に注目したい。

「仲良し竹馬」

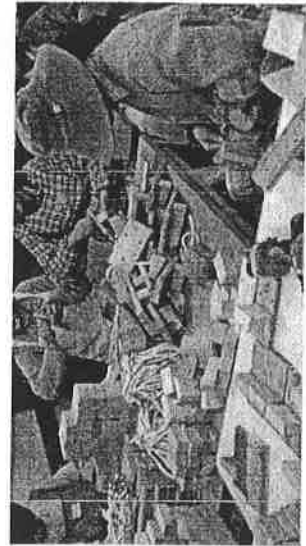
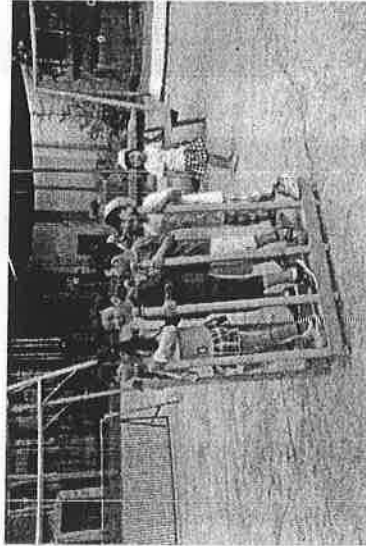
一人で乗る竹馬ではなく、友だちと気持ちに合わせて乗る竹馬。掛け声を掛け、バック歩きや横歩きなどを遊び方を工夫して楽しむ様子。

「1本歯の下駄」と「木のポックリ」遊びながらバランス力が培われる。



「手作り遊具製作の様子」

一本歯の下駄を保育者たちが作っている。新しい遊具のアイデアも、こんな時に出て来る。保育放棄にも花が咲く。



那須町立那須高原保育園

園児数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
77名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを体験するための園庭や遊具の配置等の工夫 (○) 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 (○) 体づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員員の資質向上のための取組

- 1 ねらい
- (1) 本保育園は林に囲まれた自然豊かな環境の中にある。裏山の斜面を使っの遊びや園庭での遊びを楽しみながら保育園での生活を送っている。しかし、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故を契機に戸外での遊びが制限され、子どもの運動量が減ってきている。それに加え、社会及び家庭生活の変化で、子どもが体を思いっきり動かす機会も減ってきている。体力低下の心配もあることから「積極的にからだを動かす子ども」を育成したいと考え、体づくりに取り組んでいる。
- (2) 本保育園を利用している子ども達の保護者はほとんどが観光業に携わっていて、保護者が子どもに接する時間が短い傾向にある。また、保護者からは「子どもと何を遊んだらよいか分からない」という声も聞かえることが多くなってきた。そこで、コミュニケーションやスキンシップの必要を入れた親子運動遊びをすることにより、元気な親子を育みたいと考え、体づくりに取り組んでいる。

2 主な実施内容

- (1) 遊びを通して楽しく体を動かすための工夫
- ア 戸外では遊具を使いサーキットをしたり、保育室では新聞や長なわなどの身近な素材を使いからだを動かしたりして楽しく遊んでいる。
 - イ 裏山の斜面や保育園の周りの林を登ったり下りたり、季節ごとに散策をしたりしている。
- (2) 体づくりに関する家庭との連携
- ア 0・1・2・歳児親子ピート遊び・・・保護者の保育参加の折、音楽に合わせてからだを動かすピート遊びを行っている。
 - イ 3・4・5歳児の親子運動遊び・・・保護者の保育参加の折、親子で楽しむ運動遊びを行っている。

(3) 教職員員の資質向上のための取組

- ア 研修の実施・・・保育士を対象に子どもの運動に関する課題やその解決法などについて研修を行っている。また、研修したことを実践するよう、朝の打ち合わせで共通理解を図りながら全園体制で取り組んでいる。

3 主な成果 (簡易書きで簡潔にまとめる)

- (1) からだを動かすことに積極的に取り組み、もっとやりたい、もっと高く登りたい、などの挑戦意欲が高まってきた。
- (2) 保護者が身近にあるもので運動遊びができることを知り、家庭でも楽しんでという声が増えるようになった。また、子どもと触れ合うことの大切さを認識するようになった。
- (3) 保育園全体で取り組むことにより、保育士同士の協力体制が取れるようになってきた。

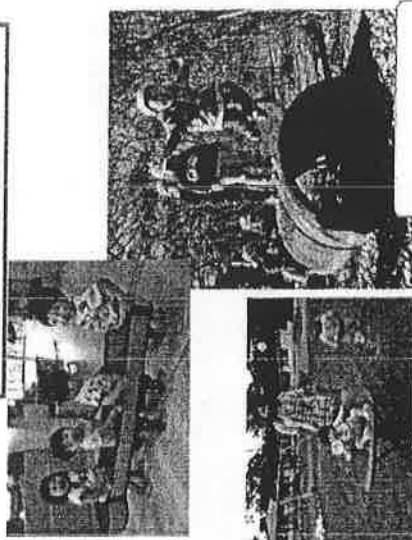
元気な子どもたち

園の保育目標

- 生きる力の基礎を育む—
- 体を育む
 - ～しなやかなからだと手～
 - つながる力を育む
 - ～友だちや先生も大好き～
 - 学ぶ力を育む
 - ～チャレンジする好奇心～
 - 生活力を育む
 - ～自分のことは自分で の自信～ (自己肯定力)



おしゃべり。



やっほー！



ひーばるぶー！



親子ピート体操(0・1・2歳児)



だっこして!



お母さんの腕が一番大事!



お膝の上だと安心!



お母さん指 トントントン



「のほしてのほして!」



あたまがつくにね。



「おしよ!」



「魔法のじゅうたん!」



とじこえるよ!

親子で運動遊び(3・4・5歳児)



どうやるくん!



体を伸ばして



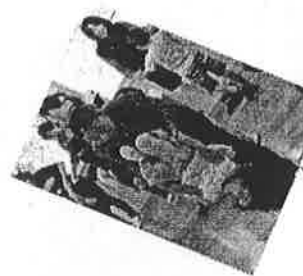
ボール ボール 下 下 上 上



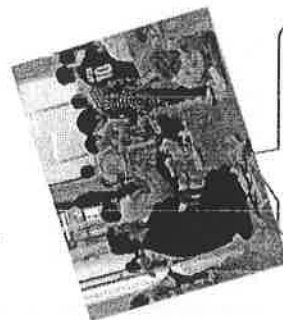
「背中あわせ!」



ママから落ちないように



「すごーい」



新聞千切アツアツ!!

職員研修 「運動遊び」 H28.10



目と耳と心を働けて！

保育指針にも書かれていま
す！合わせて保育もとても大
事です。



クモの巣が完成！



私は肥料袋をチョイ足し



くらやみハンネルを作ります

職員研修 「乳幼児向けヒート体操」 H29.6



乳児期からが大切！



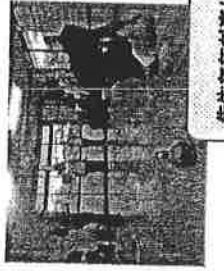
背中を意識して伸ばす！



すみずみまで伸ばす！



先生たちも運動ろう！



先生たちが楽しんで体を動かすことが大事！

芳賀町立芳賀南小学校

児童数	学級数	区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
236	11	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

児童の技能や体力の実態を把握するとともに、教科体育・体育的行事をはじめ、教育活動全体を通じて、計画的・継続的な体育活動の実践をし、健康増進と体力の向上を目指す。

2 実施内容

- (1) 教科体育の充実

各学年で、単元によって合同体育を行うなどの工夫をしながら、体力向上への取組を行っている。高学年では、年間指導計画に位置付き、かつ陸上記録会の種目となる運動を実施する際、教科のねらいの達成を目指すとともに、記録会に向けての練習時間及び運動量を確保するように工夫している。
- (2) 業間の時間を行う「5分間走」

ア 体力づくり全体計画をもとに、年間を通じて計画的・継続的な業間運動「5分間走」(週2日)を実践している。

イ 走った周を記録していく「体力づくりカード」を作成し、児童への意欲喚起を行っている。また、持久走大会への意欲向上・意識付けにも繋がっている。

ウ 運動委員会の児童が低学年や中学年の児童と一緒に走ることで、児童同士で意欲を高め合うよう工夫している。
- (3) 「先生に挑戦コーナー」の設置

新体力テストの結果をもとに、柔軟運動や握力を高める体力づくりコーナーを設置した。月ごとに内容を替えたり、低学年・中学年・高学年ごとに運動強度を変えらることで児童たちが楽しく取り組めるよう工夫した。
- (4) 準備運動の工夫

新体力テストの結果をもとに、準備運動の最後に柔軟運動を取り入れることで、継続して柔軟運動を行えるよう工夫している。
- (5) 学級共遊・雨天時の体育館開放

月に一度学級全員で遊ぶ時間を設定し、児童同士の交流を図りながら外遊びの機会を確保している。また、雨天時には体育館を開放し、運動する機会を確保している。
- (6) 芳賀町全体の体力向上の取組

ア 芳賀町の8校園(中学校1、小学校3、幼稚園1、認定こども園1、保育園2)の体力向上推進委員が、体力向上の取組について共通理解を行い、各校園で実践した取組について、成果と課題を報告し合うなど、情報交換をしている。

イ 栃木SSCによる巡回指導
栃木SSCによるキッズスマイルキャラバン(予定)により、専門的な指導をいただく。

3 主な成果(簡易書きで簡潔にまとめ)

- (1) 「先生に挑戦コーナー」により、児童が楽しみながら様々な運動に取り組むことができ、体を動かす機会を増やすことに繋がった。
- (2) 業間を行う「5分間走」では、定期的に走る機会を確保することができている。
- (3) 「体力づくりカード」によって、「5分間走」で積極的に走る児童が増えた。また、昼休みにも校庭を走る児童が増えた。
- (4) 業間を行う「5分間走」では、運動委員会の児童が低学年・中学年の児童と一緒に走ることによって、楽しみながら一生懸命走る児童が増えた。
- (5) 準備体操に柔軟運動を取り入れることにより、継続して柔軟性を高めることができている。
- (6) 学級共遊では、外遊びの機会を確保することだけでなく、何をして遊ぶか、学級で話合う機会にもなっている。
- (7) 芳賀町全体で共通理解を図ることで、情報を共有しながら指導することができている。

4 資料

小山市立大谷南小学校

児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
112	6	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

- (1) 新体力テストの結果を分析し、本校児童の体力の実態を把握する。
- (2) 把握した実態から、体力向上に向けた手立てを考え、実践の工夫を図る。

2 実施内容

- (1) 新体力テストの分析と児童の実態把握
 - ア 平成28年度新体力テスト結果の分析と児童の実態
 - ◎ 「握力」、「50m走」は、男女ともほとんどの学年で全国・県平均を上回っており、握力、走力は、優れている。
 - ▲ 「ソフトボール投げ」は、男女とも複数年で全国・県平均を下回っており、投力に課題が見られる。

・ 「20mシャトルラン」は、全国・県平均を上回っている学年と下回っている学年があり、全身持久力には、学年や男女によって差が見られる。

(2) 児童の体力向上を目指した業間体育の実践

本校では、「児童の体力の向上」、「体を動かす楽しさを味わわせる」、「集団行動の定着」等を目的として、年間20回、業間の15分間に業間体育（ゴーゴータイム）を実施している。その活動を以下に紹介する。

ア おやまっ子体操の実施 【資料1】

本校で以前に考案された大南体操に改良を加えたもので、現在は小山市内の小学校全校で実施されている。膝の屈伸や柔軟、片足バランス、投球動作、ブリッジ、肩倒立、ジャンプなど、全身の柔軟性や筋力、バランス感覚を高める運動が盛り込まれている。運動会の種目にもなっているため、業間体育だけでなく、運動会練習でも実施している。

イ 体づくり運動（キャッチボール） 【資料2】

新体力テストで低かった投力を高めることを目的として、投球動作の練習やヘアでのキャッチボールを実施している。

ウ 体力を高める運動（遊具を使った運動） 【資料3】

鉄棒、登り棒、雲梯等を学年ごとに回っていく、サーキット運動を実施している。教科体育でも、授業開始時に実施している。

エ 持久走 【資料4】

持久走記録会が実施される1カ月半前から、全身持久力を高めるために10分間走を実施している。児童は業間体育や教科体育以外でも積極的に取り組んでいる。個人のがんばりカードに加え、縦割り班ごとのがんばりカードを昇降口に掲示し、仲間と励まし合いながら取り組めるよう、頑張りを見える化して児童の意欲を高めている。（20周ごとにシールを1枚貼る。）

オ 縄跳び（短縄跳び・長縄跳び）

2月の終わりに実施される長縄跳び記録会に向け、学年ごとに長縄跳びを実施している。体力の向上とともに、学級づくりにも役立っている。また、この時期、校庭に手作りの縄跳び用ジャンプ台が設置されるが、順番待ちの児童の長い列ができる。

(3) 運動の日常化を図るための取組

「みんな遊び」（学級全員で一緒に外遊びをする）や「なかよし共遊」（なかよし班【縦割り班】と一緒に外遊びをする）日を定期的に設定し、運動の日常化と体力の向上を図っている。

3 主な成果

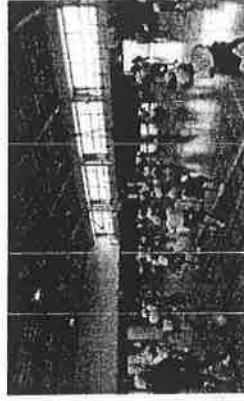
- ・ ソフトボール投げは、昨年度、複数年で全国・県平均を下回っていたが、今年度は複数の学年で改善が見られ、投力の底上げが図られた。
- ・ 鉄棒、登り棒、雲梯、ジャングルジム等、年間を通して、よく遊んでいる。特に、業間体育での実施後は、使用率が高い。（握力の向上にも効果有り）
- ・ 持久走記録会や長縄記録会等では、児童が意欲的に取り組める「がんばりカード」を活用したことで、児童は、目標を持って励まし合いながら楽しく取り組むことができた。
- ・ すずんで運動に取り組む児童が増え、陸上大会、相撲大会等に多くの児童が参加している。

4 資料

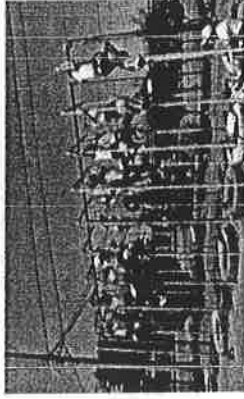
【資料1】 おやまっ子体操でのブリッジ



【資料2】 体づくり運動（キャッチボール）



【資料3】 遊具を使った運動（登り棒）



【資料4】 持久走がんばりカード



3 主な成果

児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
739人	27学級	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

『体育科授業において、児童の投力向上を図る。』

新体力テストの結果では様々な課題が残るが、その中でも特に投力で中学年の結果が女子は全国平均を下回り、男子は全国と県の平均を下回ってしまった。本校の休み時間の外遊びの様子を見ると、ボールを投げている児童が極めて少ない。そこで体育科授業において、どの児童にもボールを投げる動きを保障させ、投力の向上をねらいとした授業を、教職員が協力して組織的・継続的に取り組んでいける手立てを考え実践した。

2 実施内容

- (1) 投動作を身に付けると共に、投力を向上させるための教材開発を行った。(4 資料 参照)
【教材作りで配慮した点】

- ・児童たちが、楽しみながら投動作を習得し、投力を向上していける教材づくりを行った。
意欲的に取り組めれば活動量が増えることから、単に投げる活動ではなくゲーム化をして、児童たちが楽しく取り組める内容を考えた。授業後、4年生に廊下ですれ違った際に、「今日のボール投げゲームどうだった?」と尋ねると、どの児童も「楽しかった!」中には、「いっぱい投げた、疲れた。」という意見を聞き取ることができた。6年生では、30秒間で10回以上は、どの児童も投げるようになってきた。短時間で、たくさん投げるのできる教材であった。

- ・学習の準備も含めて、あまり時間をかけなくても簡単に取り組める教材を考えたい。

教職員の負担が大きくなってしまおうと、なかなか継続しにくくなってしまおう。それなので、用具の準備はあらかじめ体育主任と体育部の教職員で事前に準備をしておき、簡単に用具を出せて、なるべく教職員の手間を省けるように準備をした。さらに、ゲームにつながる動き作りとして取り組めるように、教材自体も、なるべくシンプルで簡単な活動を設定した。

- ・どの教職員でも容易に授業に取り入れられる教材を考えたい。

教職員の中には、体育が苦手だという方もいる。そういった方でも、なるべく負担にならないような教材、簡単な教材を提供することが重要だと考えた。活動時間も10分以内でできるように配慮をした。

- (2) 体育科授業で継続していけるように、単元計画及び授業構成を各学年の教職員と考えた。

・児童の体力向上を図るためには、組織的な取組がされなければならないという観点から、教務主任や学年主任を中心に、各学年に積極的に体育主任から働きかけをし、教職員の感想や意見を聞きながら、共に教材を改良していった。

- (3) 3年生以上の全学級体育科授業にて実施した。授業前と後で抽出学級において、ソフトボール投げのテストを実施した。

- (1) 体育科授業において実施することで、投げる経験をどの児童にも保障することができた。さらに、児童が楽しみながら投動作を習得することができ、学年全体的に投力が向上した。平成28年度の新体力テストの結果と比べても、平成29年度ではどの学年も投力が高まった。

- (2) 突発的に投力を伸ばすための活動を取り入れるのではなく、年間指導計画に沿って、単元に関連付けた取組として児童の力を伸ばしていける運動を組み込んでいくことで、無理なく授業を展開することができ、継続して取り組めた。さらに、準備も含めて、あまり時間をかけずに簡単に取り組める教材という点でも、継続した指導につながった。

- (3) 職員室で体育科授業や、児童の発言についての話題が増え、教職員の体育科への意識が高まった。さらに、教職員の体育科の知識が増え、指導力が向上すると共に、児童の運動学習従事量が増えた。

- (4) 体育主任から教材などの情報提供を行うだけでなく、教職員と連携を図り、話し合いながら一緒に考えていくことで、より良く教材を作り替えていこうとする意欲が高まり、教職員も楽しみながら取り組むことができた。

- (4) 休み時間の体育館開放日に、ドッジボールだけでなく投げるゲームの選択肢が増えた。

- (6) この取組をきっかけに教職員が、教材研究の必要性を今まで以上に認識するようになった。

4 資料 (学校ホームページに掲載している内容の一部)

児童の体力向上のため「古山オリンピック」を実施しました。児童会の体育委員が企画・運営し、今回は走力を鍛える「こおり鬼」編です。さわやかな秋晴れの下、元気いっぱい走っています。

クラブ活動の時間に「ニュー・スポーツクラブ」では、キンボールに取り組みんでいます。22日は指導者の方々を要請して、更に技術向上を目指しました。

市の小学生陸上記録会では、各個人が優秀な成績を収めました

1年生から6年生までの縦割り班(さわやか班)で給食を仲良く食べて、お昼休みは一緒に遊びました。1年生から6年生まで一緒に仲良く外で遊ぶことができました。「ネイチャージャー」もグリの楽で実施しました。

運動会の選抜児童による「紅白対抗リレー」の練習を行いました。この種目はプログラムのラストを飾る大いに盛り上がる種目です。なお、昨年度、トラックを一周がちょうど200mになるように作り直しました。本番での迫力ある走りを楽しみにしています。

体育の授業の始めにサーキットトレーニングを行っています。曇っていたり、高熱陣にぶら下がったりしています。終わると息が上がりますが、子どもたちは頑張っています。

児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
490	19	(○) 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムの使用 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 わらい

- (1) 児童の運動に対する興味・関心を高め、運動に意欲的に取り組もうとする態度を育てる。
- (2) 児童が苦手としている運動にも、楽しみながら挑戦し、その力を伸ばすことができる。

2 実施内容

- (1) 古山オリンピックの実施
 - 児童会 (体育委員会) の取組として「古山オリンピック」と題して、昼休みに児童の自由参加のイベントを実施し、児童が楽しみながら運動に取り組む、体力向上を目指すきっかけ作りとした。種目や内容は児童の興味・関心をもてる種目はもちろんのこと、新体力テストで全体的にソフトボール、握力、50m走が全国平均より劣っているという結果から体育委員会で考えた。
 - ア こおり鬼編 (9月)
 - 低・中・高のブロックごとに実施。高学年の体育委員会の児童が鬼となり、低・中学年の児童が捕まらないようにたくさん走ること、楽しみながら50m走につながる走力の向上を図った。
 - イ 登り棒編 (10月)
 - 体育委員会がタイムを計り、登り棒を登らせる。新体力テストの結果より、本校は握力が全国平均より劣ることから、体幹・握力・筋力向上のために行う。体育委員会の児童に記録証を作成・配布させ、何年度でもチャレンジャーズ記録の更新をねらった。
 - ウ 昨年度実施した、ボール投げや鉄棒、縄跳びの「古山オリンピック」も今後実施する。
 - (2) 体育の授業の工夫・改善
 - 基礎体力向上のために、体育の授業の際に、サーキットトレーニングを位置付けて児童の発達段階に応じて実施。ジャンプ・ジャンプ・ジャンプ・ジャンプ・ジャンプ・ジャンプなどの固定遊具を使って、体力向上に努めた。
 - (3) 業間の時間を活用した体力向上の実践 (業間体育の工夫)
 - 業間の時間に児童会体育委員会の児童が進行し、自分たちで体力を高める意識づくりに努めた。
 - ア 運動会の集団行動・全校種目の練習 (5月：2週間)
 - イ 持久走記録会に向けた練習 (11月：2週間)
 - ウ 縄跳びの練習 (12～2月：4回)
 - (4) ウキキタイム (清掃なしの長いロング昼休み：週1回) の実施
 - 各クラスやさわやか学級 (縦割り班) 単位に校庭や近くの芝生の公園での非遊や近くの「グリの楽」での「ネイチャージャー」を行い、楽しみながら体力作りをしている。
 - (5) 下野市教育委員会スポーツ振興課との連携
 - クラブ活動を定期的な外部講師を招いてニュー・スポーツであるキンボールを実施している。
 - (6) 特設陸上競技部の活動
 - 7月下旬実施の「市小学生陸上記録会」に向けて、放課後等に全職員が種目を分担して指導した。
 - (7) 家庭や地域への啓発
 - 体育的行事や「古山オリンピック」などの様子を学校ホームページに掲載し情報提供している。

3 主な成果 (箇条書きで簡潔にまとめる)

- (1) 古山オリンピックを楽しみにしている児童も多く、運動をしようとする意欲が高めることができ基礎体力の向上が図られた。また、先生方の体力向上に向けての指導力が高まった。
- (2) 授業でのサーキットトレーニングを通して、基礎体力の向上に努めることができた。
- (3) 全員参加の業間体育やさわやか共遊では、全児童が運動に取り組む機会を作ることができた。
- (4) スポーツ振興課と連携を図ってキンボールに取り組むことができ、市の小学生大会で優勝した。
- (5) 理編を踏まえた陸上競技への指導により、市の陸上記録会で一人一人が優秀な成績を収めることができた。特に、400mリレーでは、男女とも優勝に輝いた。
- (6) 学校ホームページに掲載により、児童の意欲向上や保護者への興味・関心を高めることになった。

下野市立古山小学校

下野市立国分寺東小学校

児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものをすべてに○を記入)
287	12	(○) 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

- (1) 業間運動を軸に、日常的な体力づくりの取組を通して、体を動かす習慣化を図るとともに、体力の向上を目指す。
- (2) 学級・学年・統制りなど様々な集団で運動することを通して、より広く友達と関わる喜びを実感し、楽しく運動・遊びをする。
- (3) 児童一人一人が自分の生活習慣を見つめ、生き生きと明るく生活できるようにする。
- (4) 全学年で授業改善を図り、児童の運動に関する関心・意欲を高める。

2 実施内容

(1) スポーツタイム (毎週火、金)

毎週火、金 (持久走練習期間は毎日) の業間活動 (10:05~10:30) を運動の時間とし、実施する。年間通じて行うことで、体力の向上やよりよい体の使い方を身に付け、生涯学習にもつながるような、運動に親しむ態度を培う。

○実施内容の詳細

- ① サーキットトレーニング (火曜日…2, 4, 6年 金曜日…1, 3, 5年)
・鉄棒…ダンゴムシ10秒 ・フープアプ跳び…前回り10回跳ぶ ・平均台…2つ設置 走る
・ボール投げ…玉入れの球をターゲットに当てる。(3回投げ) ・登り棒…上まで登る
・ジャンピングジム…1段目を横歩き・タイヤ…昇降10回 ・ジグザグ走…印を触りながらサイドステップ
- ② 5分間走 (火曜日…1, 3, 5年 金曜日…2, 4, 6年)

自校作成のマラソンカード (全職員からサインがもらえるカード) に記入することで走った成果を実感させる。持久走のための強化練習中は、全学年校庭を走る。走るたびにサインが増えていくことで、児童の意欲向上につながる。また、担任でない児童にも賞賛の声をかけすることができる。

③ 短なわ跳び、長なわ跳び

短なわ跳び…曲に合わせて跳ぶリズムなわ跳びを実施。

長なわ跳び…校内長なわ大会に向けての練習。縦割り班で活動し、異学年交流もねらいとする。

(2) ひがしっ子タイム・クラスタイム (毎週水曜日 13:05~13:30)

- ① ひがしっ子タイム…縦割り班での活動 (月1回)
年度当初に一年間の計画を立て、6年生が中心となり活動する。主に外遊びを行い、ドッジボールや中継遊び、おにごっこなどをする。異学年交流をねらいとし、高学年のリーダー意識を高め、下学年のお手本とさせる。また、企画委員会や運動委員会が中心となって、長縄大会やドッジボール大会、あいさつチャレンジを行って、これにより技術の向上はもちろろん、異学年での関わりが生まれ、コミュニケーション能力の向上など、学校の一体感が生まれている。
- ② クラスタイム…各学級での活動 (月3回)

運動遊びを通して、友達よさに気づき、また学級から認められているという、自己肯定感を味わえることをねらいとする。また、人との関わりを感じ得ることによって更に人と関わり合うとする態度を培う。ドッジボールなどの投動作を必要とする遊びも意図的に組み込ませた。今年度は、兄弟学級 (1年と6年、2年と5年、3年と4年) との交流も多く取り入れた。

(3) スマイル週間、スマイルカードの実施

「生活習慣と運動能力には大きな関係がある」という視点から月に1週間、自分の生活習慣を見直すために、「スマイル週間」を実施した。スマイル週間では、「スマイルカード」に自分で達成すべき目標を決め、毎日チェックをする。項目は以下に示すとおり。本年度は、前年度の「虫歯の治療率の低下」を踏まえ、「歯磨き」の項目を追加した。

- ・寝る時刻 ・起きる時刻 ・朝食が食べられた ・テレビ、ゲーム、パソコンの時間 ・歯磨き
 - ・自分のめあて (例お手伝い、外で運動、好き嫌いをせずに食べるなど)
- 振り返りには、家族からの励ましの言葉を書かせる。また、「ハッピーごほうび」を決め、意欲を高めさせた。ハッピーごほうびは、物やお金ではなく、一緒に過ごす時間 (好きな物を食べに行く・一緒に公園に行くなど) をごほうびにしてほしいと保護者には伝える。家族とのふれあいの時間を作ってほしいという願いがある。

(4) 授業改善

①ICTを活用した授業

陸上運動や器械運動など、自分自身の動きを客観的に捉えにくい運動において、タブレットを活用しながらお互いの動きを撮影し、教え合う活動を取り入れた。動画を見ながら、改善点を話し合うことで、より具体的なアドバイスを送ったり課題を発見したりすることができ、技能向上に効果的であった。

②異学年の教え合いによる授業

兄弟学級やブロック学年、2園飛び学年 (1年と4年、2年と5年、3年と6年) など様々な形で合同体育を行った。他学年との授業交換なども行い、担任以外の教師が体育の授業を行うことにも挑戦した (異学年授業)。自分の学年だけでなく他学年の体育を教えることは縦のつながりを意識する上でも重要であった。

3 主な成果

- (1) 楽しんで運動に取り組み、体力・運動技能を高めることができた。成果として、新体力テストにおいて、握力・上体起こしが全国平均まで学年の数値を向上させることができた。ソフトボール投げでも同様に全国平均を上回る結果となった。
- (2) 高学年がリーダーとなって活動することにより、異学年交流も含めて、コミュニケーション能力が高まった。下学年は常に目標となる高学年がいるため、意欲が高まり、技能の向上につながった。
- (3) 児童が生活習慣を見直す良い機会となった。保護者も巻き込んで行うことで、親の意識も高まった。「ハッピーごほうび」により家族とのふれあいの時間が増えた。
- (4) 異学年の教え合いにより、体育が楽しみになったと答える児童も多くなった。教え合いや遊び合いなどの関わりも生まれ、技能向上にもつながった。

4 資料

○サーキットトレーニング種目



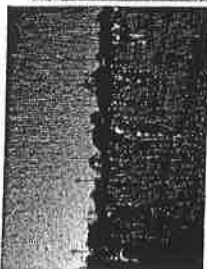
○短なわ



○取なわ



○スマイルカード



矢板市立矢板小学校

児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
367	14	(○) 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

- (1) 児童を主体とする体育的活動を通して、児童が自主的に活動し、楽しみながら自己の運動能力や体力の向上に努めることができるようにする。
- (2) がんばりカード等各種カードを活用し、記録を蓄積する。その記録から自己評価をし、さらなる目標に向けての意欲を高められるようにする。
- (3) 新体力テストの結果を考察し、本校児童に不足している能力 (投力と走力) を養うような運動を行い、基礎体力の向上を図る。

2 実施内容

- (1) 「体育の目標」の提示と「50m走・ボール投げ記録カード」の活用、準備運動の共通理解 (資料①)
 - ア 昨年度の新体力テストの結果を考察し、学年ごとに「50m走」と「ボール投げ」の目標を設定した。それを教室に掲示し、運動への意欲を高めた。
 - イ 投力と走力を高める準備運動を学校統一して実施するように共通理解を図った。
 - ウ 投力と走力を高める運動を習慣化するために「記録カード」を作成し、毎月記録を取り、記録の向上に向けて努力するきっかけを作った。
- (2) 「50m走ががんばり週間」と「ボール投げ週間」の実施 (運営：運動委員会) (資料②③)
 - ア 全校生を対象に、本校の課題である投力と走力を向上するために「50m走ががんばり週間」と「ボール投げ週間」を実施した。設定された記録を超えたいという目標をもって児童は練習に励んでいた。
 - イ 記録会の日には、参加した児童の記録カードに、記録を記入した。児童の意欲の喚起にもつながった。
- (3) 「矢小大おにごっこ」の実施 (資料④⑤)
 - ア 楽しみながら体力を高められる運動として、全校生でおにごっこを行った。おには陸上大会でリレーに出場したメンバークラスが勝った。
 - イ 「2回タッチされたらアウト」「1回タッチされたら帽子の色を変える」など全学年が楽しめるように工夫をした。
- (4) 「陸上の達人に会おう」の実施 (運営：運動委員会)
 - ア 全校生を対象に、「陸上の達人に会おう」を実施した。運動委員会の児童が司会をし、市内及び地区陸上大会で活躍した児童を紹介した。陸上の達人には児童の前で模範となる演技を披露してもらい、競技の様子を伝えることができた。
 - (5) 「矢板小ゾーランががんばり週間」の実施 (資料⑥)
 - ア 全校生を対象に、「矢板小ゾーランががんばり週間」を実施した。矢板小ゾーランは運動量が豊富で、児童の協力や観察力の向上に役立った。
 - (6) 「縦割り班対抗ドッジボール大会」の実施
 - ア 全校生を対象に、「縦割り班対抗ドッジボール大会」を実施した。大会に向けて休み時間に練習する姿が見られた。
 - イ 縦割り班で実施することにより楽しく運動するだけでなく、思いやりの気持ちも育っていた。

(7) 持久走カード、なわとびカード、二重跳び大会、学級対抗長縄大会の実施

- ア カードを活用し、運動への意欲を高めた。
 - イ 全校生対象の大会を実施し、それに向けて学級ごとに練習する姿が見られた。
- 3 主な成果 (簡易書きで簡潔にまとめる)
- (1) 授業で扱う教材に関わらず、運動量を確保できるようになった。
 - (2) おにごっこという遊びを通しての運動や遊びの特性にふれることを通して、体を動かす楽しさに気づき、自ら体を動かして遊ぼうとする気持ちが育った。
 - (3) 50m走やボール投げの記録の目標を明確にし、記録を蓄積することで目標への達成度や個々の記録の変化が分かりやすくなった。それにより多くの児童が記録を向上することができた。
 - (4) ドッジボール大会では 高学年は利き手と反対の手で投げるなど全学年が楽しめるようになり、声掛け合ったり助け合ったり思いやりの気持ちも育った。児童が好む運動でもあり、休み時間にドッジボールをする児童が見られるようになった。

4 資料

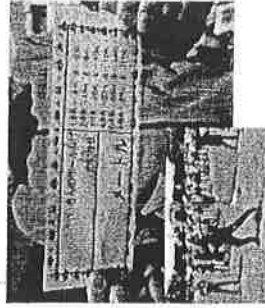
資料①「学年ごとの目標」

6年生の体育の目標	
50m走	ソフトボール投げ
男子 8秒7	27m
女子 9秒1	17m
日本の6年生に挑戦だ!	

資料②「50m走・ボール投げ記録カード」

50m走	ソフトボール投げ							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0

資料③「ボール投げ週間」



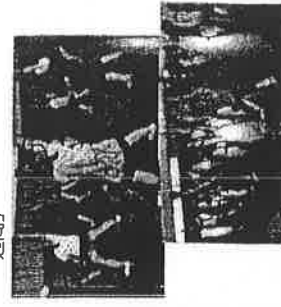
資料④「矢小大おにごっこ」



資料⑤「矢小大おにごっこ」の様子



資料⑥「矢板小ゾーランががんばり週間」



さくら市立押上小学校

児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものをすべてに○を記入)
180	6	(○)児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○)新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

- (1) 運動の場を工夫して設定することで、自然に無理なく運動能力を向上させる。
- (2) 多様な動きのトレーニングを習慣化することで、普段運動をしない子の運動経験と運動量を増やす。

2 実施内容

- (1) サーキットトレーニングコースの新設
本校は比較的大きな敷地をもち、校庭の周囲を取り囲むように、鉄棒や登り棒、タイヤなどが設置されている。また、ジャンダルジムや滑り台といった遊具は、校舎の脇に沿って奥行きがある配置となっている。これらの器具や遊具をつなぐようなサーキットトレーニングコースを作ってみたところ、1周555mにも及ぶロングコースができた。今年度の新体力テスト(5月実施)の結果を受けて、以下のような工夫を凝らしたトレーニングコースの設定と、体力向上に向けた活用を行っているところである。

ア サーキットトレーニングの種目の工夫

コースの中に8つの種目をバランスよく配置した。

- ① ジャンダルジムの周りをつたって1周回る。 → 握力、平衡性
- ② 鉄棒で懸垂した状態でぶら下がる。 → 握力、筋持久力
- ③ 4本の丸太(平均台)を落ちないようにわたる。 → 平衡性
- ④ 登り棒につかまって10～15秒しがみつく。 → 握力、筋持久力
- ⑤ タイヤの上を落ちないように跳ぶ。 → 跳躍力、敏捷性、平衡性
- ⑥ バックネットを連続ハイタッチする。 → 跳躍力、敏捷性
- ⑦ ジャンピングボード6枚をリズムカルに走り抜ける。 → 跳躍力、敏捷性
- ⑧ 雲梯をわたる。 → 握力、筋持久力

今年度の新体力テストの結果から見えてきた、本校児童の課題である「握力」「跳躍力」「跳躍力」を特に強化することをおぼえて、種目の内容を考えた。また、1周555mをジョギングで走ることで、全身持久力の向上も期待して行っている。

イ サーキットトレーニングの活用

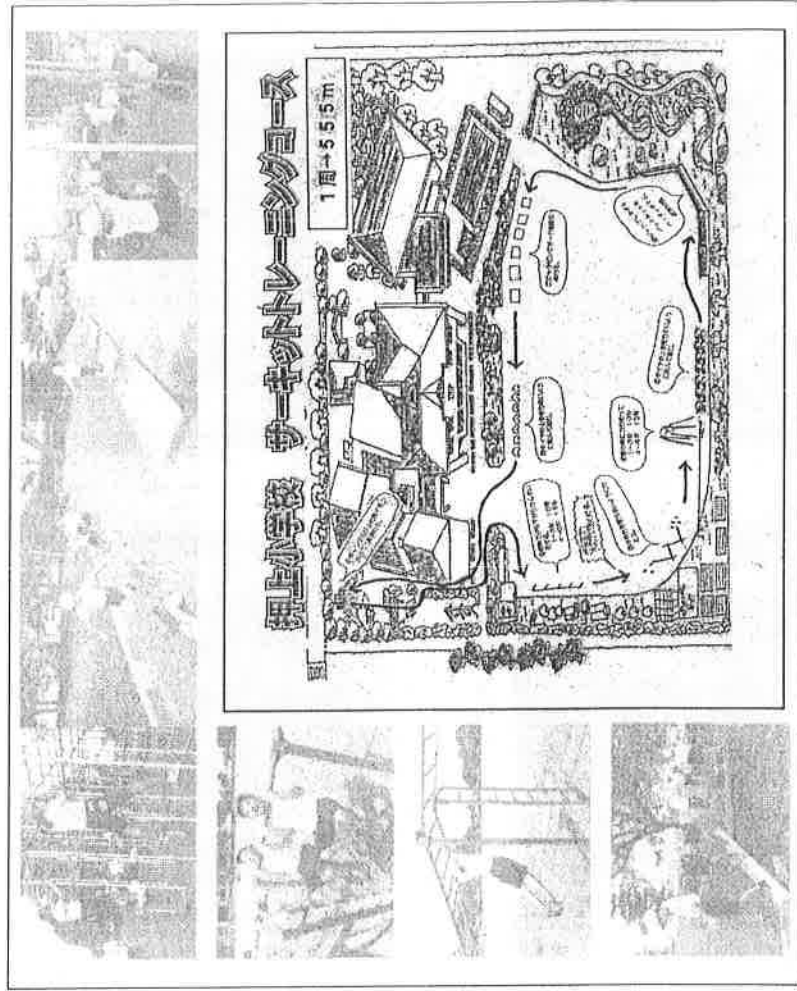
各学年の体育の授業で(校庭使用時)、毎時間、準備運動後に児童にサーキットトレーニングコースを1周させるようにしている。授業中に教師の指導がある中で、サーキットトレーニングの各種目を行うことは、正確なやり方でトレーニングを行うことにつながっている。速くトレーニングコースを回りがたがる児童に対して、正しいやり方で各種目を行う意識づけを図るためにも、「やらせっぱなしにしない」ことが大切である。

また、全教職員にサーキットトレーニングのポイントと種目の行い方について、共通理解を図り、クラス間の取組に差が出ないように努めた。全校生で取り組むことで、学校全体の体力向上はもちろんのこと、トレーニングの習慣化が図れることが期待できる。また、教室にサーキットトレーニングのコース図を掲示しておくことで、児童がニーズを確認することができ、休み時間等にも自主的にトレーニングを行うことができるようにした。

3 主な成果

- (1) サーキットトレーニングコースが、児童の中に定着するようになり、自分で種目に取り組みながら運動できるようになってきた。
- (2) 始めたばかりの頃、1周555mの距離を走るだけでも息が上がってしまっていた低学年児童が、今では楽しみながら1周できるようになった。
- (3) 全学年で鉄棒のぶら下がりができない子が多く見られたが、少しずつ秒数を伸ばしながら握力や筋持久力を高めることができてきている。
- (4) 体育の授業の中で行うことで、週2・3回は確実に全児童がサーキットトレーニングを実施できている。運動経験の二極化を防ぐことに役立っている。
- (5) 普段目にしたりに触れたりしている身近な施設遊具が、体力を高める運動に使えることを児童に体験させることができた。日常生活の中で、工夫しながら体力向上を図る体験を通して、自分自身で体力向上に努めようとするときに、参考なるような経験ができてきている。生涯学習につながる。

4 資料



児童数	学級数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
112	6	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

- (1) 小学生の体力的な発達段階や児童の体力的実態、体育的行事を考慮した体力づくりを行う。
- (2) 児童に運動の楽しさを伝え、確かな技術を身に付けさせる。

2 実施内容

昨年度の課題として、柔軟性・筋持久力を課題としたため、以下の取り組みを考えた。

- (1) さわやかタイムでの取り組み
 - ア 年間計画に基づく体力づくり
 - 毎週月・火・木・金のさわやかタイム (10:25~10:40) に活動班に分かれて実施する。活動内容は、4~10月まで、一輪車、竹馬、鉄棒、タイヤ跳び・雲梯を1ヶ月ごとにローテーションで行う。11月は、長距離走大会に向けての練習。12月~3月は、6年間縄跳びがんばりカードを活用し、短縄跳びを行う。

(2) 授業での取り組み

- ア 体育の授業での取り組み
 - 準備体操では、本校独自に考えたジンギスカン体操を行う。
 - イ 体育以外での取り組み
 - 授業開始号令後、スクワットを全学年実施している。昨年度新体力テストの分析結果から、柔軟性に課題があったので実施している。

(3) 体育的行事での取り組み

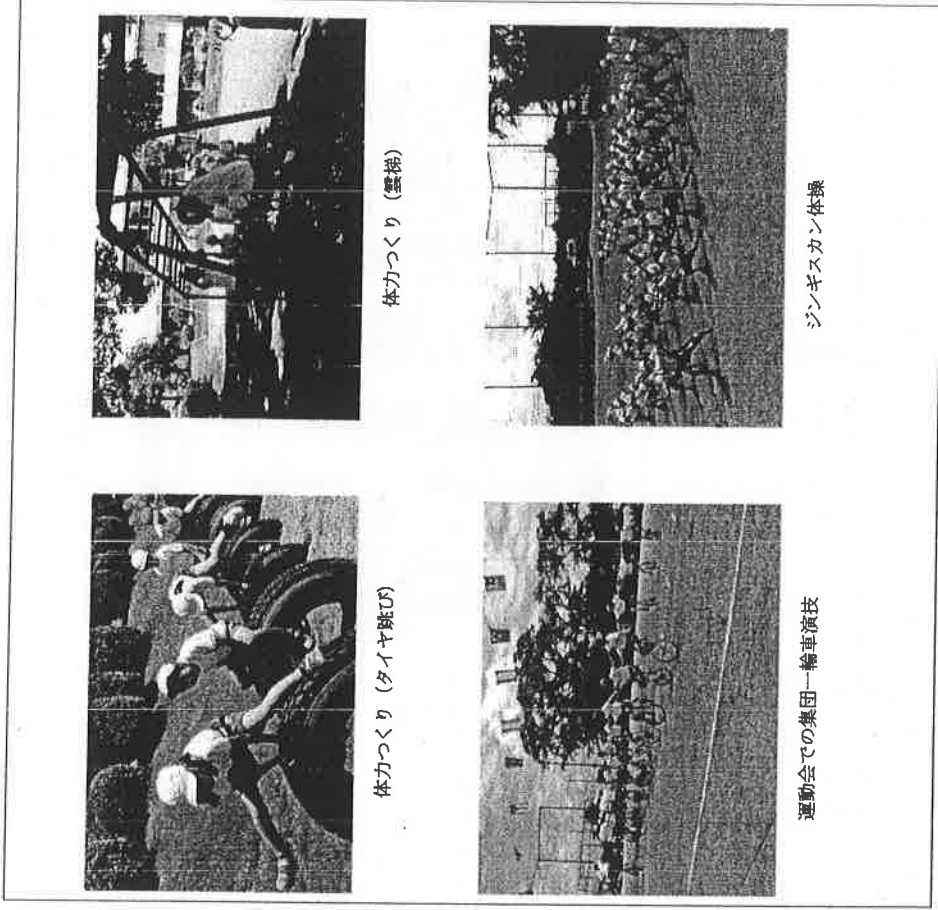
運動会では、一輪車の集団演技を行う。また、長距離走大会に向けて、1か月間、発達段階に応じて距離を設定し練習を行う。6年間縄跳びがんばりカードを活用し、短縄跳びを行う。

(4) 部活動への積極的参加

- ア 教員が積極的に関わり、保護者と部活動の情報を共有している。
- イ 3~6年生の部活動加入率は、67% (51人/76人中) である。野球部・ソフトボール部に加え、積極的に心身を鍛えている児童が多い。

3 主な成果 (簡条書きまで簡潔にまとめる)

- (1) 体力づくりでは、各種目を自主的に楽しんで行っている。また、一輪車や鉄棒の技のレベルを上げていろいろな技に挑戦しようとする姿が見られるようになった。
- (2) 体育の授業でジンギスカン体操を行うことで、全身持久力・柔軟性が鍛えられている。
- (3) 新体力テストでは、多くの種目で県・全国平均を上回った。特に、ボール投げの結果がよかった。部活動に加入し、体を鍛えている結果が良い影響を与えている。
- (4) S級認定取得率10.71% (12人/112人) という成果が出た。



那須塩原市立三島小学校

児童数	学級数	内容区分
760	24	() 児童生活の体向上に向けた体向上プログラムを使った取組 (O) 新体力テストの課題結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい
新体力テストの成績向上のために運動に親しむ機会を増やしたり、指導方法の改善を行ったりする。

2 実施内容
(1) 専科的指導教員の配置
平成24年度から、体育主任が1年生から6年生までの中で数クラスの体育の授業を担当し、体育関係の行事や指導について見直しを図った。(平成29年度について専科的指導教員の配置は未実施)

ア 全学年の年間指導計画の整備
単元の内容や実施時期を運動量確保の観点から見直し、準備や片付けに時間がかからないようにしたり、教員の不足が出ないようにしたり等の工夫をした。

イ 授業改善
新体力テストで全国平均より劣っている柔軟性やボール投げ、立ち幅跳びなどについて授業の初めにサーキットトレーニングを取り入れた。また、合同体育を実施し、体育指導が得意な教員がT1となって授業を進めた。

ウ 体育通信の発行
本校児童の体力や体育関係設備、授業改善の方法について職員間で共通理解を図るために年に4回発行した。さらに、保護者向けに新体力テストの結果や体育の授業等の内容を知した。

(2) 運動に触れる機会の増加
本地区は学校による部活動指導が盛んであるが、本校は市街地であり、様々な習い事を行える環境に恵まれている。そのためか運動以外の習い事等によって部活動に参加しない児童の割合が高い。また、自家用車での送迎も多く見られ、全体的な運動量の低下が懸念されていたため、登校後の時間や休み時間等に全校で取り組めるように運動ができる機会を位置付けた。

ア パワーアップタイム
水曜日の清掃の時間(20分間)に、全校児童がドッジボール大会、綱跳び、長距離走などを行った。

イ 運動部活動の奨励
部活動加入率を向上させるために、部活動紹介集会や部活動体験会を実施した。

(3) 技能の習得
ア 児童会体育委員会児童の活用
星休みに鉄棒や跳び箱について検定や教室を開き、体育委員会児童が指導した。
イ 水泳教室の実施
夏休みに初心者を対象に3日間行った。参加者は3～6年生が20名。指導については体育主任を中心に数名が行い、校内自主研修の機会とした。

3 主な成果

(1) 新体力テスト結果

多くの種目で全国平均値には及ばないものの、AB評価を獲得した児童の割合からDE評価の児童の割合を引いた値と比較すると体育専科指導教員を配置した翌年から成績が向上している。各学年男女別々に種目ごとに次年度の目標値を設定しており、少々のマイナスも見られるが多くの項目でクリアすることができた。

(2) 指導力向上

専科的指導教員が担任を持たずに体育のみ(一部教科も担当)を指導することによって、各学年の体育指導上の問題点が明らかになり、全学年を通して系統的な指導が可能になった。さらに、挙げられた課題について体育通信を通して共通理解し、少しずつ指導方法の改善を図ることができた。

(3) 運動機会の充実

特に低学年の児童が積極的に体育委員会主催の運動教室に参加していた。また、種目が苦手な児童が周囲の目を気にすることなく丁寧に指導を受けた結果、技術の向上が見られた。

4 資料

体育通信

那須町立東陽小学校

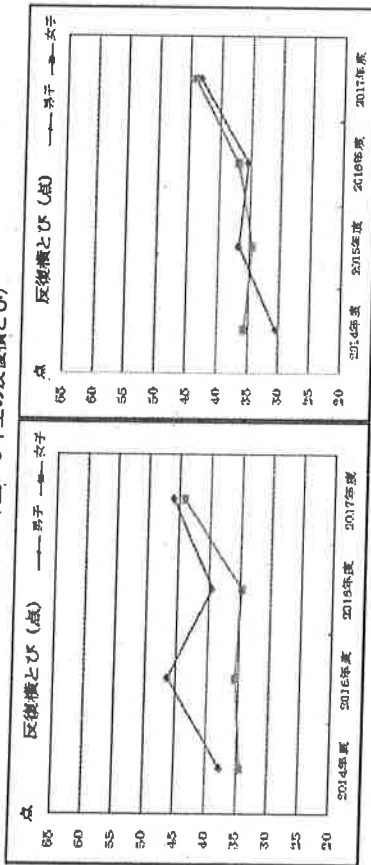
内容区分	
児童数	学級数
158	6
() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組	

1 ねらい

- (1) 児童の体力向上及び健康の保持増進を図る。
- (2) 児童間の連帯感や協働心を深めさせ、望ましい人間関係を育てる。

2 実施内容

過去4年間の新体力テストの結果（5年生・6年生の反復横とび）



(1) 望ましい運動習慣を身に付ける

本校児童の新体力テストの2016年度までの結果を見ると、現6年生女子の体力が他学年に比べて男女差が見られていた。その理由として考えられたのが、部活動の加入人数に大きな違いがあったことだった。2016年時に現6年生女子13名の内、部活動加入者は1人（ソフトボール部）であった。他学年においては男女ともに半数近くは部活動に加入、あるいはスポーツ少年団に加入していた。

そこで、昨年度からスポーツ未経験者でも気軽に始められる「スポーツ活動部」を新設した。

スポーツ活動部の活動内容

- 活動日…週2日（火曜日、木曜日）
- 種目…パドミントン、バレーボール、ゴルフ等
- 部活動加入率（5・6年生 ※6年生引退前）
 - ・スポーツ活動部…27人
 - ・ソフトボール部…9人
 - ・野球部…18人
 - 全体…54人（84%）

※これにより、ほぼ全ての児童が、週に2日以上運動習慣が身に付いた。

(2) 昼休みの活用

昼休みは定期的に、1～6年生で編成された班で「縦割り班遊び」を実施している。新体力テストでは、シャトルランの結果での落ち込みが見られたので、遊びの中に持久力を伴うよう意識させている。さらに、自主的な活動となるように班長である6年生に内容を決定させている。鬼ごっこやけいどう、ドッジボール等が人気である。また、後期は、「とちぎ元気キッズなわとびカード」を業間や教科体育の中で活用して楽しみながら体力の向上をめざしていく予定である。

(3) 教科体育における取り組み

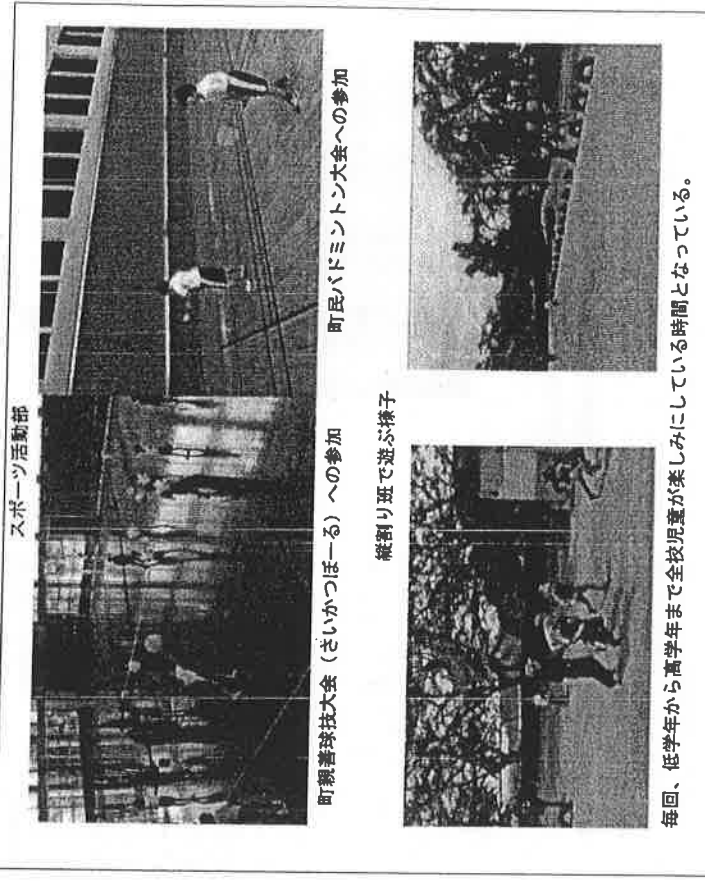
今年度の新体力テストの結果からは、立ち幅跳びにおいて、全学年で低下傾向にあることが分かった。そこで、授業の準備運動の中に、「跳躍力」を意識した運動遊びを発達段階に合わせて取り入れている。チャレンジプログラムを参考に、「立ち幅リレー」や「じゃんけんグリコ」を実施し、楽しみながら跳躍力を身に付けている。

3 主な成果

2の(1)の資料のとおり、2017年に現6年生女子の反復横とびの数値が大幅に上がり、6年生男子とも変わらない数値になってきた。部活動加入者の感想として、「運動することが楽しい」「パドミントンがもっとうまくなりたい」など運動が好きという児童も増えてきた。

また、縦割り班の遊びを奨励することで、低学年でも外で体を動かすことが好きな児童が増え、休み時間や昼休みに外で遊ぶ児童も増えてきた。このように、学校全体を通して、望ましい運動習慣が身に付いてきている。

4 資料



毎回、低学年から高学年まで全校児童が楽しみにしている時間となっている。

佐野市立飛駒小学校

児童数	学級数	内容区分
65	6	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (O) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

- (1) シャトルランの記録の低下等を受け、始業前のランニングや業間の運動などを通して、体力の向上を図る。
- (2) 部活動を通して、体力と技能の向上を目指す。

2 実施内容

(1) 朝のランニング

始業前に各自、自分の目標に向けて、校庭を走っている。そして、8:05には、放送で朝ランの放送を入れ、音楽を流している。8:05から8:15までを朝のランニングタイムの時間として、各自が自分の走力に合わせて走っている。また、意欲が継続できるように、各自に朝ラン通帳を持たせ、走った周回数を記録させている。

(2) 体力づくり

ア 業間マラソン

毎週金曜日の業間15分間を業間マラソンとして、4分間走に全校で取組み、マラソンカードに走った周回数を記録している。3kmごとに運動委員がシールを貼っている。4年生以上は2グループ(1000mと800m)に分かれ、毎回タイムトライアルに挑戦している。

イ 体育館での体力づくり(金曜日の業間が雨の時)

雨の日には、体育館を5ゾーンに分けて、体力づくりを行っている。反復横跳び、10mシャトルラン、上体起こし、ジャンピング、パービーの5種目があり、やりたいものから実施し、記録用紙に記入し、前回より記録が伸びた児童には、運動委員がシールを貼っている。

ウ 朝の1分間体力づくり

毎日、朝の会で1分間体力づくりを行っている。月曜日はスクワット、火曜日はシャドウビッチング、水曜日はつま先立ち、木曜日はもも上げジャンプ、金曜日は臥立て伏せを行っている。行う回数は、学年の発達段階を考慮して決めている。

(3) 各種検定

鉄棒・登り棒検定を5月から6月、竹馬・一輪車検定を10月から11月に行っている。前年度の結果をもとに、今年度の各自の目標を決めさせて意欲的に取り組めるようにしている。そして、学期末に全員に検定合格証を授与している。また、昨年度より3級上がった児童と1級以上の児童にがんばり賞を授与している。

(4) 部活動

6月から7月は水泳部、9月から10月は陸上部、10月から11月は駅伝部の活動を行い、記録と体力の向上を目指して取り組んでいる。また、通年を通し、全国大会を目指して、昼休みに設ダンス部の活動を行っている。夏休みも計画的に実施した。

3 主な成果

- (1) 朝のランニングに自主的に取り組む児童が増え、アナウンズと共に外に出て、力いっぱい走っている。また、朝ラン通帳の周回数をたくさん増やそうと意欲的に取り組んでいる。
- (2) 業間マラソンでは、タイムトライアルを行うことにより、タイムを意識して走り、タイムを向上させようと意欲的に取り組んでいる。
- (3) 部活動では、自己記録の更新を目指し意欲的に取り組み、大会でよい記録を残すことができた。

4 資料

朝のランニングタイム(走った周回数を朝ラン通帳に記録している)

雨の日の体育館での体力づくり(上体起こしとジャンピングの様子)

朝の1分間運動(ももあげジャンプとシャドウビッチングの様子)

特設ダンス部(くずう原人祭りでのダンスを披露)

児童数	学級数	内容区分
776	29	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 わらい

- (1) 体力を向上させることによって、学校生活全般の中により一層活気をもたせること。
- (2) 本校全学年を通して毎年実施している新体力テストの結果を受け、栃木県でも課題とされている体力を向上させること。

2 実施内容

- (1) すずかけチャレンジタイムの創設（毎日2時間目休み時間後の体力づくり）

ア 皆走運動（マラソン）

身体的な持久力の不足から影響を受ける耐性、その不足に対してのアプローチとして5分間の持久走を実施している。低中高ごとに異なるコースを設け、そこでの個人の目標をもたせる。4～6月や秋のマラソン大会の前に行っている。

イ ラジオ体操やなわとび運動

暑い時にマラソンは児童の体調面の心配があるので、運動会の時期に合わせてラジオ体操を実施したり、マラソン大会後からの時期に休み時間にも取り組めるなわとび運動を全児童で実施したりしている。なわとび運動は1回旋1跳躍を5分間続け、その後2分間は自分で練習したい技能跳びにチャレンジする。

ウ 室内での体力づくり

運動時や日常生活で、転倒した時に叫び手が出なかったり、自分の体重を両手で支えられずに怪我をしてしまったという課題から、校庭で実施できない場合は、各教室で簡易立て伏せの姿勢を30秒維持して30秒休んでを5セット行っている。

- (2) 常設遊具の新設（投力の向上）

ア ロケット

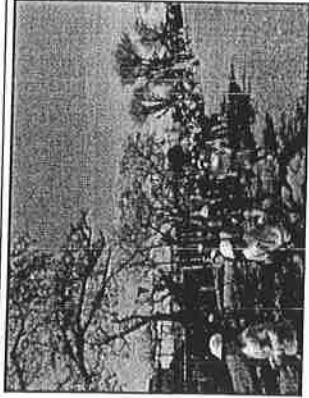
ロープにリレーで使用するバトンを通した状態で、校舎二階の手すりから地上に向けて斜め方向に伸ばして張る。ロープを放射状に間隔を空けて複数張ることによって距離別の難易度を変えられる。常設であるため、いつでもすぐに利用できるメリットがある。

イ 的当て

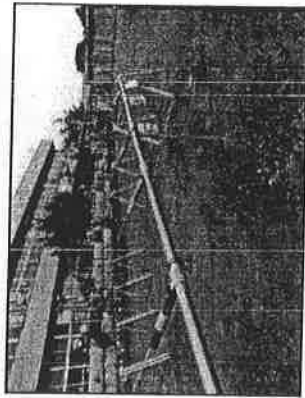
室内用の的当てを屋外に常設することで、ロケット同様いつでも使うことができる。的の大きさは全て同じではあるものの、的までの距離を変えることによって、難易度を変えることができる。

3 主な成果

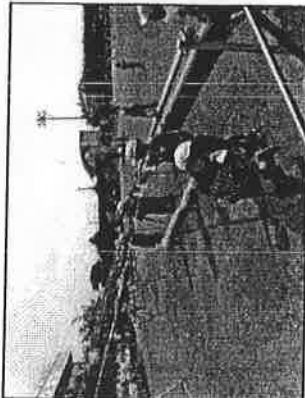
- (1) すぐに諦めたり、消極的になったりする児童が減少している。
- (2) 1000m走の記録の平均がよくなった。
- (3) いつでも投げられる運動ができるようになって、その運動に興味をもつ児童が増えた。



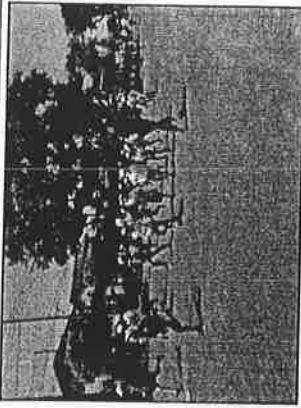
春の澄んだ空の下で取り組む
すずかけチャレンジタイムの皆走運動



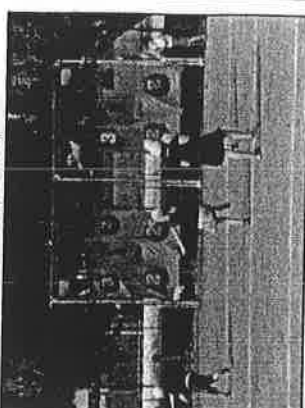
校舎2階に向けて張られているロケット
単管を打ち込んで支柱にしている



複数設置してある的当て
休み時間には多くの児童が利用している



教職員も児童と一緒に
すずかけチャレンジタイム



児童数	学級数	内容区分
522	22	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

1 ねらい

- (1) 体力テストの数値の向上に向けて、奮わなかったところを補う運動を授業で取り入れる。
- (2) 田沼っ子タイム（業間マラソン）の学年・学級ごとの充実を図る。

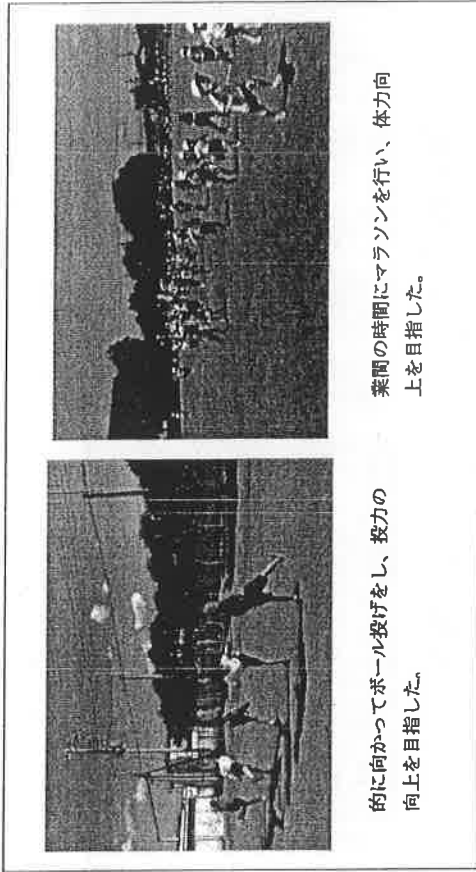
2 実施内容

- (1) ①校庭南側ネットにフラフープの的を取り付け、地面には10m、20m、30mの印を付け、体育でいつでもボール投げの練習ができるようにした。（資料左図）
②体育の準備体操の時間に「グー、パー運動」を取り入れた。手をグーとパーにすることを10回繰り返し行い、握力向上するようにした。
*学校の数値としてソフトボール投げ、握力の数値が低かった。春の体力テスト時に奮わなかったソフトボール投げ、握力を9月にもう一度記録をとり、春の記録と比較する（6年生のみ実施）。

- (2) 田沼っ子タイム（業間マラソン）の時に最後まで走りきる児童を増やし、児童全体の体力向上を図る。

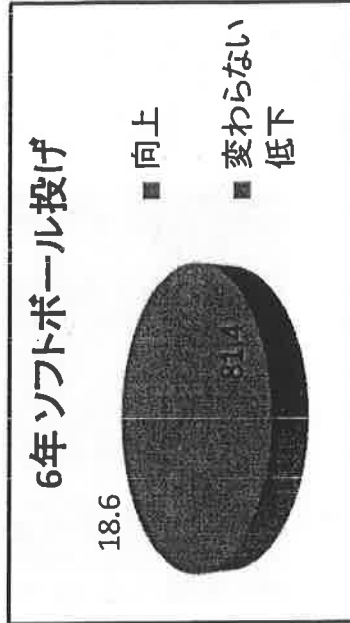
3 主な成果

- (1) ア ボールを強く握ること、投げる位置を少しずらすよう指導した結果、握力・投力両方の力を同時に上げることができた。的に向かって繰り返しボールを投げる児童の姿が見られた。
イ 握力の数値が8割以上向上した。また、一人あたり平均約0.9kg向上した。
- (2) ア 校庭に出る時間が遅く、走り始めの時刻に所定の場所に集合していないという課題があったが、天気の良い休み時間を外で過ごすよう声かけしたため、走り始めの時刻に集合できるようになった。
イ 走りきることを週生活目標にしたり、各ポイントに教員を配置し声かけをしたりしながら意識向上を図ったため、当初と比較すると、最後まで走りきる児童が増えた。（資料右図）



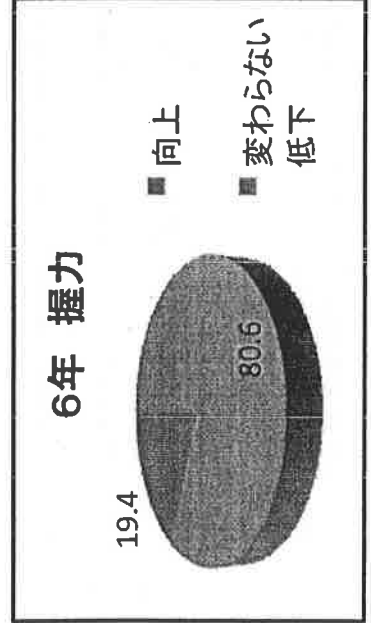
的に向かってボール投げをし、投力の向上を目指した。

業間の時間にマラソンを行い、体力向上を目指した。



4月に比べ9月では、8割以上の児童の記録が向上した。平均で一人あたり約2.6m記録が向上することができた。

体育の授業だけではなく体育の授業以外にもいろいろなボールを投げる児童の姿が見られ、ボールを投げる意欲にもつながった。



4月に比べ9月では、8割以上の児童の記録が向上した。平均で一人あたり約0.9kg 記録が向上することができた。

ボール投げの意欲づけがあったので、ボールを握る力の向上、握力の数値の向上にもつながった。

足利市立山前小学校

児童数	学級数	内容区分 (☆ではまるのすべてに○を記入)
611	23	() 児童生徒の体力向上に向けて体力向上プログラムを使った取組 (○) 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組

- 1 ねらい
- (1) 体育の授業で、補強運動や、児童が主体的に取り組むことのできる機会を設け、体育の授業の質的改善を行う。
 - (2) 体育の授業以外で、運動する機会を充実させることで、運動への意欲付けや運動に親しむ場を設ける。

2 実施内容

- (1) 体育の授業での継続的な取り組み
 - ア 体育の授業の最初に、補強運動を実施する。
昨年実施した、新体力テストのアンケートの結果を見ると、問3「運動・スポーツの実施状況」では、週3日以上が全体の2割とあり、月に全く運動しない児童も2割となっている。また、問8「体力に自信ありますか」の項目では、ふつう・ないと回答した児童が7割を越えている。この結果から、本校の児童の運動継続、体力の低下がみられる。そこで、本年度から毎時間の体育で無理なく取り組み、体力の向上につなげようと、福島県で行われている「福島・運動身体づくりプログラム」を参考にし、体力・運動能力向上のために「山前サーキット2017」を作成し、毎時間の体育の授業の初めに取り組んでいる。また、全職員での共通理解が必要となるため、4月に行われた現職教育の中で、この「山前サーキット」を全職員で取り組み、共通理解を図った。

イ 体育授業の充実

本校では、思考力・判断力・表現力の育成のため、どの教科の学習においても、ペアやグループ学習を取り入れ、学び合い活動の充実を図っている。体育でも、児童が互いの動きを観察し助言しあったり、学習カードを使っての毎時間の振り返りを記入したり、考えを共有する時間を設定している。

(2) 体育の授業以外での年間の取り組み

- ア 体育学習と学校行事との関連
 - 5月…運動会
 - 6月…新体力テスト
 - 11月…マラソン大会
 - 2月…長縄大会

イ 課外活動運動部の充実

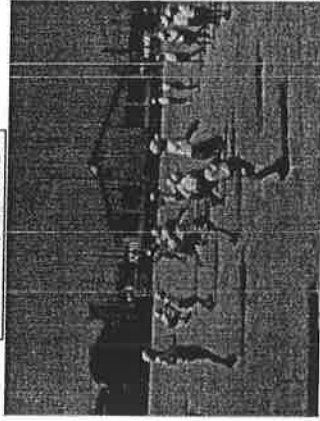
本校では、課外活動運動部として、体操部、水泳部、陸上部や駅伝部を設けている。体操部では、体操教室の方を講師としてお招きし、児童の技能向上や意欲付け、そして我々教員の指導技術の向上を図った。

3 主な成果 (簡易書きで簡潔にまとめる)

- (1) 昨年度と今年度の新体力テストの結果を比較すると、20mシャトルランや立ち幅跳びで記録の伸びが見られた。
- (2) 学習カードの活動や学び合い活動を通し、自分の課題を理解し、挑戦しようとする姿が見られた。
- (3) 運動部の活動では、運動する時間の習慣化や互いの競争意識の高まりにより、意欲の向上へとつながった。

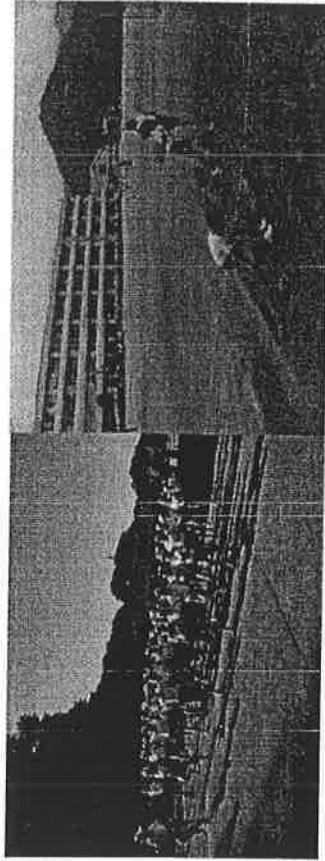
4 資料 (画像または資料等を添付する。レイアウトは自由とする。)

山前サーキット2017



- ・スキップ
- ・カニ走り
- ・ウサギ跳び
- ・アザラシ歩き
- ・クモ歩き
- ・イス走り
- ・カエルの足打ち
- ・カンガルー跳び
- ・バック走
- ・クロスステップ

マラソン大会



課外活動運動部

新体力テスト「S認定証」結果資料

新体力テスト『S認定証』交付要領

栃木県教育委員会

1 趣旨

体力向上策の一環として、児童生徒の体力に対する関心を高めるとともに、体力の向上に意欲をもたせるため、「S認定証」を交付する。

2 対象

当該年度の7月までに実施した新体力テストで、全ての種目の得点が8点以上の児童生徒に『S認定証』を交付する。

3 交付方法

(1) 小・中学校及び義務教育学校にあつては、当該市町教育委員会教育長宛て別紙様式1「新体力テスト『S認定証』交付申請書」を提出する。

なお、『S認定証』を申請する場合は、別紙様式2の申請者名簿を添付する。

(2) 各市町教育委員会教育長は、各校から提出された別紙様式1及び2を取りまとめ、当該教育事務所長宛て提出する。

(3) 各教育事務所長は、各市町から送付された別紙様式1及び2を取りまとめ、県教育委員会事務局スポーツ振興課長宛て提出する。

(4) 県立学校にあつては、県教育委員会事務局スポーツ振興課長宛て別紙様式1及び2を提出する。

(5) 県教育委員会は、提出された「新体力テストS認定証交付申請書」の内容に基づき、小・中学校及び義務教育学校に対しては各教育事務所長を経由して関係市町教育委員会教育長宛て、県立学校に対しては直接学校長宛て、『S認定証』を交付する。

4 この要領は、平成17年4月1日より施行する。

この要領は、平成18年4月1日に一部改正する。

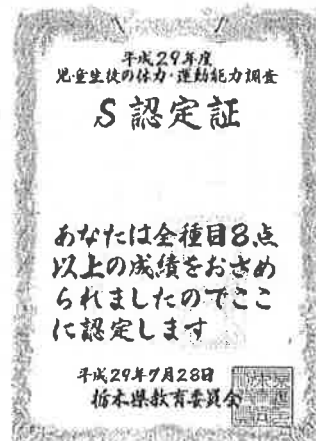
この要領は、平成21年4月1日に一部改正する。

この要領は、平成22年4月1日に一部改正する。

この要領は、平成24年4月1日に一部改正する。

この要領は、平成27年6月1日に一部改正する。

この要領は、平成29年4月1日に一部改正する。



平成29年度 新体力テスト『S認定証』配布一覧表

地区	市町	小学校			中学校			小学校・中学校合計			地区別 合計
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
河内	宇都宮市	168	205	373	20	69	89	188	274	462	494
	上三川町	13	12	25	2	5	7	15	17	32	
上都賀	鹿沼市	32	60	92	4	8	12	36	68	104	153
	日光市	14	28	42	0	7	7	14	35	49	
芳賀	真岡市	21	34	55	2	4	6	23	38	61	95
	益子町	5	2	7	0	0	0	5	2	7	
	茂木町	3	6	9	0	1	1	3	7	10	
	市貝町	0	4	4	0	0	0	0	4	4	
	芳賀町	4	9	13	0	0	0	4	9	13	
下都賀	小山市	59	51	110	7	36	43	66	87	153	473
	栃木市	38	68	106	9	55	64	47	123	170	
	下野市	20	23	43	3	26	29	23	49	72	
	壬生町	11	32	43	2	9	11	13	41	54	
	野木町	4	7	11	2	11	13	6	18	24	
塩谷 南那須	矢板市	2	8	10	3	5	8	5	13	18	116
	さくら市	17	24	41	0	2	2	17	26	43	
	塩谷町	1	1	2	0	0	0	1	1	2	
	高根沢町	6	12	18	2	2	4	8	14	22	
	那須烏山市	3	10	13	0	0	0	3	10	13	
	那珂川町	5	12	17	0	1	1	5	13	18	
那須	大田原市	38	62	100	0	4	4	38	66	104	269
	那須町	7	12	19	1	6	7	8	18	26	
	那須塩原市	47	76	123	3	13	16	50	89	139	
安足	佐野市	23	29	52	1	6	7	24	35	59	132
	足利市	23	41	64	0	9	9	23	50	73	
合計		564	828	1,392	61	279	340	625	1,107	1,732	1,732

県立学校	男子計	女子計	合計
高等学校	454	574	1,028
県立中学校	1	4	5
特別支援学校	0	1	1
合計	455	579	1,034

小中計	県立計	総計
1,732	1,034	2,766

資 料

6~11歳

No.	し めい 氏 名	とどうふけん めい 都道府県名
1.	へいしほい わん がつ にちげんざい ねんれい 平成29年4月1日現在の年齢	せいべつ 性別
3.	とし かいゆうくぶん 都市階級区分	1. だい ちゆうとし 大・中都市 2. しょうとし 小都市 3. ちゆうそん 町村
4.	うんどう ぶ 運動部やスポーツクラブにはいっていますか	1. はいっている 2. はいっていない
5.	うんどう 運動やスポーツをどのくらいしていますか (学校の体育の授業をのぞきます)	1. まいにち しゅう か いじょう ほとんど毎日 (週に3日以上) 2. とときどき しゅう か ときどき (週に1~2日くらい) 3. ときたま つき か ときたま (月に1~3日くらい) 4. しない
6.	うんどう 運動やスポーツをするときは1日にどのくらいの 時間しますか (学校の体育の授業をのぞきます)	1. ぶん みまん 30分未満 2. ぶん いじょう じかん みまん 30分以上1時間未満 3. じかん いじょう じかん みまん 1時間以上2時間未満 4. じかん いじょう 2時間以上
7.	しょうがっこうにゅうがくまえ 小学校入学前はどのくらい外で体を動かす 遊びをしていましたか	1. しゅう か いじょう 週に6日以上 2. しゅう か 週に4~5日 3. しゅう か 週に2~3日 4. しゅう か 週に1日以下
8.	ちようじく た 朝食は食べますか	1. まいにち た 毎日食べる 2. とときどき た 時々食べない 3. まいにち た 毎日食べない
9.	いち ずいみん じかん 1日の睡眠時間	1. じかん みまん 6時間未満 2. じかん いじょう じかん みまん 6時間以上8時間未満 3. じかん いじょう 8時間以上
10.	ねむ ねむ ぐっすり眠る(よく眠る)ことができますか	1. しゅう か いじょう 週に6日以上 2. しゅう か 週に4~5日 3. しゅう か 週に2~3日 4. しゅう か 週に1日以下
11.	いち み 1日にどのくらいテレビを見ますか (テレビゲームも含みます)	1. じかん みまん 1時間未満 2. じかん いじょう じかん みまん 1時間以上2時間未満 3. じかん いじょう じかん みまん 2時間以上3時間未満 4. じかん いじょう 3時間以上
12.	たい かく 体 格	1. しんちよう 身長 cm 2. たいじゆう 体重 kg

こ う 項 目	き 記	ざく 録	とく てん 得 点
1. 握 力	みぎ 右	かいめ 1回目 kg	かいめ 2回目 kg
	ひだり 左	かいめ 1回目 ky	かいめ 2回目 kg
	へいぜん 平均		kg
2. 上体起こし			かい 回
3. 長座体前屈	かいめ 1回目 cm	かいめ 2回目 cm	
4. 反復横とび	かいめ 1回目 てん 点	かいめ 2回目 てん 点	
5. 20mシャトルラン(往復持久走)		お かえ りう 折り返し数	かい 回
6. 50m走			ひょう 秒
7. 立ち幅とび	かいめ 1回目 cm	かいめ 2回目 cm	
8. ソフトボール投げ	かいめ 1回目 m	かいめ 2回目 m	
とく てん 得 点	こ う 合 計		
そう 総	こ う 合 評 価	A B C D E	

No.	氏名	本人の住所	都道府県
1. 平成29年4月1日現在の年齢	歳	2. 性別	男 ・ 女
3. 都市階級区分	1. 大・中都市	2. 小都市	3. 町村
4. 所 属	1. 中学校	2. 高等学校全日制	3. 高等学校定時制
	4. 高等専門学校	5. 短期大学	6. 大学
5. 運動部や地域スポーツクラブへの所属状況	1. 所属している		2. 所属していない
6. 運動・スポーツの実施状況 (学校の体育の授業を除く)	1. ほとんど毎日(週3日以上)	2. とまどき(週1~2日程度)	3. ときたま(月1~3日程度)
	3. ときたま(月1~3日程度)	4. しない	
7. 1日の運動・スポーツ実施時間 (学校の体育の授業を除く)	1. 30分未満	2. 30分以上1時間未満	3. 1時間以上2時間未満
	3. 1時間以上2時間未満	4. 2時間以上	
8. 朝食の有無	1. 毎日食べる	2. 時々欠かす	3. まったく食べない
9. 1日の睡眠時間	1. 6時間未満	2. 6時間以上8時間未満	3. 8時間以上
10. ぐっすり眠ることができますか	1. 週に6日以上	2. 週に4~5日	3. 週に2~3日
	3. 週に2~3日	4. 週に1日以下	
11. 1日のテレビ(テレビゲームを含む)の 視聴時間	1. 1時間未満	2. 1時間以上2時間未満	3. 2時間以上3時間未満
	3. 2時間以上3時間未満	4. 3時間以上	
12. なんでも最後までやりとげたいと思う	1. とてもそう思う	2. まあそう思う	3. あまりそう思わない
	3. あまりそう思わない	4. まったくそう思わない	
13. 体 格	1. 身長	cm	2. 体重
			kg

項 目		記 録		得 点	
1. 握 力	右	1回目	kg	2回目	kg
	左	1回目	kg	2回目	kg
	平均				kg
2. 上体起こし					回
3. 長座体前屈		1回目	cm	2回目	cm
4. 反復横とび		1回目	点	2回目	点
5.	持久走			分	秒
	20mシャトルラン(往復持久走)	折り返し数	回(最大酸素摂取量	ml/kg・分)	
6. 50m走					秒
7. 立ち幅とび		1回目	cm	2回目	cm
8. ハンドボール投げ		1回目	m	2回目	m
得 点 合 計					
総 合 評 価				A	B
				C	D
				E	

家庭向け啓発資料

本県児童生徒の体力について

平成29年4月 体力向上推進検討委員会
 子どもの体力は、昭和60年頃と比較すると依然として低い水準で推移しており、特に本県児童生徒については「50m走・立ち幅跳び・ボール投げ」が全国平均と比較して低い結果となっています。

そこで、本県では「走る・跳ぶ・投げる」といった様々な運動やスポーツの基礎となる運動能力が高まるよう、平成29年度から体力・運動能力調査の方法を変更することとしました。ご家庭においても、調査の結果や各種目の記録について、一緒に確認していただきますようお願いいたします。

新体力テストを全学年で毎年調査します

- 5月～7月の間に調査します。(各学校において実施)
- 公立の小学校1年生～高校3年生までの全児童生徒が対象です。(平成29年度から)
- 実施種目は8種目です。
 (握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン
 50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ)

「S認定証」を交付します

- 全種目の得点がそれぞれ8点以上の児童生徒に
 栃木県教育委員会から「S認定証」を交付します。

H29から「S認定証」のデザインが新しくなります



※新体力テストの詳しい内容はこちらを参照ください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/stamina/03040901.htm
 「文部科学省 新体力テスト実施要項」

栃木県教育委員会

新体力テスト各種目全国平均値(小学校)

男子

学年	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン(回数)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投げ(m)
小1	9.45	12.05	26.29	27.86	18.73	11.41	114.68	8.62
小2	11.04	14.16	27.98	31.45	28.41	10.70	124.33	12.01
小3	13.12	16.59	29.45	35.99	39.10	10.04	136.80	16.22
小4	14.94	18.48	31.47	39.53	47.11	9.60	144.50	20.18
小5	17.12	20.64	33.48	43.82	56.48	9.29	154.30	23.91
小6	20.26	21.90	35.62	46.65	64.74	8.78	166.34	27.41

平成28年度体力・運動能力調査(スポーツ庁)

女子

学年	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン(回数)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投げ(m)
小1	6.80	12.09	28.98	26.82	16.40	11.71	107.30	5.81
小2	10.41	13.86	30.87	30.59	24.10	10.94	117.12	7.57
小3	12.34	15.74	32.46	34.05	29.97	10.33	128.61	9.81
小4	14.23	17.26	34.86	38.05	36.71	9.91	136.72	11.95
小5	16.58	19.24	38.39	41.76	44.45	9.50	147.35	14.41
小6	19.73	20.07	40.40	43.87	50.75	9.12	156.89	16.50

平成28年度体力・運動能力調査(スポーツ庁)

①お子さんの記録を確認してみましょう



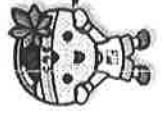
握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン(回数)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投げ(m)

②全国平均値と比較してみましょう

※全国平均値と比べて、お子さんの記録の方が高い(優れている)種目の所に○を書いてみましょう



握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン(回数)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投げ(m)



それぞれの種目で全国平均を超せるよう、次の新体力テストに向けて準備をするまる〜☆

お問合せ

栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課
 TEL:028-623-3416 FAX:028-623-3411
 Mellisports@pref.tochigi.lg.jp

本県児童生徒の体力について

平成29年4月 体力向上推進検討委員会
 子どもの体力は、昭和60年頃と比較すると依然として低い水準で推移しており、特に本県児童生徒については「50m走・立ち幅跳び・ボール投げ」が全国平均と比較して低い結果となっています。

そこで、本県では「走る・跳ぶ・投げる」といった様々な運動やスポーツの基礎となる運動能力が高まるよう、平成29年度から体力・運動能力調査の方法を変更することとしました。ご家庭においても、調査の結果や各種目の記録について、一緒に確認していただきますようお願いいたします。

新体力テストを全学年で毎年調査します

- 5月～7月の間に調査します。(各学校において実施)
- 公立の小学校1年生～高校3年生までの全児童生徒が対象です。(平成29年度から)
- 実施種目は8種目です。
 (握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン
 50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ)

「S認定証」を交付します

- 全種目の得点がそれぞれ8点以上の児童生徒に
 栃木県教育委員会から「S認定証」を交付します。
 H29から「S認定証」のデザインが新しくなります



※新体力テストの詳細な内容はこちらを参照ください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/stamina/03040901.htm
 【文部科学省 新体力テスト実施要項】

栃木県教育委員会

テスト得点表および総合評価(中学校)

男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51~55	33~34	58~63	60~62	113~124	6.7~6.8	254~264	34~36
8	47~50	30~32	53~57	56~59	102~112	6.9~7.0	242~253	31~33
7	43~46	27~29	49~52	53~55	90~101	7.1~7.2	230~241	28~30
6	38~42	25~26	44~48	49~52	76~89	7.3~7.5	218~229	25~27
5	33~37	22~24	39~43	45~48	63~75	7.6~7.9	203~217	22~24
4	28~32	19~21	33~38	41~44	51~62	8.0~8.4	188~202	19~21
3	23~27	16~18	28~32	37~40	37~50	8.5~9.0	170~187	16~18
2	18~22	13~15	21~27	30~36	26~36	9.1~9.7	150~169	13~15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

全ての種目の得点が8点以上の生徒に対して「S認定証」を交付します。

女子

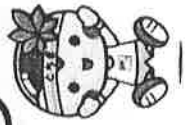
得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33~35	26~28	58~62	50~52	76~87	7.8~8.0	200~209	20~22
8	30~32	23~25	54~57	48~49	64~75	8.1~8.3	190~199	18~19
7	28~29	20~22	50~53	45~47	54~63	8.4~8.6	179~189	16~17
6	25~27	18~19	45~49	42~44	44~53	8.7~8.9	168~178	14~15
5	23~24	15~17	40~44	39~41	35~43	9.0~9.3	157~167	12~13
4	20~22	13~14	35~39	36~38	27~34	9.4~9.8	145~156	11
3	17~19	11~12	30~34	32~35	21~26	9.9~10.3	132~144	10
2	14~16	8~10	23~29	27~31	15~20	10.4~11.2	118~131	8~9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

全ての種目の得点が8点以上の生徒に対して「S認定証」を交付します。

総合評価基準表

段階	中1	中2	中3
A	51以上	57以上	60以上
B	41~50	47~56	51~59
C	32~40	37~46	41~50
D	22~31	27~36	31~40
E	21以下	26以下	30以下

それぞれの種目で自分の記録を確認して、次の新体力テストに向けて準備をするまる～☆



とちぎ元気キッズ

チャレンジプログラム

～投・走・跳の運動～



栃木県教育委員会

※ 平成28年3月

幼稚園・保育所・認定こども園及び公立小学校を対象に配布

「体力向上サポートプログラム」を含め、スポーツ振興課HPIに掲載中

URL

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m07/education/sports/genkikids/index.html>



VERY 
GOOD
LOCAL

とちぎ

本県児童生徒の体力

平成30年3月

編集発行 栃木県教育委員会事務局スポーツ振興課

宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-3416

FAX 028-623-3411

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/m07/index.html>